



Japan Weightlifting Association

ウェイトリフティング

男子56kg級 山田政晴選手(群馬綜合ガードシステム)
クリーン＆ジャーク151kg日本新記録



男子94kg級 平岡勇輝選手(静岡県ウェイトリフティング協会)
クリーン＆ジャーク194kg日本新記録



女子+75kg級 城内史子選手(早稲田大)
クリーン＆ジャーク130kg日本新記録



2006 No. 95

オリンピック選手の枠取り 大会、今年の世界大会から

2006年世界選手権（ドミニカ共和国）、2007年世界選手権（タイ国）で決定。

2008年北京オリンピックの各国出場選手の枠取りが、今年の世界選手権大会（ドミニカ共和国9月30日～10月7日）、2007年世界選手権大会（タイ国チェンマイ市9月15日～24日）で開催され両年の団体合計点数（今年は団体得点×1倍、来年は団体得点×1.2倍）で決定される。前回アテネオリンピックは日本人選手枠は男子3名、女子1名であったが、今回北京五輪は男女共3～4名枠を狙う。

女子チーム強化合宿：新潟県7月23日～28日、石川県8月10日～9月3日、JISS9月13日～25日



男子チーム強化合宿：山梨県富士吉田市8月1日～10日、JISS8月10日～20日、JISS9月10日～25日



目 次

「巻頭言」	副会長 田中 博文	3
第3回全日本学生選抜大会	大木 正宏	4
・学生選抜優勝者紹介		5
第52回全日本学生個人選手権大会	上田 貢	9
2006 フレンドシップトーナメント大会	並木 良憲	13
〃	影山 博文	16
世界ジュニア選手権大会	岡田 純一	19
〃	福田登美男	23
第66回全日本選手権大会	若杉 孝一	26
・全日本優勝者紹介		27
第9回世界学生選手権大会	岡本 実	31
第24回全日本マスターズ選手権大会	豊田 廣和	32
第8回全国高校女子選手権大会	上田 貢	34
アジアジュニア大会	小宮山哲雄	37
〃	長谷場久美	37
第53回全国高校総体観戦記	岡上 国治	40
第20回全国中学生選手権大会	菊地 寿	43
・全中大会優勝者紹介		44
海外遠征の諸問題とその対応（航空機内の環境と危険性）		47
上半期記録一覧		52

表紙写真：山田政晴・平岡勇輝・城内史子

第66回全日本選手権大会（平成18年6月30日～7月2日・山梨県甲府市「小瀬スポーツ公園武道館」に於いて3名が日本新記録を樹立した。

巻頭言

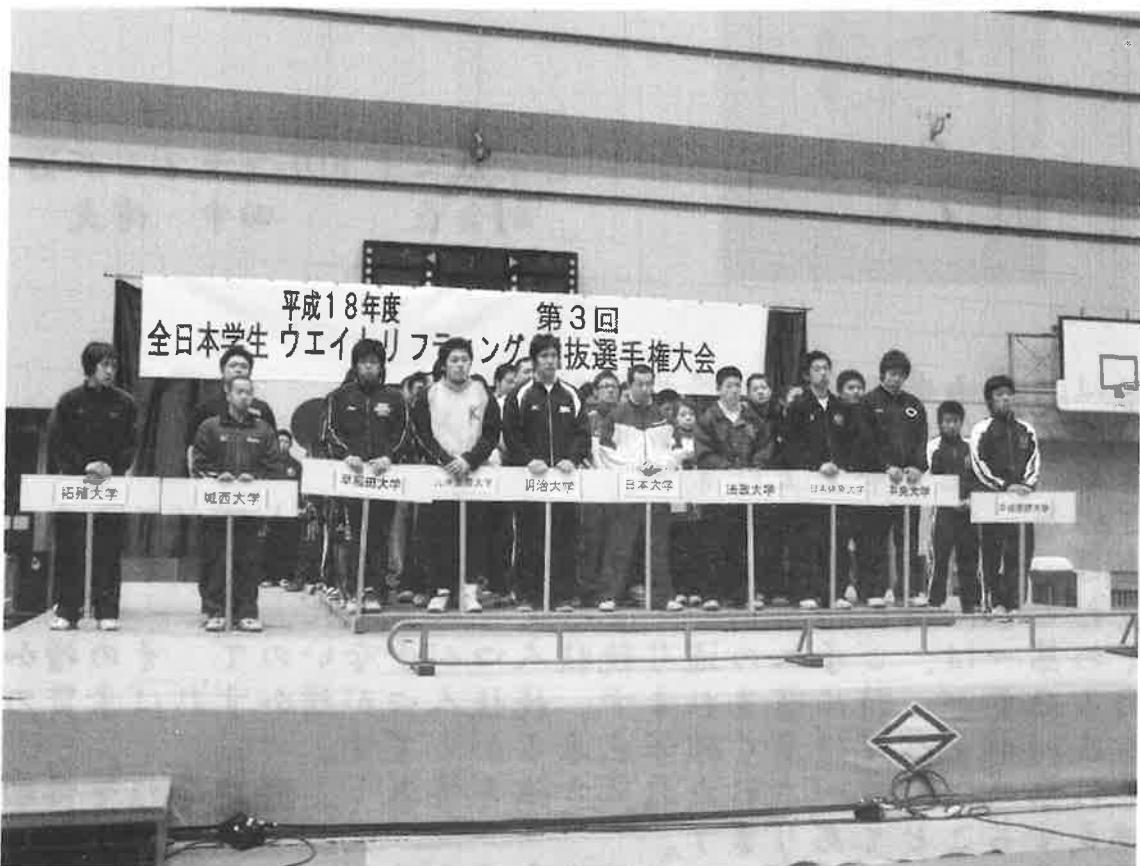


日本ウエイトリフティング協会
副会長 田中 博文

私は、岡山県の会長を務めております。
昨年の国体では、関係の皆様には 大変お世話になりました。
厚く、御礼を申し上げます。
この度、巻頭にあたり、私の思うところを申し述べてみます。
今日のウエイトリフティング協会の現状を眺め、将来の発展を
望むとき、特に何が必要かを考えてみました。
その第一は、ご承知の通り競技人口が少ないので、その増加を
図る必要が特に望まれます。競技人口が増加すれば素質のある人材がそれだけ多く確保出来るからです。
その第二は、統一された指導方法を導入し、強力な指導体制を
確立することあります。
その第三は、選手諸君が学校を卒業し、社会に出る時、継続
して競技がやりやすい雇用の確保が望されます。
その第四は、他の競技においては、中学生の低学年から十分
な指導がされているが、この競技の場合は、その特性から
低学年は無理としても、この競技に馴染む程度の環境づくり
が必要ではないでしょうか。
以上の四点が、この競技の発展のためにには、どうしても必要
であります。今更、私が申し上げるまでもなく、協会としても
よく認識して実施しつつあることですが、一增强力に推進したい
ものです。そうすることが、オリンピックでメダルが取れる
ものと確信します。
飛田会長のもとに、更なる飛躍を目指して、一致結束して
がんばりましょう。

第3回全日本学生選抜ウエイトリフティング選手権大会観戦記

山梨県WL協会 大木 正宏



4月23日（日）標記大会が横浜市磯子スポーツセンターにて開催された。

この大会は、学生たちにとっては、今シーズン初の競技会であり、冬場に選手各々が積み重ねてきた練習の成果を発揮、また今年度の課題、目標等を定める大会に位置するのではないかと思えます。

上級生は下級生に負けないよう、また下級生は上級生に追いつき追い越す、出場できなかつた選手は出場できるように競技力を上げる。そういう切磋琢磨により学生レベルを上げ競技力の向上が生まれるものと確信しています。

今大会に限らず、何度か学生の審判をしているが、成功率の良い選手は1試技1試技に余裕が見られ落ち着きがあります。そのような選手は、スタート重量が低くても最終的には上位にいます。能力があっても、落ち着きがない、試技が雑、悪いマナー等の選手が多少見受けられ、このような条件をクリアしていかないといけません。

大会期間中、記録的にまだ大会に参加出来ない選手（1年生）よりこんな声も聞かれた。
「今年は記録を伸ばして来年は必ずあのプラットホームに立ちたいです。」

大学に入學し、始めて大会で見る選抜された選手たちの1試技1試技を見ている眼差しは、今後学連の大会で活躍してくれる姿を予感させられた。

第3回全日本学生選抜大会優勝者インタビュー



S103kg、J127kg、T230kg

56kg級優勝 中山陽介 法政大学2年：日川高校出

身長160cm 体重58kg ベスト記録S106 J131
F Sq 148 Sq 180 DL 170 Mp 72

<優勝した感想> 自己採点95点

自分の記録を3kg更新し、今まで勝てなかったライバルに勝ち優勝出来て嬉しい。反省点はスナッチ3本目を失敗し6本成功出来なかった事。

<貴方にとってウェイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える?>

ウェイトリフティングの魅力は、吊りタイツ一枚の姿で重い重量を上げている躍動美に観客は魅力を感じると思います。



S115kgCR、J140kg、T255kgCR

62kg級優勝 中村友生 九州国際大学2年：佐土原高校出

身長165cm 体重64kg ベスト記録S116 J143
F Sq 160 Sq 180 DL 170 Mp 70

<優勝した感想> 自己採点40点

優勝したのは嬉しいが、目標トータル260kgまでいけなかつたのが悔しい。自己新を挙げて優勝したかった。

<貴方にとってウェイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える?>

努力した分、結果としてちゃんと出てくるところ。練習しなければ記録は伸びないし、練習すれば必ず記録は伸びる。1kgの記録更新の喜びが忘れられなくてウェイトリフティングをやめることができます。



S118kg、J143kg、T261kg

69kg級優勝 横山勝一 九州国際大学4年：小林高校出

身長172cm 体重72kg ベスト記録S119 J147
F Sq 160 Sq 185 DL 185 Mp 75

<優勝した感想> 自己採点50点

運が良かった。次の大会は、もっと練習して大会上位に入れるように頑張っていこうと思います。

<貴方にとってウェイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える?>

練習はきつても、大会で良い記録、結果が出たときの喜びです。



S120kg、J153kg、T273kg

77kg級優勝 仲程忠史 日本大学4年：豊見城高校出

身長167cm 体重77kg ベスト記録S131 J166
F Sq 195 Sq 232.5 DL 205 Mp 95

<優勝した感想> 自己採点50点

優勝できたのは嬉しいが、元々調子が悪かったので記録に満足していません。

<貴方にとってウェイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える?>

記録が伸びたときに感じる嬉しさ。調子が良いときに人より重い重量を上げれる優越感。

太田（九州国際大）S156kgの“Jr日本新記録”



S130kg、J166kg、T296kg

85kg級優勝 田中 格人 法政大学3年：金足農業高校

身長164cm 体重87kg ベスト記録S131 J170

F Sq 195 Sq 235 DL 200 Mp 100

<優勝した感想> 自己採点80点

初めての優勝だったのでとても嬉しい。けれども成功率が悪かったのでこれから課題にしたい。

<貴方にとってウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える？>
努力に比例するところ。



S145kg、J170kg、T315kg

94kg級優勝 小笠原 伸吾 法政大学4年：吉田高校出

身長173cm 体重90kg ベスト記録S150 J182

F Sq 215 Sq 250 DL 230 Mp 101

<優勝した感想> 自己採点90点

素直に嬉しいです。怪我で2週間前から本格的に練習を始め、勝てたので本当に良かった。

<貴方にとってウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える？>
結果が数字として出ること。
勝負においてもこれを挙げたら勝ち、落とせば失敗といったように見る
人全てが分かりやすい競技であること。

105kg級優勝 水田 理 法政大学4年：八代農業高校出

身長170cm 体重95kg ベスト記録S150 J191

F Sq 215 Sq 260 DL 230 Mp 106

<優勝した感想> 自己採点70点

選抜大会に初出場して、優勝できたのでとても嬉しい。でも重量については満足できません。もっと体重を増やして記録を伸ばしたい。

<貴方にとってウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える？>
自分の限界に挑戦できる競技と思います。
努力をすればするほど、記録が伸びること。
試合で持ち上げた時の素晴らしい快感が魅力です。

+105kg級優勝 太田 和臣 九州国際大学2年：八幡中央高校出

身長183cm 体重132kg ベスト記録S161 J195

F Sq 210 Sq 260 DL 250 Mp 105

<優勝した感想> 自己採点60点

今回の大会でスナッチでJr日本記録を出せてとても嬉しい。ジャークは重くて立つだけで精一杯でした。全般に成功率が悪かったのできっちり取っていきたい。

<貴方にとってウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える？>
自分の強さがはっきりと数字で1kg単位で分かることが魅力であり、
楽しいところです。



S141kg、J182kg、T323kg



S156kgJrR、J180kg、T336kgCR

松本（早大）



S60kg、J77kg、T167kg



S76kg、J105kg、T181kg



S82kgJrR、J95kg、T177kgCR



S69kg、J95kg、T164kg

スナッチ 82kg Jr 日本新記録樹立

48kg級優勝 久保田 佳乃 日本体育大学4年：糸満高校出

身長 147cm 体重 50kg ベスト記録 S 60 J 82.5

F Sq 90 Sq 105 DL 100 Mp 37.5

<優勝した感想> 自己採点 60点

優勝するとは思っていなかったのでとてもビックリです。調子は戻ってはいなかったが、櫻井先生や同僚部員のお陰で今回の結果につながった。

<貴方にとってウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える?>
やればやるほどハマッていける競技だと思う。

53kg級優勝 三宅 宏実 法政大学3年：埼玉栄高校出

身長 148cm 体重 49kg ベスト記録 S 85 J 110

F Sq 122.5 Sq 145 DL 145 Mp 57.5

<優勝した感想> 自己採点 50点

優勝した事は嬉しです。記録はまだですが、選抜での試合をスタートとして、次の試合につなげ自己新記録を狙えるように頑張りたい。

<貴方にとってウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える?>
自分がやった分だけ結果が出ること。
沢山の仲間と出会えること。

58kg級優勝 松本 茗波 早稲田大学3年：松戸国際高校出

身長 152cm 体重 59kg ベスト記録 S 80 J 100

F Sq 110 Sq 130 DL 125 Mp 5.0

<優勝した感想> 自己採点 50点

スナッチ3本取り自己新記録が出せたので良かった。しかし、C & Jでは、試合ベストも出来なかつたので残念。

<貴方にとってウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える?>
練習しただけ伸びるところ。
自己新記録が挙がった時の喜び。

63kg級優勝 長崎 華奈 立命館大学4年：須庭友が丘高校出

身長 159cm 体重 61kg ベスト記録 S 73 J 97

F Sq 107 Sq 122.5 DL 120 Mp 4.9

<優勝した感想> 自己採点 50点

新記録を狙っていたので、両種目達成出来ず残念です。

<貴方にとってウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える?>
達成感があるところです。

中川（早大）初優勝。菊田（早大）は3連覇！！



S77kg、J100kgCR、T177kgCR

69kg級優勝 中川 琢子 早稲田大学4年：熊本第一高校出

身長 166cm 体重 65kg ベスト記録 S77.5 J97

F Sq 97.5 Sq 115 DL 125 Mp 53

<優勝した感想> 自己採点 60点

新記録がとれて優勝ができた嬉しかったです。今年度の初試合で緊張しましたが集中して取り組むことができました。今後はスナッチを伸ばしていきたい。

<貴方にとてウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える？>
記録を出した喜びです。

体のバランスや筋力によって自分のフォームが異なる点も面白いと感じています。

75kg級優勝 菊田 格子 早稲田大学3年：飯田高校出

身長 167cm 体重 73kg ベスト記録 S86 J105

F Sq 112.5 Sq 140 DL 157.5 Mp 58

<優勝した感想> 自己採点 50点

優勝は嬉しいですが記録が良くなかったので満足出来ません。

<貴方にとてウエイトの魅力は何と尋ねられたらどう答える？>
強くなる喜び。



S85kg、J98kg、T183kg

最優秀選手に三宅選手（法大3年）。優秀選手には中村選手（九州国際大2年）が初授賞



第52回全日本学生個人選手権大会

第18回全日本女子学生選手権大会観戦記

京都府協会理事 上田 貢

第52回全日本学生個人選手権大会、第18回全日本女子学生選手権大会が5月12～14日にかけて17大学から85名の選手が参加し、大阪府羽曳野市「羽曳野コロセアム」で開催されました。

今大会は、学生トップ選手の出場は少なかったものの、全国規模の大会で個人選手権として自分の力を試せる数少ない大会であることから1回生から4回生まで多くの選手が出場し、各階級毎に激戦を繰り広げました。

男子56kg級では、饒平名選手（日本体育大学）がスナッチで106kgの大会新記録樹立し、岡田選手（大阪商業大学）の追い上げを振り切り勝利を手にしました。

男子105kg級では、水田選手（法政大学）と留学生オーバーカンプ選手（関西大学）の一騎打ちとなり、さながら国際大会の様子を呈していました。まず、オーバーカンプ選手がスナッチ150kgを上げ5kg差をつけてリードしましたが、インカレチャンピオンの水田選手がC&ジャークで190kgの大会タイ記録を上げ見事逆転優勝しました。

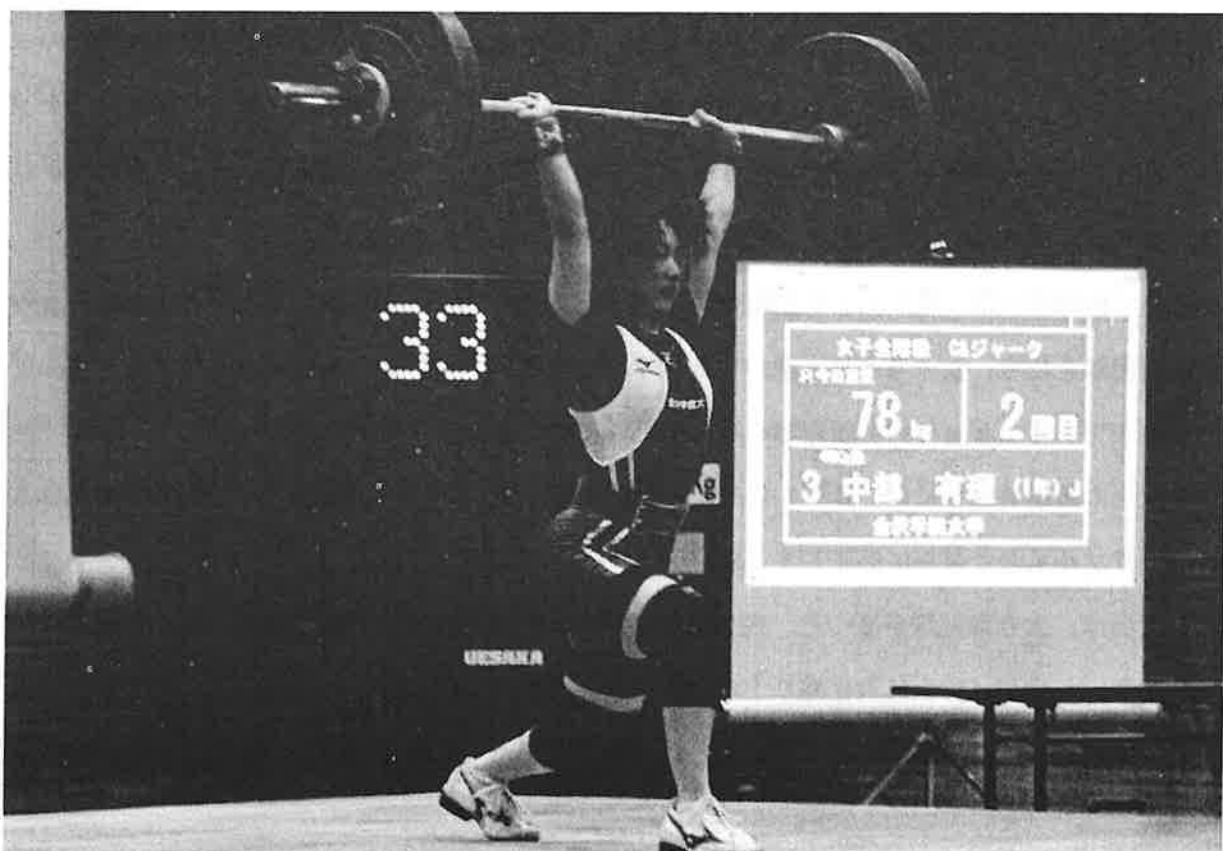
そして他階級では、男子+105kg級の野原選手（法政大学）がC&ジャークで193kgの大会新記録を樹立、女子48kg級の中部選手（金沢学院大学）がC&ジャークで81kg及びトータルで141kgの大会新記録を樹立しそれぞれ優勝しました。

本大会の最優秀選手には、男子105kg級の水田選手、女子48kg級の中部選手が選ばれ大きなトラブルもなく無事に終了しました。

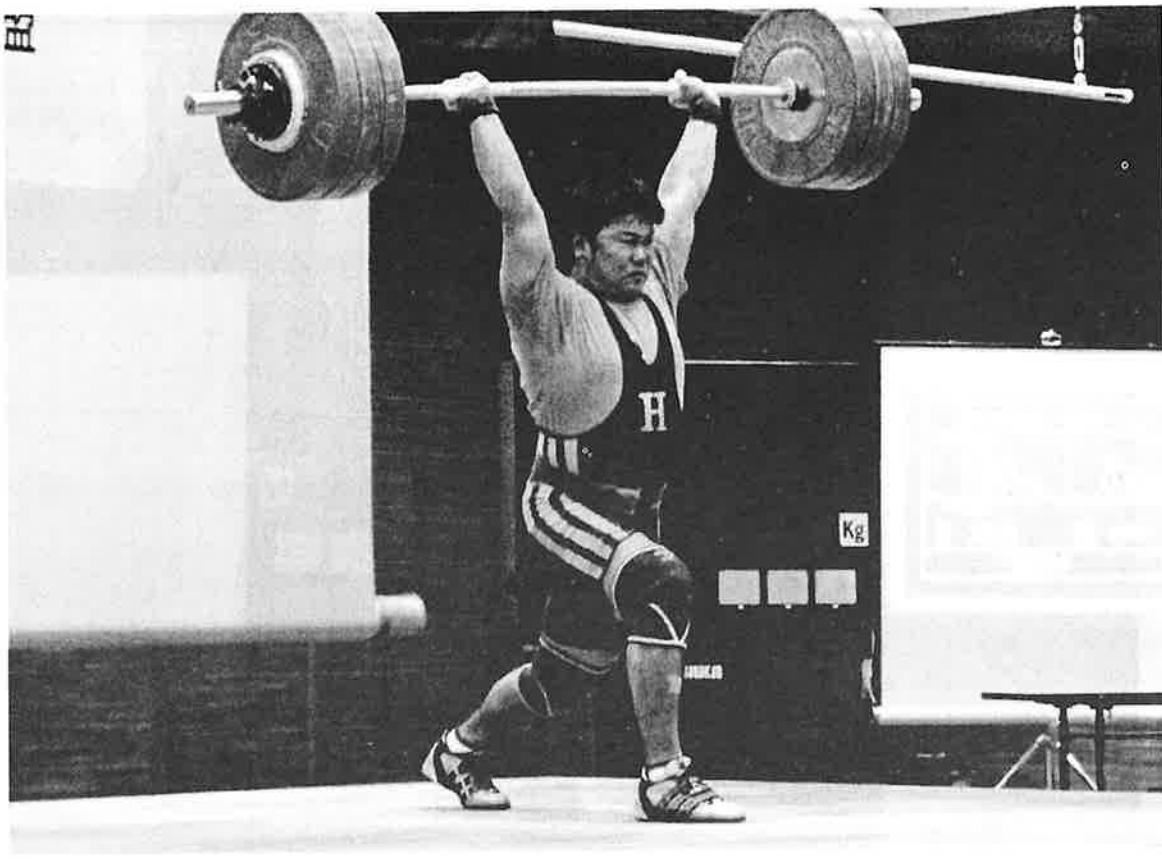
今大会は、大会新記録が2つと、残念ながら記録的には低調でしたが、ほとんどの階級で優勝争いが熾烈に行われ大変盛り上がった大会となりました。



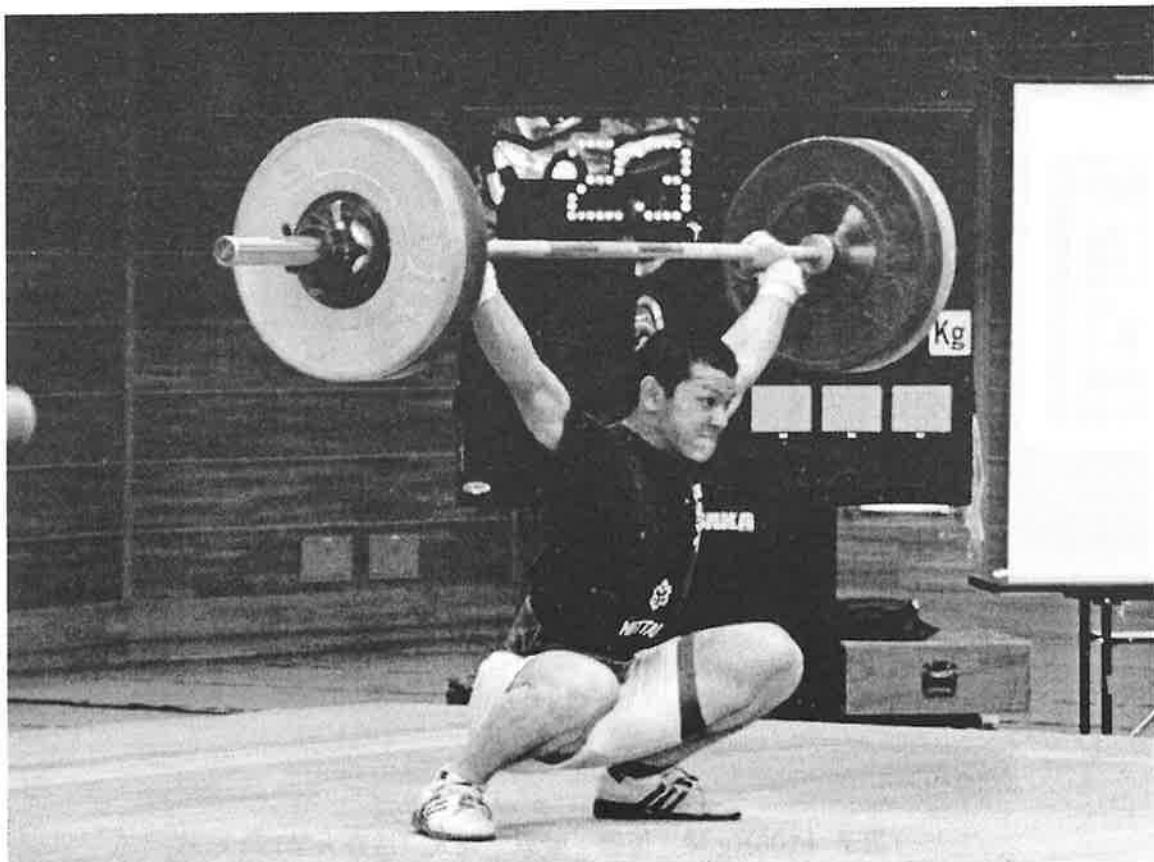
開会式



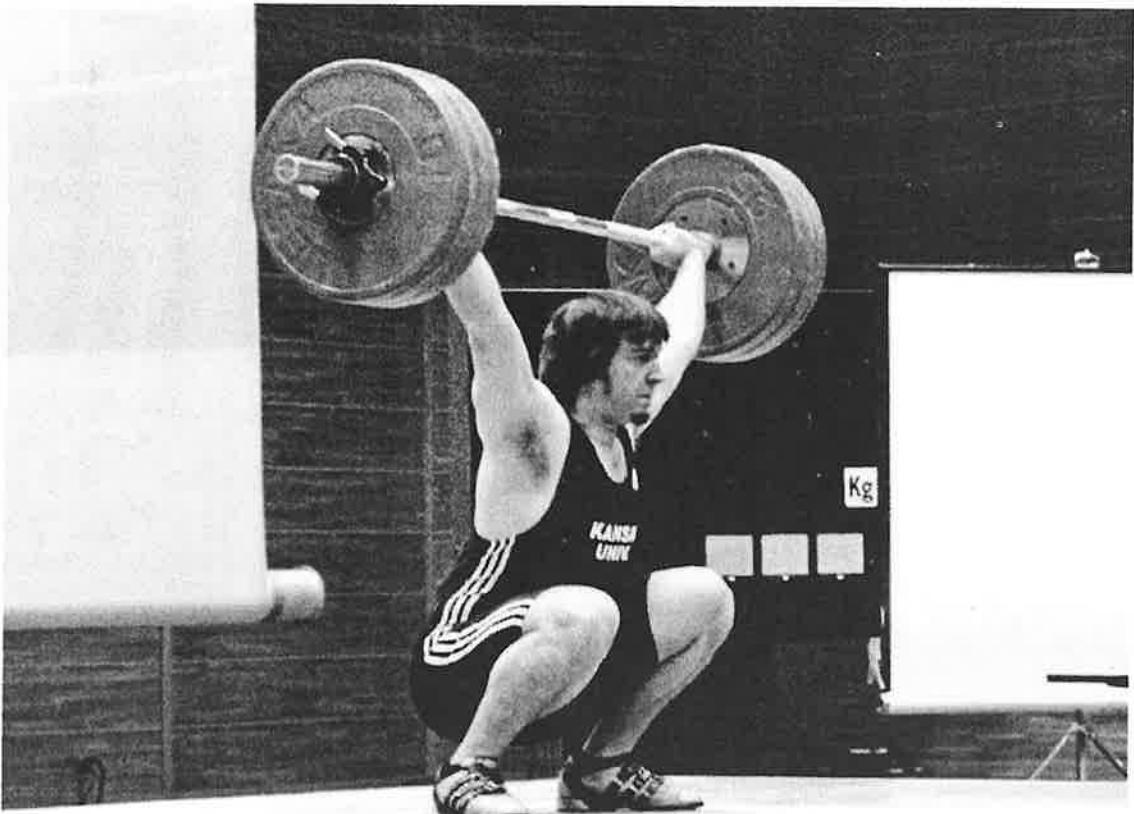
女子最優秀選手 48Kg 級 優勝 中部 有理 (金沢学院大学)
S60kg 大会タイ, C&J81kg 大会新, T141kg 大会新



男子最優秀選手 105Kg 級 優勝 水田 理（法政大学）
S145kg,C&J190kg 大会タイ,T335kg

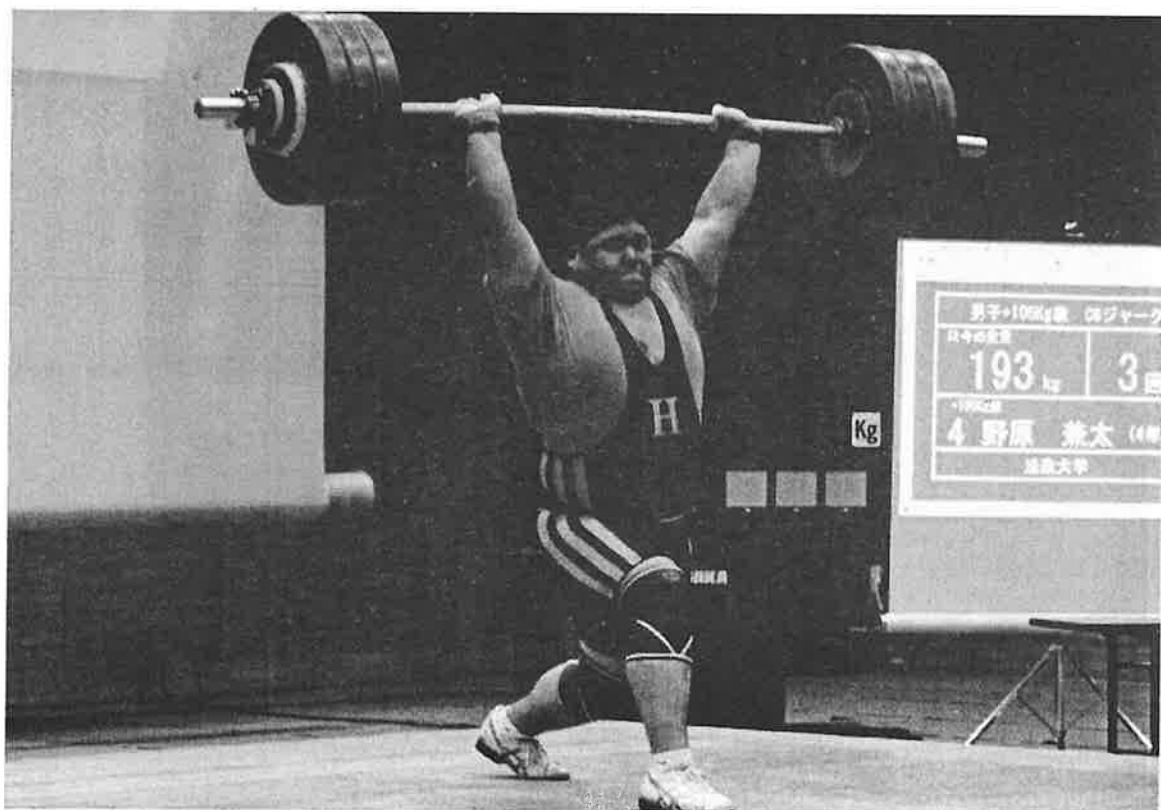


男子 56Kg 級 優勝 饒平名 研二（日本体育大学）
S106kg 大会新,C&J125kg,T231kg



男子 105Kg 級 第二位 ベン オーバーカンプ (関西大学)

S150kg,C&J175kg,T325kg



男子 +105Kg 級 優勝 野原 兼太 (法政大学)

S140kg,C&J193kg 大会新,T333kg

2006 International Friendship Weightlifting Tournament

男子チーム大会報告

並木 良憲

男 子 監 督 平良 朝順 (法政大学監督)
コーチ 並木 良憲 (中央大学監督)
竹俣 壽郎 (日本大学コーチ)

選 手 56kg級 才田 吉弘 (日本大学)
62kg級 黒江 雄司 (早稲田大学)
69kg級 三谷 洋平 (金沢学院大学)
77kg級 仲程 忠史 (日本大学)
85kg級 田中 裕人 (法政大学)
94kg級 小笠原伸吾 (法政大学)
105kg級 三木 大輔 (中央大学)
+105kg級 葛葉 崇博 (日本大学)

2006インターナショナルフレンドシップトーナメントが、5月21日・22日に大韓民国の中部内陸都市で人口30万人の歴史と自然が調和した原州市(WONJU)で開催された。

原州市は、今大会女子+75kg級でスナッチ 138kg トータル 318kg の世界新記録を出した JANG MI-RAN 選手の地元であることと、大韓民国の世界選手権代表選考会が併催されたため、多数の観客が入り、大変盛り上がった大会であった。

今年から若手の育成を目的として選手が選考され、今後の飛躍の糧となるよう課題を持って大会に臨んだ。今回選考された選手8名の内半数の4名が国際大会初参加であったため1本目の試技に集中させるように努めた。故障者や十分な調整ができなかった者が多く、全体的に低調な記録に終わってしまった。その中で、85kg級田中裕人選手(法政大学)が C&J170kg トータル 300kg、また、+105kg級葛葉崇博選手(日本大学)S158kg は今後多いに期待を抱かせる記録となった。

選手達は、今回の貴重な経験を生かしてステップアップしていくよう期待する。

選手のコメント

56kg級 才田 吉弘 (日本大学) Snatch 98kg C&J124kg T222kg

大会当日の朝、体重が500g近くオーバーしており、減量を急いだような試合になってしまい、足にきていた。もう少し余裕のある減量の仕方であつたら結果ももっと良かったと思う。

初めての国際試合で学ぶことが多かった。試合では緊張するかと思っていたが、緊張はそれほど無く、練習の中で自信を付けていたので、その成果が出せて良かった。改めて体調・体重の自己管理の重要性を感じた

62kg級 黒江 雄司 (早稲田大学) Snatch 105kg C&J135kg T240kg

今回の大会では、スナッチの第一試技を失敗してしまったことが自分にとっての課題だと思いました。最終アップが思うようにできなかつたこともあるが、それを修正することができなかつたということです。一本一本の集中力、調整力が足りなかつたと思います。また、ジャークの最終試技は、自分に対する自信や心の余裕といったものがなかつたのも原因の一つだと思う。

69kg級 三谷 洋平 (金沢学院大学) Snatch 108kg C&J140kg T248kg

出発2日前の練習中にぎっくり腰をおこしてしまい、意識の低さが表面に出てしまつた。せっかく選んでいただいたのに、万全の調子で出られず残念であった。試合では、スタートが低かつたので六本成功は当然である。他国の選手と自分との力の差がとても大きく、とても情けなかつた。

77kg級 仲程 忠史 (日本大学) Snatch 120kg C&J155kg T275kg

二回目の海外試合ということで、前回に比べると試合前の調整はよくできた。しかし、スナッチは、アップ中から中国・韓国の選手に圧倒され気持ちで負けていたように思う。ジャークの時は、開き直って思いつきりできた。二本目のジャークの失敗は、集中力と気持ちが足りなかつた。

85kg級 田中 裕人 (法政大学) Snatch 130kg C&J170kg T300kg

初めての国際試合で、スナッチの一本目はかなり緊張してしまつたが、二本目以降は、落ち着いて出来たと思う。けれど成功率が思っていたより悪かつたので、これから練習で失敗しないことを心掛けたい。

94kg級 小笠原伸吾（法政大学） Snatch 140kg C&J170kg T310kg

今大会は、試合日が変わり、調整が上手くいかなかったこともあるが、それ以前に、怪我などによる練習不足、体重の減少など様々な問題が重なり、自分の納得のいく試合が出来ずとても残念でした。スナッチ・ジャークとも一本ずつしか取れず、ベストのはるかに下の重量に終わってしまいました。しかし、両方ともしっかりと一本目で取れた事は、良いことだと思います。

105kg級 三木 大輔（中央大学） Snatch 135kg C&J170kg T305kg

今回の試合での反省点として成功率の悪さがあります。一本目で試合の良いリズムを作るはずが、スナッチ・ジャークの両種目において一本目の試技を失敗してしまったことが反省点です。初めて海外での試合で、いつもと違った緊張感もあり、大変勉強になりました。

+105kg級 葛葉 崇博（日本大学） Snatch 135kg C&J170kg T305kg

今回の大会は、昨年の世界ジュニアに続いて二度目の国際大会で、スナッチは前回一本だったので、今回のスナッチは良い出来だったと思います。ですが、二本目にフォームが崩れてしまったのでその点に注意してこんごの練習に生かして行きたいです。今後の最大の課題としてジャークの課題が残りました。



2006 年日韓中フレンドシップトーナメント（女子チーム）結果報告

開催地・場所：大韓民国原州市・原州女子中学校体育館

日 程：5／19（金）現地到着

5／20（土）午前 調整練習、午後 代表者会議

5／21（日）15：30～女子 48～63kg 級競技

5／22（月）14：00～女子 69～+75kg 級競技

18：00～晚餐会及び授賞式

5／23（火）合同練習及び現地観光

5／24（水）帰国

（大会の概要）

2006 年日韓中フレンドシップトーナメント（3ヶ国対抗戦）が、大韓民国の原州市にある原州女子中学校体育館にて盛大に開催された。各国男子 8 名、女子 7 名の対抗戦であったが、日本女子選手は、ほぼ全員が自己新や自己タイを成功するなどの健闘を見せ、今後に繋がる結果を残した。しかし、今回の開催国である韓国選手団は、この大会を世界選手権（10 月）やアジア大会（12 月）の予選会として位置付け、代表選手以外にも多くの選手を参戦させた。それにより、男女各階級共に大接戦の大会となり、観客を大いに盛り上げる大会となった。特に、女子+75kg 級に出場した昨年の世界選手権優勝者である韓国の JANG MI-RAN 選手は、スナッチとトータルにおいて世界新記録を樹立するなど、全階級において韓国選手の活躍が目立った大会となった。試合終了後に行われた、晚餐会及び授賞式では、団体表彰と（1 位—韓国、2 位—中国、3 位—日本）、各国男女各 1 名の優秀選手（日本女子は大城みさき）表彰が盛大に行われ終了した。

最後に、この大会の運営に携わった韓国関係者の方々には、大会期間中多くの細かな心配りや歓迎をして頂き、その御努力には大変頭の下がる思いであった。選手団一同、心から感謝とお礼を述べたい。

（日本女子選手の結果）

順位	階級	氏名	所属	体重	スナッチ	ジャーク	トータル
2	48	大城みさき	トラウム	47.84	80	93	173
3	53	角田祥子	立命館大学	48.34	75	94	169
4	58	谷口亜純	立命館大学	54.94	74	93	167
3	69	斎藤里香	金沢学院東高校 (教)	66.20	88	115	203
4	69	中川諒子	早稲田大学	63.70	77	97	174
3	75	菊田裕子	早稲田大学	72.55	86	106	192
3	+75	制野真理	金沢学院大学	89.80	85	104	189

(選手達の反省と今後の課題)

<48kg級 大城みさき>

今回の大会は、全日本に繋げる為の大会で挑んだので、6本成功した事がすごくよかったです。6本成功も、普段毎日練習を見てくれている、比嘉先生がいたので、安心して試合ができたからだと思います。今回の試合を生かして、全日本でスナッチは日本新、ジャークの方はもっと足を強化して、自己新記録が取れるよう頑張りたいです。

<53kg級 角田祥子>

53kg級で出場したにも関わらず、体重を増やすことができず増量に失敗した。今後は自分の体重コントロールをうまくしていくようにしたい。今回の調整は試合に向けて、いいリズムでできたと思うので、自信に繋がった。次回の試合は全日本選手権なので、今以上の力が発揮できるよう、しばらくは補強中心でやっていきたいと思う。課題はジャーク時の差し上げの際のバランスで、もっと後足に重量を感じられるよう、前差しを直していきたいです。その為には、しっかりと足の強さと安定したフォームが必要だと思うので、補強とフォームの練習の2つをうまく組み合わせて練習していきたいと思っています。

<58kg級 谷口亜純>

- ・ ジャークの自己新記録 93kg は本当に嬉しかった。しかし、スナッチの3本目は取らなければいけない重量だと思い、悔いが残った。
- ・ 「重量挙は重量慣れ」。私は練習で、スナッチもジャークも重量に対して積極的になれず、セーブをかけてしまっているので、試合でも結果がでないのだと思う。これからの練習では、もっと高重量を扱えるようにしていきたい。
- ・ ジャークのアップ時、差しばかりに気を取られ、クリーンが厳かになってしまっていた。差しと同じくらいクリーンも大切にして、足を使って持ってこれるようなクリーンをしていこうと思った。
- ・ 緊張していたけれど、その中で楽しみながら試合ができたので、よかったです。

<69kg級 中川諒子>

初めての海外での試合だったが、自分のペースで行うことができた点はよかったです。しかし、移動や慣れない生活の為、試合当日も少し疲れが残っていた。自己管理は競技をする前に基礎的なことなので大切にするべきだと思った。今回の試合では、失敗してしまったけどスナッチもジャークも新記録を触ることはできたので、また次の試合に向けての目標をはっきりさせることはできた。試合の後にコーチの方に頂いたアドバイスを大学に持ち帰って練習していきたい。今回の経験はすべてにおいて自分のプラスになったので、自己管理から基本生活、練習、試合まで、今後の参考にしようと思う。

<69kg級 斎藤里香>

今回は全日本に向けての試合ということで、調整という程のことは行いませんでした。昨年のピーク時から比べてスクワットが落ちていて、スナッチ・ジャークでも重量を扱えていないような状態だったので、少し不安はあったのですが、スナッチでは自己記録に挑戦できて良かったです。また、ジャークではフォームの課題点はありましたが、予定していた重量が出来て良かったです。次の全日本では2回目の重量からスタートできるように力付けと課題の修正に取り組みたいと思います。今回またしても韓国の強さを感じさせられました。次までに少しでも追いつくように、そして追い越せるように頑張りたいと思います。

＜75kg級 菊田裕子＞

今回は目標記録には及ばなかったもののジャーク・トータルで自己新が出てよかったです。スナッチの2試技目の失敗は体の動きが足りていなかつたのか残念だった。この失敗を反省して、次からは失敗しない試技を目指したい。補強が少し前まで弱っていたのが最近少しずつ戻りつつあるので、さらに補強を強くし全体の体作りをして種目の記録向上に繋げたい。また、怪我をせず継続して練習ができる筋力をつけるようにして、今後に繋げて行きたい。

＜+75kg級 制野真理＞

今回の試合は、大学に入ってからの初めての試合でとても緊張しました。ベストを取りたかったので、ジャークの2回目を失敗したのはとても悔しく思っています。スナッチは3本取れたので、まあまあ良かったかなと思います。まだ、腰と膝が痛いので、注意しながら練習していくと思います。また今回、JANG MI-RAN選手の試合を生で見れる事ができ、さらに世界新記録も肉眼で見ることができたので、とてもいい経験ができました。体幹の部分がしっかりとしていて全く動かなかつたので、すごいなと感じました。大学に帰ったら体幹の強化をさらにしていくみたいです。

2006年世界ジュニア選手権報告（女子チーム）

岡田純一（早稲田大学）

男女16名の日本選手団が5月24日、杭州市に到着した（ほか3名は27日着）。宿舎となる之江飯店(Zhijiang Hotel)には選手団を迎えるデスクが設置され、対応に追われていた。杭州市は人口600万人の省都で、交通量も多く、道路は自動車、自転車、人の往来が激しい。景勝地である西湖に面し、日本からの直行便が通う観光都市でもある。

25日より関連の会議が開催され、競技は26日のファイナルエントリーを経て、28日に開幕となつた。

5月28日 第1日：女子48kg級

今春、加悦谷高校から金沢学院大学に進学した竹下菜緒がAグループに出場した。長谷場監督ならびに川畑コーチと新旧の師に導かれ試合に臨んだ。スナッチはアップからキレも良く、スタートの67kgは軽くクリアした。2回目の70kgは前にファーストで前にブレたため、上体の起きが早く失敗。3回目は上手くプルが繋がり成功、試合新であった。1回目のC&J83を難なく成功したものの、2回目の88kgではクリーンを失敗してしまった。3回目に体勢を立て直しクリーンしたが、ディップがブレてしまって差しの失敗であった。

昨年6位に入賞した実績を踏まえての今大会であり、スナッチ、トータルは自己の試合新記録であった。しかし、練習ベストには及ばず、今後に課題を残した。



5月29日 第2日：女子53kg級

沼田洋子（平成国際大学←埼玉栄高）がBグループに出場した。事前合宿および現地入りしてからも予定した調整練習を完璧に遂行し、一番の仕上がりを見せていた。自己のベスト記録はスナッチ75kg、ジャーク95kgであったが、試合で揃ったことがなかった。これを達成し、トータルでの自己新記録を目指しての大会であった。しかし、試合2日前に体調を崩し、体重が1kg落ちる。当日はほぼ回復し、スナッチは予定通りの69kgからスタート。確実に2回目(72kg)まで成功させた。しかし、ジャークに入り、影響が出始め、スタートを予定した90kgから87kgへ下げた。体幹が安定せず苦しい試技であったが、力を振り絞り2回目(90kg)まで成功させた。3回目(92kg)も必死にクリーンしたが、差しは押さえきれずに失敗。アク



シデントとも戦いながら、ジャーク3回目の降壇後には倒れ込み、長谷場監督に抱きかかえられる程の頑張りを見てくれた。

5月30日 第3日：女子58kg級

昨年に続き出場2回目の松本萌波（早稲田大学←松戸国際高）は自己の持つジュニア日本記録更新を目指して、スナッチに挑んだ。76kg, 80kgと順調に成功させ、3回目は83kgに挑戦。引き出しで上体がやや前にとられ、セカンドに繋がらず、キャッチに入れないと前に落としてしまった。一方、ジャークには脚力不足、前差しなど苦手意識を持っていたため、これを克服し、自己記録の更新を目標とした。従前から徹底して差しの改善に取り組んだ成果が發揮され、1回目(95kg)から安定していた。3回目(100kg)はクリーンの受けでやや胸が潰れて苦しい立ちになったが、ジャークのセットを整えそれまで同様に安定した差しを決めた。ジャークおよびトータル自己新であった。



6月1日 第4日：女子63kg級



今回ただ一人の高校生、宮平奈美子（南風原高校）がBグループに出場した。背部の痛みもあり、その様子を見ながらの調整を経て試合に臨んだ。不安を抱えながらの1回目(75kg)であったが、引きも軽く成功。2回目(78kg)は力みもあり、キャッチ後に後方へ流れて失敗。3回目は慎重にフォームを意識して成功させた。ジャークでは95kg, 98kgと自己ベストを成功させ、3回目に自己新の100kgに挑戦。軽くクリーンし、差したもののはプレスアウトの判定。試合後の感想では痛みを思い出したように顔をしかめ、また世界との差を感じていたが、大舞台で自己記録を更新するところは大器の片鱗を窺わせた。



Aグループには昨年6位に入賞した橋田麻由（金沢学院大学←加悦谷高）が登場。5月に入り上り調子で日本新記録での上位入賞を目指した。85kgは彼女にとって過去最高のスタート重量だったが、十分に検討し、準備されたものだった。しかし、スナッチ1回目、2回目と綺麗に載せたものの、押さえきれずに失敗してしまった。結局、背水の陣の3回目に難なく成功し、周囲も安堵した。一方ジャークでは奮起し、1回目(107kg)を成功させ、2回目にはジュー

ニア日本新記録となる111kgに挑戦した。体幹の安定を意識し、終始危なげなく試技を成功させた(トータル日本新記録)。続く113kgも安定したクリーンであった。差しも持ち味の鋭さが冴え、一気に差し上げたが、スプリットで腰が“前に入り”前に歩いてしまった。何とかこれを押さえて見事なジャークおよびトータルでの日本新記録達成であった。

6月2日 第5日：女子69kg級

谷綾野（金沢学院大学←滑川高）が出場。予選から本大会に向けて記録を伸ばし、178kgの予選記録（自己ベスト）を上回る190kgを目標に臨んだ。スナッチ1回目を難なく成功させ、好調さを印象づけたが、本人は「頭が真っ白になっていた」そうである。2回目は83kgを余裕を持って引いたが、受けで手首が返って、後方へ落としてしまう。同重量の3回目は後ろに落とした2回目の影響で、受けを急ぎ、前に落とす。



これまで差しを苦手としているため、徹底した準備をしてきた。その成果で快調に成功を重ねていった。確かに、差しは前方に歩いてしまったが、以前に比べて安定感が増し、ふらつきは少なくなった。3回目は自己新の重量(103kg)であったが、軽くクリーンし、力強く差し上げた。後ろ足が流れて傾きかけたが、長谷場監督の檄が飛ぶ中、必死に踏ん張り成功させた。

6月3日 第6日：女子+75kg級

女子最重量級には嶋本麻美（金沢学院大学←和歌山東高）が出場した。調整段階では集中力を欠き、長谷場監督に叱咤される場面もあったが、スタートの85kgは危なげなく成功させた。2回目の90kg受けでバランスを崩し、落としてしまったが、3回目に成功。3回目の成功を見るとまだ、余力を感じる“軽さ”である。この日は引きが軽くスナッチに続いて、クリーンが好調であった。2回目に試合自己新となる112kgに成功。3回目は同じグループで競っていたギリシャの選手を逆転するため、116kgに挑戦した。軽くクリーンしたもの、差しを焦ったか、突ききれずに中途半端に終わってしまった。試合での自己記録を更新したものの、長谷場監督の求める“勝負強さ”には今一步であった。



☆ボランティアスタッフ

ホテルでのRegistration、会場や練習場・・・至る所に揃いのTシャツを着たボランティアス

スタッフが居た。彼らボランティアスタッフは英語を専攻する市内の大学生が殆どである。各国に1名が専属で張り付き、バス移動から各種問い合わせまで細かく気を使い選手団をサポートしてくれていた。その人數の多さと気配りには関心する事が多く、果たして日本でこれだけのことができるか?との思いを強く抱いた。皆、気さくに選手とコミュニケーションを取り、交流を深めていた。



筆者の【雑感】

女子チームは“井の中の蛙”にならず、世界に目を向けた意識を持つように長谷場監督が促している。今回の結果は数字的にはまだまだ及ばないところであるが、その歩みは着実に前へ進んでいると感じた。もちろん、目前の成果（オリンピック、国際大会でのメダル数）を求められる中で、今大会の評価は厳しいものがあるだろう。しかし、目標を高く掲げ、ほぼ全員が何ら



かの自己記録を世界の舞台で更新した。今後、次々に日本記録に挑戦していく選手が増える兆しを感じさせてくれた。日本の“大躍進”といった活字が踊る日を期待したい。

←女子団体6位。
表彰式にてT. Ajan IWF会長を囲んで記念撮影。右端：長谷場監督

階級	氏名	体重	S1	S2	S3	CJ1	CJ2	CJ3	Sn	SnR	CJ	CJR	T	TR
48	竹下菜緒	47.93	67	X70	70	83	X88	X88	70	7	83	9	153	8
53	沼田洋子	52.21	69	72	X75	87	90	X92	72	10	90	10	162	9
58	松本萌波	57.64	76	80	X83	95	98	100	80	13	100	11	180	11
63	橋田麻由	62.54	X85	X85	85	107	111	113	85	6	113	6	198	6
63	宮平奈美子	62.48	75	X78	78	95	98	X100	78	13	98	12	176	12
69	谷 紗野	68.37	80	X83	X83	95	100	103	80	7	103	7	183	7
+75	嶋本麻美	99.68	85	X90	90	107	112	X116	90	10	112	10	202	10

2006年世界ジュニア選手権報告（男子チーム）

各選手の報告

福田登美男（九州国際大学）編

階級	氏名	体重	S1	S2	S3	CJ1	CJ2	CJ3	Sn	SnR	CJ	CJR	T	TR
56	中山陽介	55.87	96	100	X104	118	123	128	100	5	128	5	228	5
62	中村友生	61.70	108	X112	112	128	133	X137	112	16	133	18	245	18
69	上地克彦	66.21	110	X115	115	150	157	X162	115	16	157	11	272	14
77	杉 久志	76.97	X115	115	120	150	155	X160	120	16	155	16	275	16
+105	太田和臣	135.54	150	X155	155	180	185	188	155	8	188	10	343	8
+105	廣瀬将也	153.44	126	132	140	X178	178	185	140	11	185	11	325	10

1) 56kg級 中山 陽介（法政大学）

大会を迎えるにあたって苦労したこと

大会を迎えるにあたって苦労したことは、試合が開始される時間帯にベストコンディションで挑むことでした。

今まで私が行ってきた大会のほとんどが午前中に開催されていたのですが、今回は午後4時試合開始だったので体重のコントロールなどに苦労しました。

大会を終えて感じたこと(反省点、良かったことなど)

大会を終えて一番に感じたことは、世界のレベルの高さです。

私が出場した56kg級のトップはスナッチで131kgというすごい記録を挙げました。



私はそれを見てショックを受けてしまい、ジャークのアップに集中することが出来ませんでした。1回目に予定していたスタート重量も下げるこになってしまったのですが最終的には128kgという今まで試合で挙げたことのない重量を挙げることが出来たので良かったと思います。

今後の目標

初めての国際大会に出場し世界のレベルの高さに動搖してしまいアップから満足のいく試技が出来なかったので、次に国際大会に出場したときは自分の試技だけに集中できる精神力を身につけていきたいです。

又、生活面では、言葉の壁がありうまく自分の言いたいことが表現できなかつたので、英語の勉強をしようと思っています。

2) 62kg級 中村 友生（九州国際大学）

大会を迎えるにあたって苦労したこと

初めての海外の試合だったのでどんな感じに試合が行われているのか分からなく、どんな生活をすればいいかも現地に入っても慣れるのに苦労しました。

大会を終えて感じたこと(反省点、良かったことなど)

試合を終えて感じたことは、日本のレベルと世界のレベルの違いです。世界のレベルはかなり高く、ジュニアの記録でも日本記録を抜きそうな記録で驚きました。自分自身の反省としては、今大会に上手く体調を持っていけなかつたのが悔しいです。

日本の試合ではほとんど緊張しないのですが、今回はおさまらないくらい緊張していました。スナッチでは2本目失敗したが、3本目で体制を整えて成功させたのでそこは良かったと思う。

今後の目標

今後の目標は、来年もジュニアの大会に出場できるので、今大会をいい経験とし来年は世界で十分に勝負できる力をつけていきたい。具体的にスナッチ125kg クリーン＆ジャーク155kgを確実に挙げたいです。



3) 69kg級 上地克彦（日本大学）

大会を迎えるにあたって苦労したこと

試合前に首を怪我してしまって調整練習が出来なく調子を試合までに戻すのが苦労しました。

大会を終えて感じたこと(反省点、良かったことなど)

首を怪我して試合でもいい結果が残せなかったので今後は、万全の状態で試合にのぞみたいです。

今後の目標

全日本選手権大会では62kg級で出場してスナッチ120kg、クリーン＆ジャーク161kgを目指として、練習をとりくみ目標重量を挙げたいです。

4) 77kg級 杉 久志（日本大学）

大会を迎えるにあたって苦労したこと

なかなか調子が上がらず自力的には大変でした。

しかし今回の大会に向けて調整もしてきたので、なんとか調子も戻りました。

大会を終えて感じたこと(反省点、良かったことなど)

今回のスナッチ1本、ジャーク1本の失敗は2本ともプレスアウトだったので練習の中でもっと意識しようと思いました。あと自分の弱点の練習をもっと入れるべきだと感じました。

今後の目標

インカレで優勝して大学日本一になる。

次に日本一になる。

次に日本代表として他国と接戦する。



5) +105kg級 太田 和臣 (九州国際大学)

大会を迎えるにあたって苦労したこと

調整中に高重量でも絶対に落とさない、という練習をやってきました。

そのため練習中でも試合に似た緊張感を持ち競技種目での回数練習、一本練習がどちらも大変でした。

体調面では食事をきっちりとれないと記録がでないだけでなく具合が悪くなったりするので、海外でもいつもどおり食事をとることが大切で、それが大変でした。

大会を終えて感じたこと(反省点、良かったことなど)

スナッチは調整中、スタート重量でセットを組めたので試合が軽かったんですが2本目に落としたことがとても悔しいです。ジャークでは確実にとれる重量をちゃんととって3本成功したので嬉しかったです。



今後の目標

練習でのベスト記録と試合でのベスト記録の差が大きいのでそれをうめて試合でもっといい記録を出すこと。それと試合でのもったいないミスをなくすために1回でもきっちりと取る練習をしていく。

今年中の目標はインカレを個人優勝することです。



7) +105kg級 廣瀬 将也 (日本大学)

大会を迎えるにあたって苦労したこと

事前合宿から大会直前まで、コンスタントに高重量を触れなかった事。

初めての海外の大会ということもあり食事に苦労した。

大会を終えて感じたこと(反省点、良かったことなど)

良かった事

予定重量より上になってしまったスナッチの3本目をとった事。

自分にとって良い経験になった事。

反省点

クリーン＆ジャークの1本目の失敗。集中力のなさ。

今後の目標

怪我をしないで、コンスタントに記録を伸ばしていきたい。



全員集合！→

全日本選手権大会観戦記

山梨県協会事務局長 若杉孝一

平成18年度の全日本選手権大会は6月30日から7月2日までの3日間、山梨県甲府市の「小瀬スポーツ公園武道館」で開催され、男子78名、女子45名がエントリーして日本の頂点を目指し熱戦が展開された。

記録では、男子の56kg級クリーン＆ジャーク、94kg級のクリーン＆ジャークとトータル、女子+75kg級クリーン＆ジャークで日本新記録、男子+105kg級トータルでジュニア日本新記録、その他多くの大会新記録が樹立された。

その中で、男子94kg級のクリーン＆ジャーク競技では3名の選手が日本新記録に挑戦し優勝争いを展開して、会場からはため息と拍手が交錯した。また、女子48kg級のスナッチ競技でも2名の選手が日本新記録に挑戦し、惜しくも記録更新とはならなかつたが、会場は釘付となった。今後の多くの大会でこのような優勝争いを展開できる階級が増えることを期待します。

大会全体を通して活躍するのは25歳前後の選手がやはり多い。しかし、階級によつては次代を担う世代の台頭と活躍が期待できた。北京オリンピックまであと2年、それまでには幾つかの国際大会を戦わなければならないと思います。今大会で活躍した選手たちが更に記録を向上させ、世界で活躍することを期待します。

また、山梨県開催のためどうしても地元選手の活躍を期待した。しかし、優勝が期待された69kg級の今村選手は地元開催のプレッシャーからかスナッチ競技で失格。最後の+105kg級で天野選手がスナッチ18kg差をクリーン＆ジャーク競技で逆転して優勝し、山梨県開催に花を添えることができた。

最後に、全国の精銳選手が熱戦を展開され、大会役員をはじめ関係各位のご協力のもと大会を無事終了することができたことに山梨県協会一同深く感謝申し上げます。



第66回全日本選手権大会優勝しての感想

山田5年ぶりジャーク151kgの日本新V。中村、朝田は初優勝。



S107kg、J151kg N R、T258kg

56kg級優勝 山田 政晴 所属：群馬県・群馬総合ガードシステム

自己ベスト S115 J157.5 DL190 Sq230 Mp77.5

<優勝の感想> 出身校 群馬県前橋育英高校－日本体育大学
優勝した以上にジャークで5年ぶりに151kgの日本新記録を出せた
事が嬉しい。 自己評価80点
<世界選手権・アジア大会の抱負>
今回の記録以上に挙げたい。

<大会前日はどういった調整練習ですか>
身体を休めるためにストレッチのみ行った。



S114kg、J138kg、T252kg

62kg級優勝 中村 友生 所属：宮崎県・九州国際大学2年生

自己ベスト S118 J143 DL175 Sq180 Mp70

<優勝の感想> 出身校 宮崎県佐土原高校
驚きの一言です。体調が悪かったので優勝出来るのは思ってもいませんでした。 自己評価40点

<大会前日はどういった調整練習ですか>
体調が悪かったのでバーベルは触っていないが、常日頃フォームを考えるようにしています。



S130kg、J160kg、T290kg

69kg級優勝 朝田 智弘 所属：東京都・警視庁

自己ベスト S137.5 J165 DL200 Sq212.5 Mp80

<優勝の感想> 出身校 徳島県貞光工業高校－明治大学
まずはまずの記録で優勝できて嬉しい。 自己評価90点

<世界選手権の抱負>
満足する試合をしたい。

<大会前日はどういった調整練習ですか>
あまり試合の事ばかりを考えず、自分の好きな事をする。



S144kg、J180kg、T324kgCR

77kg級優勝 新谷 基人 所属：石川県・金沢学院大職員

自己ベスト S144 J185 DL220 Sq265 Mp105

<優勝の感想> 出身校 福井県小浜水産高校－大阪商業大学
記録が納得いくものではなかった。 自己評価60点

<世界選手権・アジア大会の抱負>
今度こそ日本新記録をとり少しでも上位の順位を狙いたいと思います。

<大会前日はどういった調整練習ですか>
今回は調整なしでけっこう思い重量を触っていました。

平岡ジャーク 194kg、トータルでも日本新V。 地元選手の+105kg級 天野“嬉しい全日本初優勝”



S135kg、J170kg、T305kg

85kg級優勝 鈴木 和美 所属：埼玉県・自衛隊体育学校

自己ベスト S155 J195 DL230 Sq265 Mp110

<優勝の感想> 出身校 沖縄県南部工業高校－明治大学
優勝できた事が少し嬉しいですが、記録的には満足していません。
自己評価 50点の出来。

<世界選手権・アジア大会の抱負>
早く怪我を治し自己ベストまで戻し試合をしたい。

<大会前日はどういった調整練習ですか>
前日は50%の重量でトレーニングを終了した。



S150kg、J194kgNR、T344kgNR

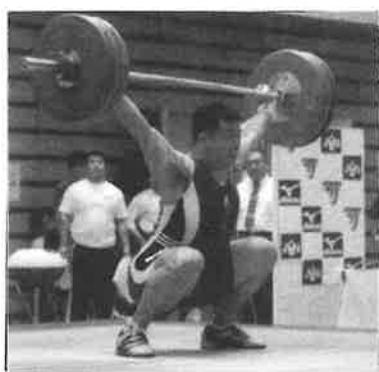
94kg級優勝 平岡 勇輝 所属：静岡県・静岡県ウエイト協会

自己ベスト S151 J194 DL220 Sq243 Mp107.5

<優勝の感想> 出身校 静岡県清水工業高校－明治大学
パーフェクトではなかったが、チャンスをモノに出来たことは嬉しいし、
今回の目標を達成できて良かった。 自己評価 99点。

<世界選手権・アジア大会の抱負>
世界と世界の差にビビらずどんどん勝負できるように頑張りたい。

<大会前日はどういった調整練習ですか>
40%程度でフォーム練習をしました。



S147kg、J186kg、T333kg

105kg級優勝 稲垣 英二 所属：東京都・警視庁

自己ベスト S155 J195 DL240 Sq270 Mp102.5

<優勝の感想> 出身校 埼玉県埼玉栄高校－日本大学
怪我で練習出来ない期間が長かったので、記録はともかく嬉しい優勝でした。
自己評価 80点。

<大会前日はどういった調整練習ですか>
軽い重量で動作のチェック。10分程度。



S150kg、J204kg、T354kg

+105kg級優勝 天野 満 所属：山梨県・明見中学校職員

自己ベスト S162 J205 DL270 Sq305 Mp135

<優勝の感想> 出身校 山梨県吉田高校－法政大学
優勝できたのは嬉しいが、目標としていた記録に届かなかった事や、
スナッチで失格しそうになった事もあり、課題が増えた試合でした。
自己評価 40点。

<大会前日はどういった調整練習ですか>
身体を軽く動かす程度に70kgでフォーム確認。

第20回全日本女子選手権大会優勝しての感想

48kg級三宅はジャーク・トータルに大会新で3度目圧勝V。

48kg級優勝 三宅 宏実 所属:埼玉県・法政大学3年

自己ベスト S85 J111 DL145 Sq145 Mp57.5

<優勝の感想>

出身校 埼玉県埼玉栄高校

調子も悪く不安でしたが、優勝できた事に素直に嬉しい。記録に対しては悔しい内容でした。

自己採点は75点。

<世界選手権・アジア大会の抱負>

世界選手権に標準を合わせトータル200kgを出すこと。2ヶ月後のアジア大会でも力だめしをしたい。

<大会前日はどういった調整練習ですか>

S.J 50%の重量でフォーム確認とSqで軽く刺激する練習を行った。



S80kgCS、J107kgCR、T187kgCR

53kg級優勝 松宮 紅美恵 所属:埼玉県・自衛隊体育学校

自己ベスト S82.5 J112.5 DL125 Sq150 Mp55

<優勝の感想>

出身校 三重県石薬師高校－日本体育大学

優勝できて良かったが満足出来ない結果内容でした。

自己採点は40点。

<世界選手権・アジア大会の抱負>

今回以上の記録を挙げ、満足出来る内容にしたい。

<大会前日はどういった調整練習ですか>

S.Jとも50～60%の重量でフォーム練習とSq.DLなどの補助種目。



S75kg、J105kgCS、T180.0kg

58kg級優勝 大倉 妙子 所属:埼玉県・平成国際大職員

自己ベスト S82 J112 DL125 Sq150 Mp52.5

<優勝の感想>

出身校 埼玉県埼玉栄高校－平成国際大学

内容は別として優勝出来た事にホットしています。内容は目標を下回る重量だったので、自己評価は70点。

<大会前日はどういった調整練習ですか>

前日は、シャフトでS.Jのフォームをやっています。



S78kg、J102kg、T180kg

63kg級優勝 桜田 麻由 所属:京都府・金沢学院大学2年

自己ベスト S88 J113 DL135 Sq160 Mp50

<優勝の感想>

出身校 京都府加悦谷高校

日本記録をとれる重量なのに失敗してとても悔しいです。

自己採点は50点。

<世界選手権・アジア大会の抱負>

自分が目指す記録をとり、日本代表として恥ずかしくない結果を出したい。

<大会前日はどういった調整練習ですか>

S35kg、J45kgで軽く動きのチェックをしています。



S86kgCS、J110kgCR、T196kgCR

+75kg級城内(早大) ジャーク 130kgの日本新V。



S89kgCR、J110kg、T199kg

69kg級優勝 斎藤 里香 所属:石川県・金沢学院東高校教諭

自己ベスト S90 J117 DL160 Sq155 Mp60

- <優勝の感想> 出身校 京都府加悦谷高校—立命館大学
優勝した事は嬉しいが記録、内容共に納得のいくものではなく、悔しい
気持ち大きい。 自己評価は50点。
<世界選手権大会の抱負>
世界選手権大会では、1本目からきっちりと成功させて、3本目で勝負
が出来るようにして、点数獲得に貢献したい。
<大会前日はどういった調整練習ですか>
大会前日はアクティブレストでシャフトは触っていません。



S100kg、J124kgCR、T224kgCR

75kg級優勝 今井 一恵 所属:埼玉県・自衛隊体育学校

自己ベスト S107.5 J125 DL160 Sq165 Mp70

- <優勝の感想> 出身校 埼玉県埼玉栄高校—法政大学
優勝したのは嬉しかったが、記録や試合内容が良くなかったのであまり
満足のいく試合ではなかった。 自己評価は30点。
<世界選手権・アジア大会の抱負>
世界選手権では自己新記録を出して点数をとりたい。
アジア大会では、メダルを取りたい。
<大会前日はどういった調整練習ですか>
種目は軽い重量60~70%位まで上げて終わります。
後はSqとDipを少々やりました。



S92kgCR、J130kgNR、T222kgNR

+75kg級優勝 城内 史子 所属:岩手県・早稲田大学4年

自己ベスト S92 J130 DL160 Sq183 Mp66

- <優勝の感想> 出身校 岩手県宮古北高校
日頃の調整段階から本番にマックスが来るように練習を積んできて、J
130kgの日本新記録を挙げる事ができ大変嬉しい。
自己評価は99点。
<世界選手権・アジア大会の抱負>
まだまだ世界レベルではありませんが、世界の大会では、S100-J
140kgを目指して頑張ります。
<大会前日はどういった調整練習ですか>
S, Jは60%の重量で刺激とフォーム確認を行っています。
Sqもクリーンベストの70~80%で刺激を与えてています。

<提案>

「試合時に軽くて落とすのと」、「試合時に少々重くてもとれるのと」貴方はどちらですか？

前日に練習するのと、しないとの違い……スナッチ種目とクリーン&ジャーク種目は筋力はもとより素早くキャッチするテクニックとスピードが要求されます。世界一流のフォームテクニックをみるとスナッチにおいてはハイブルの最高到達点からバーベルを座ってキャッチする落差は10cm前後である。クリーンも同様であり、立ち上がってから差し挙げるタイミングと呼吸は高度な熟練性を要します。筋力には素質的な限界もあるが、技術やテクニックはまだ完璧さを追求する改良の余地がある。よほどの減量苦がない限り、前日にもテクニックの確認と、自信と安心感を得る練習をやるべきではないだろうか。

2006年第9回世界大学選手権大会



6月30日から7月2日までトルコ共和国イズミール市で第9回世界大学選手権大会が開催され、岡本実常務理事（学生連盟理事長）をコーチに、56kg級岡田英典・62kg級五百蔵和正（両名とも大阪商業大学）の2名の選手が派遣され、岡田がトータル225kgで第2位、五百蔵がトータル255kgで第6位の成績を残し帰国しました。

大会を終えての感想を岡田・五百蔵両君に聞いてみました。

—今大会の出場が決定してから出発までの気持ちを聞かせてください。

五百蔵：大会への出場が決まった時、とても嬉しく思いましたが、出発日が近づくにつれ、いつもどおりの試技ができないのではないか、移動時間が長いので疲れてしまうのではないかと初めての国際大会への不安がだんだん大きくなっていました。

—現地までの移動時間がとても長かったようですが、コンディションはいかがでしたか。

五百蔵：ドバイでの10時間の乗り継ぎ待ち時間を含めた27時間の移動は、想像していた以上の長旅に感じられ、疲労も予想していた以上に残りました。到着翌日の練習時にも疲労感はまだ残っており、思うような練習ができないままその翌日の競技に向かうことになってしまいました。

岡田：私も、移動時間が長かったので体重や体調管理がうまくいっているのか不安が大きなまま競技会当日になってしまいました。

—そのような体調の中で、二人とも自己新記録を出しましたが、競技会そのものはいかがでしたか。

岡田：もう開き直ってやるしかないと思って競技に臨みました。身体の動きに切れがなく、いつもどおりには試技ができずスナッチは1回目の95kgの成功だけに終わってしまいました。しかし、C&ジャークでは、岡本コーチのアドバイスを冷静に実行することができ、すべての試技に成功し130kgの自己新記録を出すことができました。

五百蔵：体調は十分ではありませんでしたが、競技会では浮き足立つことはなくコーチのアドバイスをきちんと聞くことができ、落ち着いて試技に臨むことができました。結果、トータル255kg、62kg級での自己新記録に成功することができました。



—外国の強い選手を目の当たりにしてどのようなことを思いましたか。

岡田：スピードがあり、ものすごいパワーだなと思いました。また、本当に強い選手は力強さだけでなく成功率も高く、試技が安定していると思いました。

五百蔵：自分の実力は世界のレベルと比べると歴然とした差があることを改めて知りました。

—今後の抱負を聞かせてください。

五百蔵：世界のレベルに近づけるよう一層の努力を積んでいく決心をしました。

岡田：今大会、終わってみるとたくさんの経験ができ、その中でいろいろなことを学びました。今大会への出場にあたってはたくさんの方々に支えていただき、無事に帰ってくることができました。今後、一層の努力を積み、再び世界の大会に出場し活躍できるよう頑張り、多くの方々に恩返しをしたいと思っています。

—ありがとうございました。今後の大きな飛躍を期待しています。

第24回マスターズ選手権大会観戦記

審判委員 豊田廣和

平成18年7月22日から23日の間、鹿児島県鹿児島市鴨池体育館で第24回マスターズ選手権大会が開催されました。参加選手138名（男子136名・女子2名）昨年を上回る参加者となった。鹿児島県では1982年に開催された高校総体以来の全日本大会開催で私個人もその高校総体に参加した一員として懐かしい思いで大会会場まで向かいました。

大会前の開会式（レセプション）では、最年長加藤さん（新潟）の紹介もあり、生涯スポーツと言う観点からも大会に向け友好的で効果的な開会式となった。

大会前日には、ギリギリまで減量をする大先輩の選手の姿あり真剣身が溢れ大会に向け今まで数回役員として参加してきた大会とは違うマスターズ大会になるような思いがあり期待して大会を迎えた。

大会では、加藤さんの試技には1試技毎に歓声もあり、開始当初から盛り上がり記録的には56キロ級から+105キロ級までの5階級で22個のマスターズ新記録の樹立、Hクラス・女子では、大会新記録が樹立され、各自の力が十分に発揮され盛り上がりのある大会であった。大会終了時会場からは拍手が沸きあがり、一人の負傷も無く無事に大会が終了した。





2006年全国高校女子選手権大会観戦記

普及委員 上田 貢

第8回全国高等学校女子選手権大会が7月22～23日に、兵庫県明石市「明石市立産業交流センター展示場」にて開催されました。北は北海道、南は沖縄まで全国49高校から総勢113名の選手が参加しました。

本大会は、女子高校選手にとって最大の大会であり、各階級で激戦を繰り広げ大いに盛り上りました。また会場は、本年度行われる「のじぎく国体」の第一会場という事もあり大変素晴らしい環境の中、試合が行われました。

48Kg級は、守屋選手（倉敷商業）と昨年度中学チャンピオンの伊藤選手（四日市中央工業）がスナッチ55kgで並び、C&ジャークで守屋選手が3回目に77kgに成功し、伊藤選手の追い上げを振り切り接戦をものにしました。

53Kg級では、稻谷選手（倉敷商業）がスナッチで68kgを上げトップに立ちましたが、田口選手（県尼崎工業）がC&ジャークで見事87kgを上げ、逆転優勝を決めました。

続いて、58Kg級では、浅田選手（須磨友が丘）がスナッチで2kgリードする中、C&ジャークで、菊田選手（飯田）が3回目に逆転を狙いましたが、惜しくも失敗、浅田選手がスナッチのリードを守り、優勝しました。

2日目に入り、63Kg級では、西脇選手（加悦谷）がスナッチ、C&ジャーク共に、安定した力を見せ優勝しました。

そして、69Kg級は、今年のジュニア世界選手権に出場した宮平選手（南風原）がスナッチで83kgの大会新記録を上げ2位とトータル22kgの差を付け圧勝しました。

引き続き、75Kg級でも、井上選手（四日市中央工業）がC&ジャークで105kgの大会新記録を上げ、2位に大差を付け2年連続の優勝を決めました。

最後に取りを飾る+75Kg級では、比嘉選手（豊見城）と大西選手（加悦谷）の一騎打ちとなりました。比嘉選手がスナッチ1kgリードする中、大西選手がC&ジャークで逆転を狙うも失敗に終わり、比嘉選手の優勝が決まりました。

団体戦では、史上初の3年連続優勝を狙う加悦谷高校（京都府）と初優勝を狙う倉敷商業高校（岡山县）の事実上の一騎打ちとなりました。軽量級で倉敷商業高校が確実に得点を重ねリード、加悦谷高校は、中重量級で巻き返しを計るも一歩及ばず、倉敷商業高校が念願の初優勝を果たしました。

2日間の試合を通して、各選手のバーベルに対する真剣なまなざし、そして、選手に惜しみない声援を送る仲間達、何より選手と監督との間に存在する計り知れない信頼関係を見ることができ、本当に感動しました。今回、目標を達成できた選手も、そうでない選手も、ベストを尽くし大変素晴らしい戦いを繰り広げてくれました。今大会は、4つの大会新記録が樹立され、各階級で優勝争いが熾烈に行われ、大変盛り上ったものとなりました。



48Kg 級 優勝 守屋 美穂 (倉敷商業)
S 55kg , C&J 77kg , T 132kg



53Kg 級 優勝 田口 愛美 (県尼崎工業)
S 62kg , C&J 87kg , T 149kg



58Kg 級 優勝 浅田 祐未 (須磨友が丘)
S 70kg , C&J 91kg , T 161kg



63Kg 級 優勝 西脇 千尋 (加悦谷)
S 67kg , C&J 86kg , T 153kg



69Kg 級 優勝 宮平 奈美子 (南風原)
S 83kg 大会新記録 , C&J 95kg , T 178kg



75Kg 級 優勝 井上 佐織 (四日市中央工業)
S 76kg , C&J 105kg 大会新記録 , T 181kg



+75Kg 級 優勝 比嘉 真理子（豊見城）

S 77kg , C&J100kg , T 177kg



学校対抗の部 初優勝 倉敷商業高校（得点 75点）



2006年 男子第19回・女子第11回 アジアジュニア選手権大会

2006. 7. 22 ~26 大韓民国 群山市

アジアジュニアウエイトリフティング競技大会は大韓民国の群山市で行われた。

群山市は仁川空港より南へ約300kmの所に位置し、バスで3時程度であった。また、産業は農業（米穀類）や漁業が中心となり、最近では工業地帯へ大企業の進出が目立っているそうである。市街地もあまり繁華街もなく、郊外は田園地帯が広がり静かで日本の地方と同じようであった。そして、気候は7月の下旬の割には涼しく、練習・試合とも良いコンディションで臨むことが出来た。

代表選手団

男子監督 小宮山哲雄 (山梨県立吉田高等学校教諭)
女子監督 長谷場久美 (金沢学院大学)

男子選手及び結果

94 kg級	高橋 一馬 (九州国際大学2年)	S 126	131	135	J 152	157	160	T 295	5位
105 kg級	福嶺 佑也 (九州国際大学1年)	S 126	131	136	J 167X	167	172	T 308	4位
105 kg級	太田 和臣 (九州国際大学2年)	S 152	157X	157X	J 185	192	200X	T 344JNS	優勝

女子選手及び結果

48 kg級	中部 有理 (金沢学院大学1年)	S 59	61	63	J 77	80X	80	T 144	3位
53 kg級	竹下 菜緒 (金沢学院大学1年)	S 68	71	73	J 88X	88	91	T 164	4位
+75 kg級	嶋本 麻美 (金沢学院大学1年)	S 87	92	96JNR	J 113	117X	117	T 213	6位

+105kg級 太田和臣見事優勝



表彰台での太田和臣選手

【男子】

94kg級 高橋一馬

「初めての海外試合ということで緊張しました。スタート重量を予定より下げ結果的には6本成功と良い成績に繋がることが出来ました。さらに練習を重ね大学のトップを目指したいと思います。」

105kg級 福嶺佑也

「海外遠征は3回目になりますが、アジアのジュニア選手も大変強く良い勉強になりました。6本の成功を目指していましたが、ジャーク1本目の差し上げの際ひじの緩みで失敗したのが残念です。さらに練習して日本を代表する選手になりたいです。」

+105kg級 太田和臣

「まさか自分が優勝できるとは思いませんでした。検量後のスタート重量を見たときは闘志がみなぎってきました。スナッチで1本しか取れず残念でしたが、ジャークで逆転したときはうれしかった。表彰台の一番上で君が代を聞いたときは感極まるものがありました。2年後の北京オリンピックを目指して頑張ります。」

48kg級 中部有理銅メダル獲得



2つのメダルを獲得した中部有理選手

+75kg級 嶋本麻美スナッチJr 日本新樹立



嶋本麻美選手のジュニア記録更新の試技。

【女子】

48kg級 中部有理

「国際大会で表彰台に立てたことはとても嬉しく、今後の自信にもなりました。これからもこの結果に満足することなく、記録を伸ばしていきたいです。C & ジャークの第2試技のような単純なミスをせず、ここ一番で確実に決められる選手を目指したいと思います。」

53kg級 竹下菜緒

「成功率は良かったものの、C & ジャークの1本目の失敗が悔やまれます。スタート重量を確実に取らないと勝負にならないことを痛感しました。もっとジャークを強くして“逆転ジャーク”で勝負を決められるぐらいになりたいです。この試合をバネにして次に繋がるよう頑張ります。」

+75kg級 嶋本麻美

「スナッチは今回設定していたジュニア日本記録を更新し、初めて国際大会でのメダルを手にすることができました。しかし、C & ジャークの課題をまた宿題として持ち越してしまったことが悔しいです。スナッチで韓国の選手に勝ったことを自信とし、次こそはスナッチ・C & ジャーク共に満足できる試合にしたいです。」

【総評】

男子の国際大会で“君が代”を聞いたのは13年ぶりではないだろうか・・・。

今回の個人の目標（成功率、自己記録、順位）はほぼ達成できた。そして、最重量級の太田和臣・嶋本麻美は歴代の重量級選手の中では最速で記録を伸ばしているので、日本の重量級の牽引者となってほしい。また、男子の高橋、福嶺も大学チャンピオン・全日本トップを目指し、女子の中野・竹下・嶋本は、来年もジュニアの権利があるので、是非、ジュニア日本記録の更新を期待する。



選手の皆さん更なる記録向上を期待します

第53回全国高等学校選手権大会観戦記

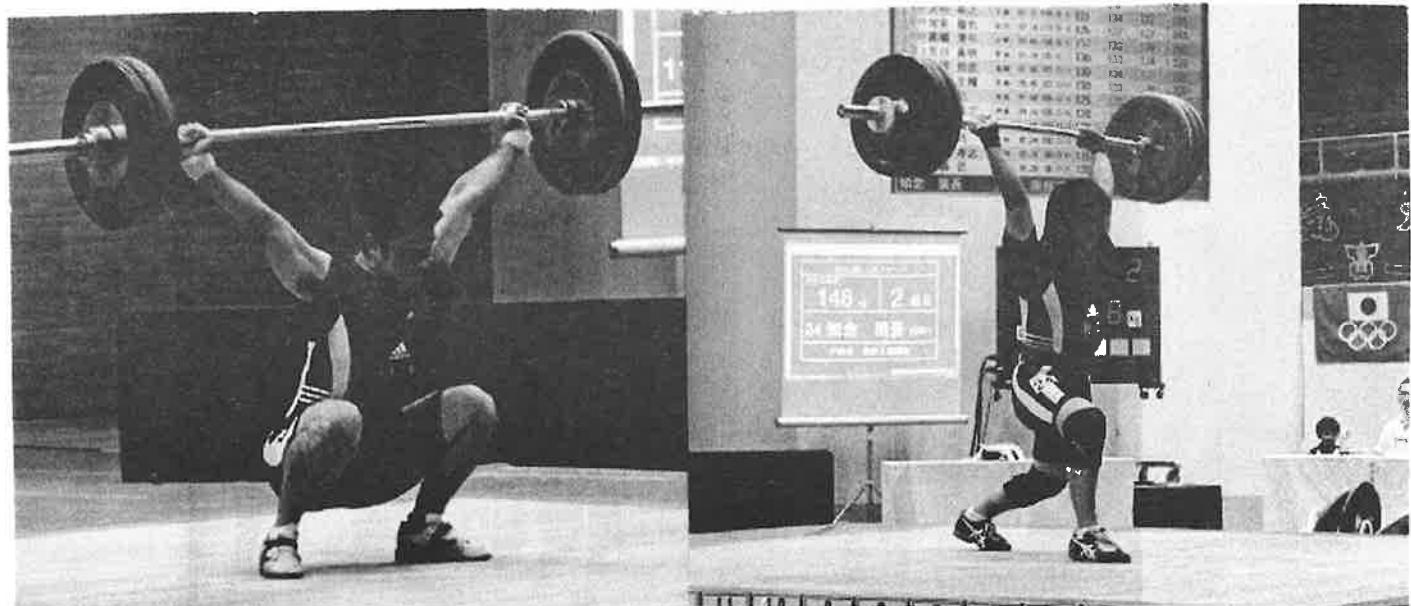
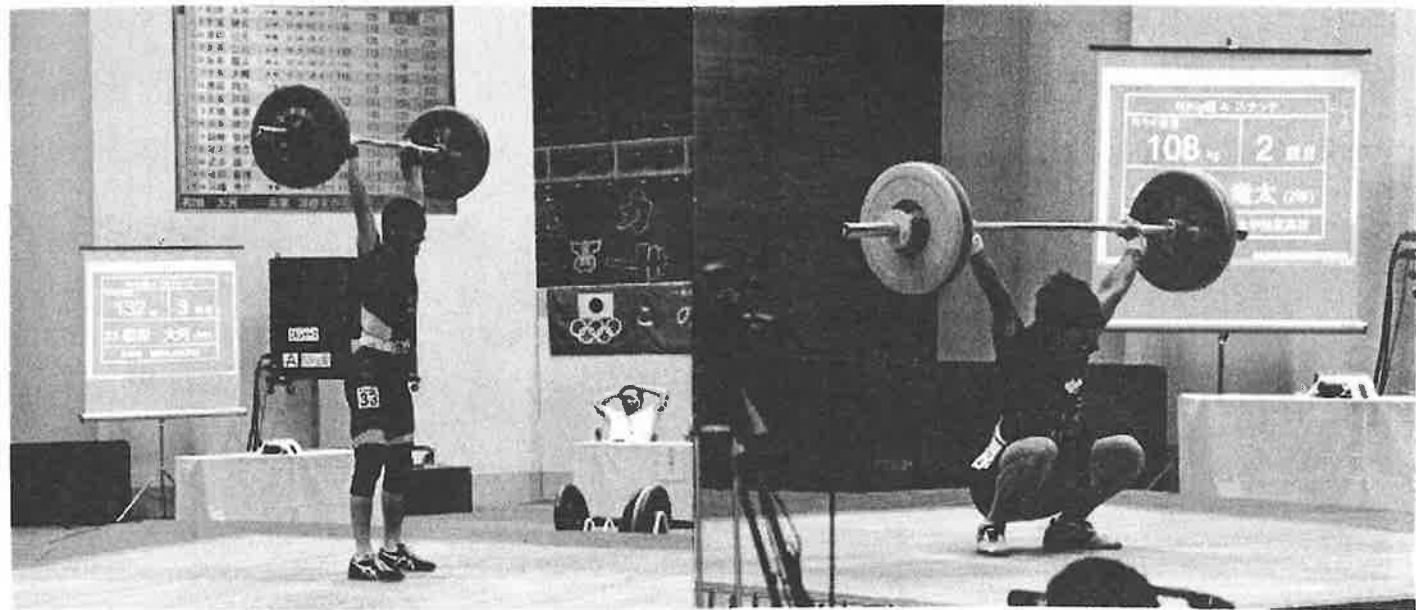
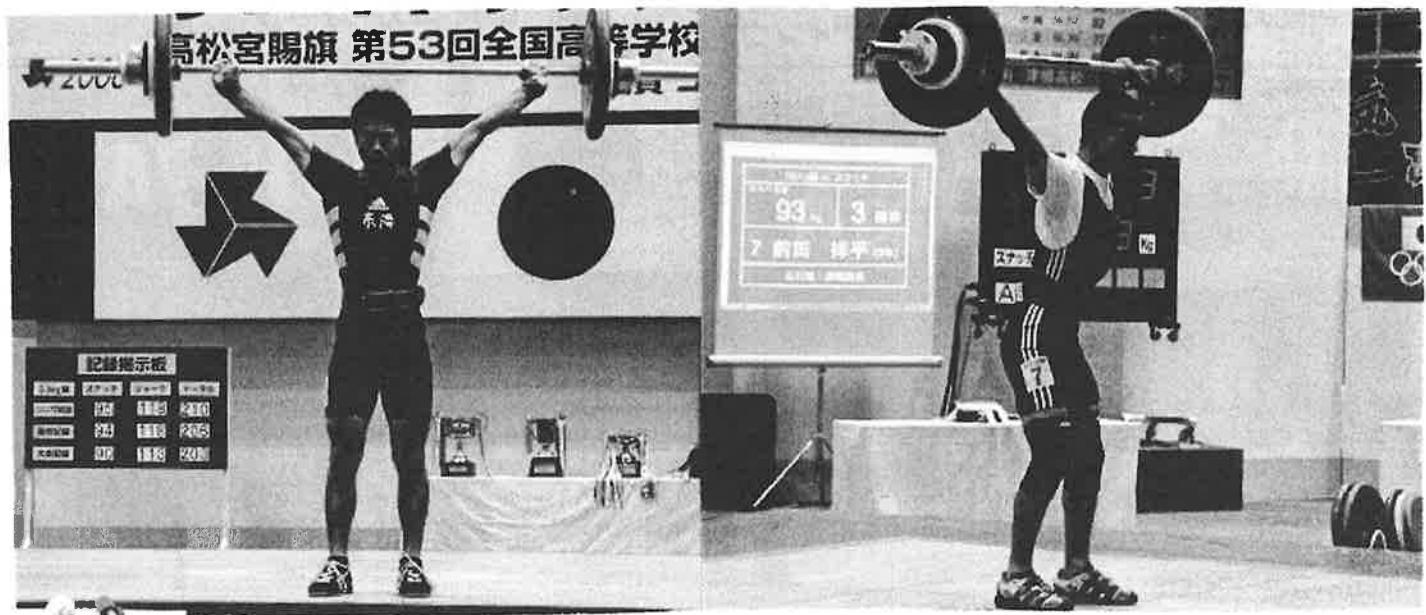
兵庫県WL協会理事 岡上国治



三連覇達成の京都加悦谷高校

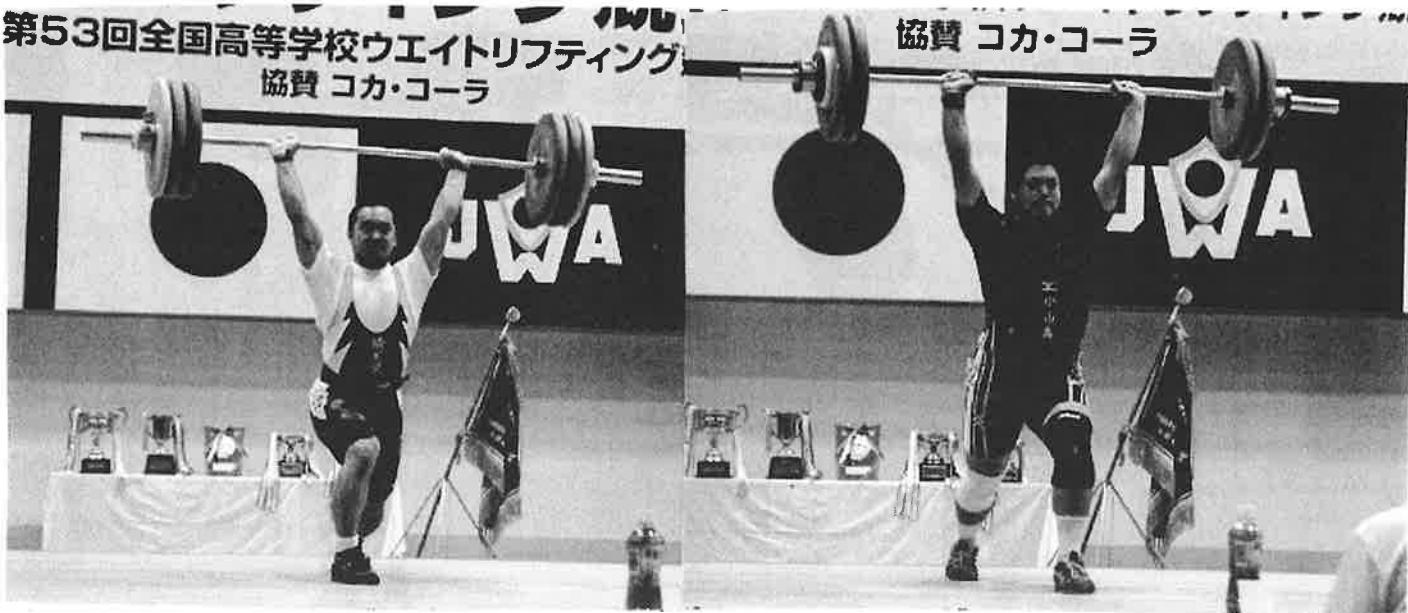
大会は連日の猛暑が続く中の8月5日から4日間の競技日程で行われた。会場は、1999年の第52回「なみはや国体」開催の大坂羽曳野市「はびきのコロセアム」だ。ウエイトリフティング競技専用の練習場を併設し、小中学生などのジュニア育成教室も開設されていて、優秀なジュニア選手を輩出している。毎年学生の競技会も行われるなど、まさにウエイトリフティングのメッカとなっているところだ。快適なエアコンシステムと広々とゆとりがあり、競技場・選手控え室・アップ場がワンフロアで一体化された申し分ない会場が設営され、前日の監督会議・審判会議を経て4日間の競技会が始まった。

初日より競技は熱戦の様相を呈し、若手指導者率いる四国や九州勢の統制のある大きな声援は、競技での活躍や勢いを象徴し、今後一層の活躍や飛躍と勢力地図の移り変わりを感じさせてくれた。また、大分県四日市高校は来年度廃校になる。そんな母校の終焉や最後の夏への思いが込められた部員一丸のハツラツとした応援や活躍振りに感慨もひとしだった。競技の場面では、勢いの若手や中堅指導者と試合巧者のベテラン指導者の試合の駆け引き、試技の判定騒動などがあいまって、今年も悲喜こもごもなドラマが展開された。3月の選抜大会に続く連続優勝を成し遂げた選手は9階級中5階級、他の4階級は雪辱される結果となつたが、最も頑張った選手やチームに栄冠が輝いたことも紛れもない事実だ。学校対抗では、大会史上初となる同一校三連覇を成し遂げた京都加悦谷高校の活躍も「見事」の一語に尽きる。2年生優勝を成し遂げた地元選手で、69kg級の大坂産大附属高校の白草竜太君も大きな話題になっていいだろう。この「はびきのコロセアム」のジュニア教室から育ち輩出された選手だ。年月の流れを感じながら、二世選手の活躍にも目を引かれた。何よりも、これらの選手の活躍を通して「選手発掘と育成の原点の一端」を見たような思いがしたのも今大会での感想だ。



第53回全国高等学校ウエイトリフティング
協賛 コカ・コーラ

協賛 コカ・コーラ



第20回全国男子中学生・第5回全国女子中学生大会観戦記

栃木県WL協会 菊地 寿



今年は全国中学生ウエイトリフティング競技選手権大会が行われるようになってから、男子が20回・女子が5回を数える節目の大会になりました。栃木県立小山南高等学校を会場に、全国各地から、多くの精鋭選手男子25名、女子11名を迎えて、盛大に大会を開催することができました。

8月23日(水)の大会前日に開会式を小山グランドホテルで行い、翌日8月24日(木)AM8時30分より女子の部の競技が開催されました。続いて、男子の部(48~58kg級)その後、(63~+75kg級)の2部に分け、競技が実施されました。

大会結果で、特に目立ったのが、女子53kg級で、京都府舞鶴市立白糸中学 村田一菜選手がスナッチ45kg(大会タイ) ジャーク56kg(大会新) トータル101kg(大会新)を樹立し、また、男子69kg級で、沖縄県国頭村立国頭中学校 金城成人選手がスナッチ78kg(全中新) ジャーク95kg(全中新) トータル173kg(全中新)と全てにおいて日本中学新記録を樹立するなど、大会を大いに盛り上げてくれました。

昨年度に比べて参加人数が少なく、寂しい感じを受けましたが、西日本の選手が多く参加して頂き、特に女子選手の技術力の向上がすばらしく感じられました。今後さらに全国中学生ウエイトリフティングが発展することを期待したいと思います。

第20回全国男子中学生優勝者紹介



S 43 kg, J 52 kg, T 95 kg

48kg級優勝 大谷 弘稀 大阪府羽曳野市立河原城中学1年
身長 150cm 体重 41kg ベスト記録 S45 J51 Sq63 DL65 Mp35
<優勝した感想> 自己採点 80点
うれしいの一言。

<将来の抱負>
全中大の最優秀選手賞をとりたいです。

<指導者:橋本先生からの一言>
真面目に一生懸命に練習に取り組むところ。
フォームがうまいところ。



S 52 kg, J 65 kg, T 117 kg

53kg級優勝 立川 将之 茨城県笠間市立友部第二中学3年
身長 167cm 体重 53kg ベスト記録 S50 J65 Sq85 DL85 Mp38
<優勝した感想> 自己採点 99点

最後の大会で優勝できて嬉しいが、6本成功できなくて残念です。
スナッチは自己新記録がでて良かった。まだ上を狙っていきたい。

<将来の抱負>
目標とする高校に入り、今までより練習してインターハイで良い記録
を出すこと。

<指導者:福田先生からの一言>
ウェイトリフティングが好きで努力型である。



S 58 kg, J 77 kg, T 135 kg

58kg級優勝 横木 啓人 京都府舞鶴市立白糸中学3年
身長 163cm 体重 56kg ベスト記録 S60 J73
<優勝した感想> 自己採点 95点
うれしいです。昨年2位だったのでリベンジをはたせて良かった。

<将来の抱負>
ウェイトの練習を積み重ね将来はオリンピック選手になれるよう頑張り
たい。

<指導者:堺谷先生からの一言>
自分で考えながら意欲的に取り組むことができる。
運動能力は高く、どんな種目も一定のレベルをこなすことができる。



S 81 kg, J 102 kg, T 183 kg

63kg級優勝 早川 彰彦 大阪府羽曳野市立河原城中学3年
身長 167cm 体重 62kg ベスト記録 S82 J107 Sq145 DL148 Mp60
<優勝した感想> 自己採点 40点
とてもうれしいです。

<将来の抱負>
インターハイ 優勝です。

<指導者:橋本先生からの一言>
真面目で素直でよく頑張るところ。
スピードがある。

金城（沖縄国頭中）S 78kg、J 95kg、T 173kg の3種目に“全中新記録”



S 78 kg MR, J 95 kg MR, T 173 kg MR

69kg級優勝 金城 成人 沖縄県国頭村立国頭中学3年
身長 167cm 体重 67kg ベスト記録 S76 J93 Sq125 DL120 Mp50
<優勝した感想> 自己採点100点
この大会で全中新記録をだして優勝できて大変嬉しいです。コーチの
教えがあったから出せたと思います。
<将来の抱負>
高校でも信和コーチに教えてもらい高校新記録を出したいです。
<指導者：金城先生からの一言>
前回の大会は1kgの差で3位入賞を逃しましたが、今回中学新記録
で優勝してくれました。彼の素直さと、積極的に進んで練習をやった
から今回の記録が出たのだと思います。



S 65 kg, J 80 kg, T 145 kg

75kg級優勝 松永 真典 徳島県徳島市立城東中学3年
身長 170cm 体重 75kg ベスト記録 S70 J84 Sq140 DL145 Mp45
<優勝した感想> 自己採点30点
優勝したのは嬉しいですが、1名参加なのでもっと何人かの人と競い合
いたかった。
<将来の抱負>
高校へ進学し、インターハイ・国体で上位入賞できるよう頑張りたい。
<指導者：近藤先生からの一言>
練習を頑張り、積極的に新記録へ向けチャレンジする考えが良いと思
います。今後もその気持を忘れず強くなってもらいたい。



S 70 kg, J 95 kg, T 165 kg

+75kg級優勝 早川 大鵬 大阪府羽曳野市立河原城中学1年
身長 166cm 体重 84kg ベスト記録 S68 J93 Sq135 DL140 Mp55
<優勝した感想> 自己採点85点
うれしい。
<将来の抱負>
+75kg級の中学新記録を塗り替えたい。
<指導者：橋本先生からの一言>
おおらかで優しい面を持っているが、闘争心も旺盛なところ。

男子最優秀選手
早川 彰彦
大阪府羽曳野市立河原城中学3年

女子最優秀選手
福田 明
京都府京都市立四条中学2年

第5回全国女子中学生優勝者紹介



S 43 kg, J 53 kg, T 96 kg

48kg級優勝 福田 明 京都府京都市立四条中学2年

身長153cm 体重46kg ベスト記録 S40 J50 Sq70 DL70 Mp30

<優勝した感想> 自己採点100点
大変うれしい。

<将来の抱負>

このまま続けられれば続けたい。

<指導者:福田先生からの一言>

中学ではバスケット部に所属。練習の時間がとれないが、今回パーフェクトで自己新記録をとり頑張った。おめでとう。



S 45 kg, J 56 kgCR, T 101 kgCR

53kg級優勝 村田 一菜 京都府舞鶴市立白糸中学3年

身長153cm 体重51kg ベスト記録 S50 J55 Sq72

<優勝した感想> 自己採点40点
うれしいです。でもスナッチ47kgがとれなかつた事が一番嬉しいです。

<将来の抱負>

これからも自分が自分で決めた人生に突き進んでいきたい。

全国一番を目指して頑張りたい。

<指導者:堺谷先生からの一言>

何事に関しても、とても意欲的に取り組んでいて、練習も常に前向きな姿勢で取り組んでいる。本気になった時の集中力が抜群。



S 35 kg, J 47 kg, T 82 kg

58kg級優勝 国子 杏菜 岡山県倉敷市立船穂中学3年

身長153cm 体重55kg ベスト記録 S37 J48 Sq77 DL75 Mp28

<優勝した感想> 自己採点75点
目標にしていた記録より低いが優勝できて嬉しい。

<将来の抱負>

高校でウエイト部に入り、日本一を目指すことです。

<指導者:牧野先生からの一言>

年齢に対しての力は強く、今後この力にテクニックや精神が加わるよう努力し目標をはっきりと持っていること。



S 58 kg, J 77 kg, T 135 kg

+75kg級優勝 野原 智実 兵庫県松陰中学3年

身長167cm 体重79kg ベスト記録 S58 J77 Sq112.5 DL112.5 Mp40

<優勝した感想> 自己採点100点
本当にうれしいです。昨年が不本意な記録だったので6本成功がなによりうれしい。中学3年生の良い思い出になりこれからも頑張ろうと改めて思いました。

<将来の抱負>

もっともっと記録を伸ばして、世界で活躍出来るようなすごい選手になりたいです。

2 海外遠征の諸問題とその対応

ジュニア、シニアを問わず競技選手は、海外での大会、合宿に参加することが多い。日本は世界の中でも極東に位置するために、多くの海外遠征において長時間の航空機での移動を伴う。そのため海外遠征時には、最初に航空機内での過ごし方に気を付ける必要があり、次に現地での時差調整を考えることで最高のパフォーマンスを發揮するための準備を整えることができる。

1 航空機内の環境とその危険性

1) 機内環境を知ろう

競技選手が国際大会や海外での強化合宿を行う際、その移動手段は航空機の利用が一般的である。空路の発達に伴って、世界各地へ移動することが可能になったが、狭い座席に数時間、時には12時間以上の渡航過程を経て目的地へ到着することを再確認しておく必要がある。

さらに、飛行中の機内環境は地上と全く同じではない。国内大手の航空会社によると、飛行中の機内の気圧は、0.8気圧程度になると、これは、1,500m級の山に滞在していることに相当する。機内温度はエアコンにより、24℃前後に保たれているが、機内の湿度は飛行時間が長くなると20%以下にまで低下する。機内の乾燥により乗客の体内の水分が奪われやすい状態が着陸時まで続いている。水分が失われる状態にあると考えられる。その結果、血液粘度¹が高まり、足のむくみやしびれなどの症状を起こすことになる。

2) 原因はエコノミー症候群

ある有名競技選手が航空機内で突然胸の痛みを訴え、到着後に入院するという事態が起つた。後日、原因は肺動脈血栓塞栓症²（通称エコノミー症候群）であったことが分かった。

長時間のフライト中は、脱水による循環血漿量³の低下に加え、同じ姿勢で座り続けることにより、静脈血のうっ滞が起こる。このような脱水による血液粘性の増加と静脈のうっ滞は、フライト時に経験する下肢のむくみやしびれなどを引き起こす。

これらのことから、海外遠征に伴う長時間

のフライト時には、脱水や静脈のうっ滞がコンディションに影響を及ぼしていることが考えられる。特に、競技選手は、一般人に比べて筋量と体水分量が多いことから、わずかな脱水やうっ滞であってもコンディションに大きな影響を及ぼす可能性がある。また、競技選手の場合には、試合やトレーニングの直後に移動を迫られ、試合やトレーニングに伴う脱水が十分に回復しない状態で移動するケースがある。このような状況下では、血栓が形成されやすい可能性もあることから、下肢の症状の管理を含め、長時間移動時のコンディショニングには十分な配慮が必要と考えられる。

3) トップ競技選手の機内でのコンディショニングの実態

2002年アジア大会日本代表選手団を対象とするアンケート調査の結果から、長時間の移動中に不快な症状を感じた経験を持つ競技者は、全体の47.5%を示した（図1）。不快症状を感じた競技者の具体的な症状例は、下腿のむくみが80%を占めた（図2）。また長時間の移動によりコンディションを崩した経験を持つ競技者は、全体の26.8%（141人）を占め、その141人のうち試合への影響があった競技者はうち29.1%（41人）を示した（図3）。このことから国外遠征の長距離移動が選手のコンディションに与える影響、ひいては試合結果に与える影響は少なくないことが明らかにされた。

また、コンディショニングのために機内ではどのようなことを行うか、の設問に対しては図4のようにストレッチング、簡単な体操、マッサージ、柔軟体操、簡単なトレーニングと回答した選手が全体の69.0%（363人）あり、身体的な調整を考えて行動している選手が大半を占めている。機内での水分補給のために摂取する飲料は、ジュース類、水、お茶、コ

1 血液粘度

血液の粘性は血流抵抗の一因子であり、ヘマトクリット、血漿粘度、赤血球変形体などによって変化する。

2 肺動脈血栓塞栓症
長時間（2時間以上）、同じ姿勢で座り続けた場合、血液がスムーズに流れなくなることがある。その結果、静脈血のうっ滞（流れが悪くなること）が生じ血液粘度が上昇し血液が凝固する。凝固した血液が肺動脈に詰まると肺塞栓症になり、息切れ、呼吸困難などの胸痛を伴い、重症になると命にかかわり手術により塞栓を除去しなければならないこともある。飛行機のエコノミークラスの乗客から症状が報告されたことから、エコノミークラス症候群という呼び名がついたが、エコノミークラスだけでなく、ビジネス、ファーストクラス、さらには飛行機だけでなく、長時間の運転、長時間のデスクワーク中にも発症する可能性がある。

3 循環血漿量
体全体の血管内に存在する血漿の量。

図1●長時間の移動中に不快な症状を感じた経験はあるか

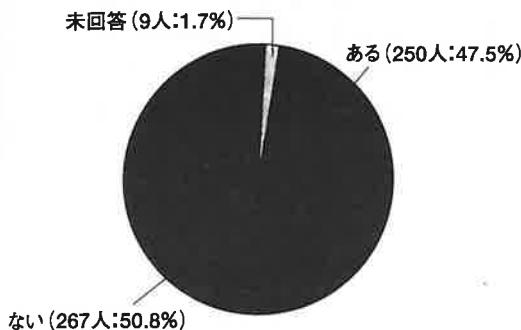
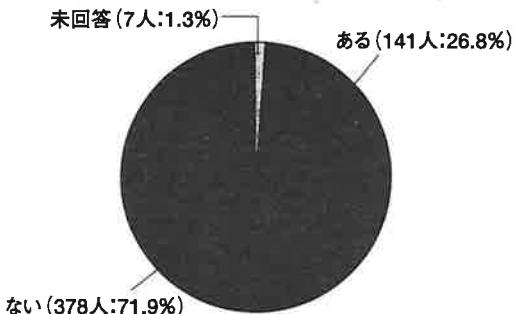
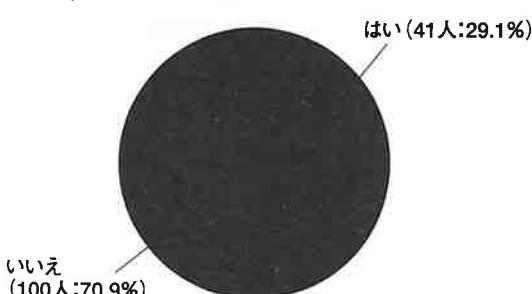


図3●(a)長時間の移動中にコンディションを崩した経験はあるか



(b)それは試合に影響した



コーヒーなどが多く、アルコールと答えた者は、少數であった(図5)。機内でのジュース類は、主に100%濃縮還元の果汁ジュースであることが多く、競技者は好んでそれを摂取するようである。

このほか機内では、コンディショニング維持のために長袖の着用(16.0%)やブランケットの使用(5.9%)などの保温、あるいは楽な服装(4.9%)、スリッパの使用(2.7%)など身体の保温やリラックスを心がけ、実行している者もいた(表1)。冷房がよく効いた機内の自衛措置、狭いシートでのより楽な姿勢保持などの工夫がみられた。

図2●不快症状を訴えた選手の具体的な症状例

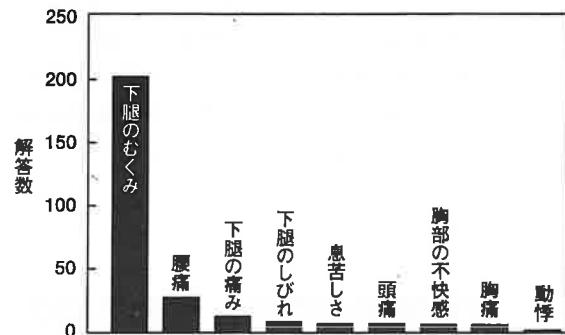


図4●コンディショニングのために機内ではどのようなことを行うか

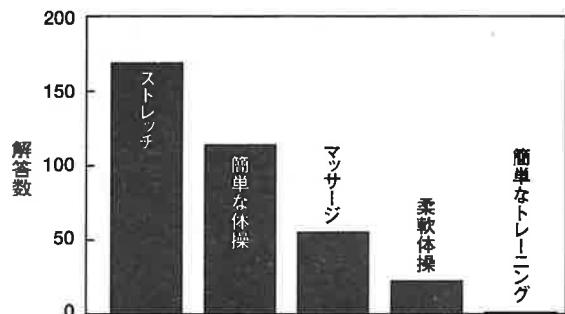


図5●機内ではどんなものを飲むか

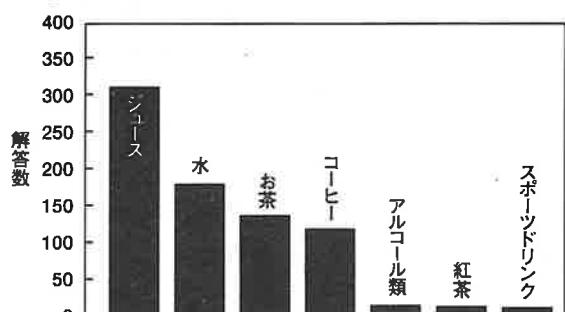


表1●移動中の機内での過ごし方

コンディショニングの維持のために注意していること	回答数	割合 (%)
長袖の着用	84	16.0
クッションの使用	67	12.7
ブランケットの使用	31	5.9
楽な服装	26	4.9
スリッパの使用	14	2.7

4 不感蒸泄
皮膚から拡散によって失われる水分。広義には呼吸気道からの損失も含まれるが汗は含まれない。

5 糖電解質飲料
適度な電解質（ナトリウム等）と糖分が入った飲料。

6 ヘマトクリット値
血液中に占める赤血球の容積パーセント。

7 概日リズム（サーカディアンリズム）
規則的に連続する精神的・生理的な変化で約24～25時間で周期にしている。

2 航空機内の過ごし方

1) 動的対策（脚の筋肉を動かそう）

機内では、脚の筋肉を収縮と弛緩を繰り返し動かす運動をこまめに繰り返す。具体的には、機内の少し離れたトイレに行くなどして歩行の機会を作る。さらに、座席および通路等で脚の曲げ伸ばし、足の指の軽い運動や静的ストレッチを実施することにより、下肢を使う機会を自ら設けることが機内でのコンディショニングに重要である。また、ゆったりした衣服に着替えたり、ベルトをゆるめたり、スリッパの使用などにより、身体のリラックスをはかることも必要である。

2) 水分補給（成分にも注意が必要）

乾燥した機内では、不感蒸泄⁴により体内の水分が失われやすい状態が着陸時まで継続する。また、フライト中に利尿効果のあるアルコール類やカフェインを含むコーヒーなどを摂取すると、体水分の喪失は増大し、より脱水しやすい状態を助長しやすくなる。脱水により循環血漿量が低下すると、血液粘性は増加することが知られている。

土井らは、機内環境と類似した乾燥環境下で、4時間の座位安静を保った時の血漿量及び血液粘性の変化を、水分を補給しなかった場合と、水及び糖電解質飲料⁵を摂取した場合で比較した。その結果、水分を補給しなかった場合には、ヘマトクリット値⁶及び血液粘性は座位安静開始後に漸増し、4時間後にはそれぞれ約3%、約10%増加したことを報告している。さらに、浜田らの研究においても航空機に長時間搭乗する旅客への水分補給には、血液粘度上昇防止、血栓予防において、糖電解質飲料の摂取が単なる水よりも優れていることが報告されている。9時間の飛行において、同一容量の糖電解質飲料及び水をそれぞれ摂取する群で離陸前後の体重、血漿量、飲料体内貯留率、及び血液粘度などを比較した結果、糖電解質飲料を摂取した群において、体内の水分バランスが有意に高く、血漿量も有意に増加していたことが報告されている。また、

搭乗前後の下腿周径の変化は、糖電解質飲料摂取群において有意に小さく、腕及び足の血液粘度もまた糖電解質飲料摂取群は低値を示したことが報告されている。

これらのことから、トップレベル競技者の海外遠征に伴う長時間移動時には、ジュース類、水、お茶、コーヒーの摂取よりは、糖電解質飲料を選択することが望ましいと考えられる。ただし、減量を伴う体重階級制種目や体重維持が必要な種目においては、過剰な糖電解質飲料の摂取が摂取カロリーの増加につながる恐れもあることから種目特性を考慮する必要もある。

3) かぜ(上気道感染症)予防

競技者がコンディションを崩す要因の一つに上気道感染症（いわゆるかぜ）が挙げられる。日本のオリンピック選手団の報告によれば、3週間のオリンピック大会期間中に医務室を訪れた選手は全体の4割に及び、その受診理由の多数が上気道感染症を含む感染症であった。また、一流の競技者が行っている高強度のトレーニングの継続やマラソンなどの一過性の高強度運動は、上気道感染症の発症と何らかの関係があると考えられている。このように一般人よりも一流の競技者は上気道感染症（かぜ）にかかりやすいことを理解し予防する工夫が必要である。

鼻腔や咽頭の乾燥により粘膜機能が低下し、感染症が誘因される。そこで、機内でのマスクの使用、長袖の着用を心掛けることが望ましい。

3 概日リズム⁷ (サーカディアンリズム)の乱れ

1) 概日リズム(サーカディアンリズム)と移動

長時間の移動時には、概日リズム(サーカディアンリズム)の乱れ(通称 時差ボケ)が生じる。東行き(日本からアメリカ方面)のフライトでは、同じ時間で西方フライト(日本からヨーロッパ方面)した時に比べて時差ボケが大きいことが知られている。ヨーロッパへは西行

きのフライトのため現地時間にやや同調しやすく、比較的時差ボケは少ないと考えられる。しかし、現地時間との同調がうまく行かないとき、入眠困難、睡眠障害、集中困難、目の疲れ、気分の高揚や憂うつ、心身疲労、食欲減退などがおこるため、競技者のパフォーマンスへの影響が考えられる。

表2●日本を出発する前の食事と睡眠の実態

	回答数	割合 (%)
1. 出発前日の夕食		
時差に合わせて内容を調整	40	7.6
時差に合わせて時間を調整	31	5.9
特に気にしない	454	86.3
2. 出発前日の睡眠時間		
機内で眠るためにほとんど寝ない	38	7.2
現地時間に合わせて眠る	97	18.4
特に気にしない	389	74.0
3. 出発当日の朝食		
時差に合わせて内容を調整	39	7.4
時差に合わせて時間を調整	59	11.2
特に気にしない	421	80.0

2) トップ競技選手の移動前日の食事と睡眠

トップ競技選手の国外遠征の移動前日の夕食について調べたところ、時差にあわせた内容の調整や時間の調整を行っている選手は少なく(全体の13.5%)、特に気にしないと回答した選手が全体の86.3%を示した(表2)。移動前の睡眠時間、移動当日の食事についても特に気にしないと回答した選手が、それだけ全体の74.0%と80.0%であった。

3) 時差ボケ対策

一般的には、概日リズムを同調させるために到着した現地で軽い運動を取り入れると時差の同調が促されることが分かっている。日本で生活するときの平時の入眠タイミングでまず睡眠をとるようにする。そして、現地に着いたら軽い運動で身体を調整しつつ、屋外スポーツ競技などでは屋外光の下での軽い運動により、概日リズムの同調が促進される。ただし、現地の夜間に体育館などの室内で強い光を浴びると入眠のタイミングがまた変化するので注意が必要である。これまでのところ、概日リズムによる睡眠障害に対する調整法について確立されているとは言えないが、現地に着いた当日の入眠のタイミングをきちんと設定し、スムーズに熟睡できるように計

らうことが肝要である。

スポーツ競技選手は、種目特性に応じてこれらの一般的な方法と違う対処方法を用いることもある。そこで、冬季種目(記録系)と夏季種目(格闘技系)において、トップコーチが実際に行っている事例を紹介する。

冬季種目の事例

シーズン中の海外遠征経験が豊富な冬季種目が実施している時差調整方法について、ノルディック複合全日本コーチの河野孝典氏、日本スケート連盟常任強化コーチの結城匡啓氏のナレッジ(知識)を紹介する。

① 現地到着後、5日間は昼寝をしない(ホルモンのバランス調整等のため)。

そのために選手に対しては昼間の散歩、街でのショッピングを半強制的に実施している。5日間の根拠として、時差ボケは1時間30分/日で解消されていくことを調べた。

(スケート・結城)

② スケートの世界では、メラトニン⁸(睡眠誘発剤)を当り前のように使用している。

(スケート・結城)

③ 寝ている間にトイレ(小)に行かなくなったら時差ボケが解消しつつある。

(スケート・結城)

④ 選手の便通状態を参考にして時差ボケが解消されているかを確認する。

(スケート・結城)

⑤ 大会のための遠征は、約10日前に開催地近郊に入り時差調整等を行う。実際に開催地入りするのは、公式練習ができる3日前である。(ノルディック複合・河野)

⑥ 日本から東(アメリカ)へ移動する時と、西(ヨーロッパ)へ移動する時では時差ボケの対処方法が違う(ヨーロッパから日本へ帰国する時は、東へ移動することになる)。東へ移動する時が時差ボケに成りやすいので、夜早く寝て、朝はゆっくり起きると良い。(ノルディック複合・河野)

⑦ コンバインドのフィンランド遠征時に、選手のヘモグロビン値の検査をしたところ現地入り直後には極端に高い値を示し(血中の水分の減少に伴う血液粘度の増加によ

8 メラトニン
(睡眠誘発剤)
松果体より分泌されるホルモン。

る)、その後回復していくことが分かった。

(ノルディック複合・河野)

冬季種目は海外遠征が長期間に渡るため、移動時のコンディショニングにも慣れている。また、暗黙知(人間ひとりひとりの体験に基づく個人的な知識)の蓄積がしっかりしている。これらの点を考えると、冬季種目のナレッジ(知識)を夏季種目などその他の競技に活かしていくことが日本代表チームや選手たちの強化へと繋がり、選手もコンディショニングを良好に保つことができるようになる。



写真提供=共同通信社

夏季種目事例

オリンピックで金メダル22個を獲得したレスリング競技では、強豪国アメリカへの遠征も多い。到着後から時差調整について、全日本フリースタイルヘッドコーチの佐藤満氏のナレッジを紹介する。

① アメリカ遠征の場合は、現地到着が夕方になることが多い。そこで、宿舎に入り約1時間の休憩後にレスリング場において、60分前後激しく身体を動かす。その後、クールダウンを行い、最後にサウナを使ってリラックスさせる方法を実施している。到着後に息を上げる運動を実施し交感神経を優位にさせることで、その後にゆっくりと休むことができる。

② 大会の5日前に現地に入り時差調整とウエイトコントロールを行う。競技の特性上ウエイトコントロールがあるため、どの大会においても同じ日程を取ることが多い。それぞれ競技を経験してきた一流コーチのナレッジは他の競技のコーチにも参考になると思われる。また、これら以外の他種目のコ

ーチにもそれぞれの方法があると考えられるので、競技間の連携を深めナレッジの蓄積を実施して行くことが望ましい。

まとめ

1.機内での対策

- 楽に動ける服装やサンダル等を履きリラックスを心掛ける。
- カゼの予防面から薄着をせず、場合によってはマスクも着用する。
- できる限り機内を動き周り、下肢を動かすよう心掛ける。
- 下肢を中心としたストレッチを頻繁に行う。
- 水分補給を心掛ける。ただし飲料の成分にも注意し利尿作用のあるコーヒー、お茶、アルコール類は避け、糖電解質飲料を摂ることが望ましい。

2.時差対策

- 前日から時差を意識した食事、睡眠を心掛ける。
- 機内においても現地の時差に合わせた食事、睡眠を心掛ける。
- 現地に着いたら軽い運動で身体を調整する。
- 屋外スポーツ競技などでは屋外光の下での軽い運動を実施する。
- 東行き(日本からアメリカ方面)のフライトでは、同じ時間で西方フライト(日本からヨーロッパ方面)した時に比べて時差ボケが大きい。



写真提供=共同通信社

【参考文献】

- 1) 久木留毅：日本代表選手の国外遠征とそのコンディショニングの実態.日本臨床医学会誌13, No.1:31-40

《 2006年（前期）公認記録表》

第 3 回東日本学生新人戦選手権大会	5 3
第 3 回全日本学生選抜選手権大会	5 3
第 5 2回全日本学生個人選手権大会	5 4
第 1 8回全日本女子学生選手権大会	5 5
2006 フレンドシップ大会	5 6
第 3 2回世界ジュニア選手権大会	5 7
第 1 2回世界ジュニア女子選手権大会	5 9
第 4 6回西日本学生選手権大会	6 0
第 6 回西日本学生女子選手権大会	6 2
第 6 6回全日本選手権大会	6 2
第 2 0回全日本女子選手権大会	6 3
第 9 回世界学生選手権大会	6 4
第 3 0回東日本学生個人選手権大会	6 6
第 8 回全国高等学校女子選手権大会	6 7
第 2 4回全日本マスターズ選手権大会	6 9
第 1 9回アジアジュニア選手権大会	7 0
第 1 1回アジアジュニア女子選手権大会	7 1
第 5 3回全国高等学校選手権大会	7 2
第 2 0回全国男子中学生選手権大会	7 6
第 5 回全国男子中学生選手権大会	7 6

第3回日本学生新人選手権大会

●平成18年4月22日 ●織子スポーツセンター(横浜市)

第3回全日本学生選手権大会

●平成18年4月23日 ●織子スポーツセンター(横浜市)

順位		姓 氏名		大学名		生 年		学 年		体 重		ス ッ チ		グ リーン&ショート		ベ スト		トータル	
												1		2		3		S	
1	長谷川直也	中央大学	87	1	54.82	87	89	90	106	112	122	87	2	112	117	123	1	199	
2	小山内伸明	明治大学	87	1	55.76	90	93	95	100	104	106	93	1	106	4	199			
3	坪井一樹	早稲田大学	86	2	55.36	80	83	83	105	108	112	83	4	108	2	191			
4	守崎 麻智	平成国際大学	87	1	55.50	80	83	83	105	108	105	83	5	108	3	191			
5	菅野太紅輝	拓殖大学	87	1	54.12	80	83	85	100	105	105	83	3	105	6	188			
6	村上 智	法政大学	87	1	55.68	80	83	83	105	109	108	80	7	105	6	185			
7	小高 正人	早稲田大学	86	2	55.16	78	81	83	95	100	103	81	6	103	7	184			
8	松下 大祐	東西大学	87	1	55.38	78	78	78	100	107	107	78	9	100	8	178			
9	高橋 韶兵	明治大学	87	1	54.92	77	77	82	93	93	101	77	9	93	9	170			

62Kg級

順位		姓 氏名		大学名		生 年		学 年		体 重		ス ッ チ		グ リーン&ショート		ベ スト		トータル	
												1		2		3		S	
1	中川 和郎	日本大学	87	1	61.30	90	95	96	117	117	123	95	1	123	1	218			
2	山崎 彰慈	拓殖大学	87	2	61.92	85	88	88	110	110	110	85	2	80	2	140			
3	高橋 彰也	国土総大	87	2	—											—			

69Kg級

順位		姓 氏名		大学名		生 年		学 年		体 重		ス ッ チ		グ リーン&ショート		ベ スト		トータル	
												1		2		3		S	
1	浜田 賢二	中央大学	86	2	65.88	102	101	101	123	126	128	102	1	128	1	230			
2	浜田 優介	東洋大	87	1	66.78	98	101	101	120	125	128	101	3	128	2	229			
3	相木 哲久	法政大学	87	1	67.88	90	95	100	120	122	127	100	6	127	3	227			
4	杉本 哲也	中央大学	88	1	66.00	100	102	100	104	119	119	110	2	119	5	221			
5	大塚 伸也	早稲田大学	87	1	67.36	100	100	104	115	120	126	100	4	120	4	220			
6	与島 浩介	明治大学	87	1	67.84	95	100	104	105	110	115	100	5	110	7	210			
7	中村 翔吾	立教大学	88	1	66.54	80	85	85	105	110	115	105	7	110	6	190			
8	高橋 亮司	拓殖大学	86	2	68.38	90	—	—	—	—	—	—	—			—			
9	中村 真士	東京大	87	1	76.12	85	90	90	110	113	115	90	8	113	7	203			

77Kg級

順位		姓 氏名		大学名		生 年		学 年		体 重		ス ッ チ		グ リーン&ショート		ベ スト		トータル	
												1		2		3		S	
1	木村 翔也	中央大学	86	2	73.06	115	120	120	120	120	120	140	×	146	1	266			
2	木村 聰人	日本大学	86	2	75.64	105	110	113	127	132	136	113	3	127	2	240			
3	角田 雄志	國士館大	87	1	75.72	95	100	103	120	125	125	100	5	125	4	225			
4	岩城 圭太	中央大學	88	1	73.26	98	100	100	120	123	125	100	4	123	5	223			
5	加藤 康永	平成国際大学	87	1	69.36	95	100	100	120	125	128	95	6	125	3	220			
6	庵原 潤	早稲田大学	87	2	74.70	90	95	95	105	110	115	118	6	118	6	213			
7	北嶋 正也	明治大学	87	1	76.70	115	115	121	121	125	130	150	×	150	2	203			
8	谷崎 正尚	明治大学	87	1	76.70	115	115	121	121	125	130	150	×	150	2	203			

85Kg級

順位		姓 氏名		大学名		生 年		学 年		体 重		ス ッ チ		グ リーン&ショート		ベ スト		トータル	
												1		2		3		S	
1	田中 勇人	日本大学	87	1	77.48	115	120	120	120	120	120	145	×	153	1	265			
2	中島 伸介	法政大学	87	1	83.36	105	110	115	136	141	143	115	4	141	1	256			
3	土谷 光	早稲田大	87	1	77.02	105	110	115	135	140	145	115	2	140	3	255			
4	佐藤 智則	明治大学	86	2	78.24	108	112	116	130	135	140	116	1	135	4	251			
5	片平 勝介	東西大学	87	1	84.20	103	108	110	128	133	133	110	5	133	5	243			
6	川添 寛一	國士館大	86	2	77.74	90	95	95	120	125	125	125	6	120	6	215			

94Kg級

順位		姓 氏名		大学名		生 年		学 年		体 重		ス ッ チ		グ リーン&ショート		ベ スト		トータル	
												1		2		3</th			

【女子】

48Kg級									
順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	1	ス	ナ	チ
53Kg級									
1	久保田佳乃	日本体育大学	84 4	46.76	54	58	60	74	77
2	前田映子	早稲田大学	87 1	43.80	58	61	61	70	73
	角田 祥子	立命館大学	85 3	47.96	63	67	70	CS	88
58Kg級									
1	三宅 宏実	法政大学	85 3	48.58	73	73	76	100	105
2	平澤佐代子	日本体育大学	85 3	50.96	55	58	58	70	75
	山口 韶子	日本体育大学	86 2	57.28	74	74	77	CR	93
	守 紗穂子	日本体育大学	87 1	55.78	70	75	78	CS	85
62Kg級									
1	松本 菊愛	早稲田大学	86 3	57.62	75	75	80	CR	82
2	山口 韶子	明治大学	85 3	57.02	76	78	78	CR	95
3	守 紗穂子	日本体育大学	86 2	57.28	74	74	77	CR	96
4	谷口 亜純	立命館大学	87 1	55.78	70	75	78	CS	90
63Kg級									
1	長崎 葵菜	立命館大学	84 4	60.56	69	72	74	CS	92
69Kg級									
1	中川 鶴子	早稲田大学	84 4	64.16	73	77	77	93	97
75Kg級									
1	菊田 桃子	早稲田大学	85 3	72.36	80	85	88	CS	98
2	玉村 亦生	日本体育大学	87 2	74.96	70	72	74	90	93

優秀選手 男子：62Kg級 中村 友生（九州国際大学）
 女子：53Kg級 三宅 宏実（法政大学）
 最優秀選手 53Kg級 三宅 宏実（法政大学）

69Kg級									
順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	1	ス	ナ	チ
1	鈴木 鶴子	早稲田大学	85 3	72.36	80	85	88	CS	98
2	玉村 亦生	日本体育大学	87 2	74.96	70	72	74	90	93
75Kg級									
1	菊田 桃子	早稲田大学	85 3	72.36	80	85	88	CS	98
2	玉村 亦生	日本体育大学	87 2	74.96	70	72	74	90	93

第52回全日本学生個人選手権大会

● 平成18年5月12日 [56kg級]・13日 [62kg級～85kg級]・14日 [84kg級～+105kg級]

● 羽曳野コロセアム(羽曳野市)

◎

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	1	ス	ナ	チ	クリーン＆ジャイアント	ベスト
56Kg級											
1	久保田佳乃	日本体育大学	84 4	46.76	54	58	60	74	77	71	137
2	前田映子	早稲田大学	87 1	43.80	58	61	61	70	73	72	131
	角田 祥子	立命館大学	85 3	47.96	63	67	70	CS	88	70	—
58Kg級											
1	三宅 宏実	法政大学	85 3	48.58	73	73	76	100	105	1	181
2	平澤佐代子	日本体育大学	85 3	50.96	55	58	58	70	75	2	133
	山口 韶子	日本体育大学	86 2	57.28	74	74	77	CR	93	88	—
	守 紗穂子	日本体育大学	87 1	55.78	70	75	78	CS	85	95	—
62Kg級											
1	古澤 遼	大阪府立大学	84 4	61.36	105	95	99	101	120	126	130
2	大河内祐介	立命館大学	85 3	61.72	95	99	101	120	126	131	130
3	岡本 梢	明治大学	86 3	61.18	103	106	106	125	125	125	125
4	外川 研輔	日本体育大学	84 4	60.44	100	100	105	115	120	125	125
5	園根 直	平成国際大学	87 2	61.54	95	95	98	125	133	133	130
6	西郷 謙美	國士館大学	85 3	61.66	93	98	100	128	133	133	126
7	内藤 隆	法政大学	86 2	60.84	90	95	95	126	130	133	130
8	江本 麗仲	中央大学	88 1	60.34	90	95	100	115	115	121	115
9	五百萬正和	大阪商業大学	85 3	61.66	105	108	110	130	130	108	108
10	水野 寛志	早稲田大学	85 4	61.94	100	100	100	120	125	125	125
69Kg級											
1	横山 雄一	九州国際大学	85 4	68.54	112	116	120	145	147	150	147
2	山崎 龍司	明治大学	84 4	67.34	113	116	118	143	143	145	145
3	佐藤 智幸	中央大学	84 3	68.28	105	109	111	145	145	151	145
4	田中幸太郎	明治大学	84 4	68.52	107	111	114	135	141	141	141
5	竹澤 正則	平成国際大学	85 4	68.58	105	110	110	135	140	147	147
6	渡沢 衍太	中央大学	84 4	68.80	110	110	114	138	141	142	142
7	佐藤 雄士	中央大学	86 3	67.70	114	117	117	135	135	137	137
8	武市 榮	關西大学	87 1	67.16	105	110	113	130	135	135	134
9	福住 昌也	関西大学	86 3	67.64	103	107	111	128	134	137	137
10	吉本 美智	大阪商業大学	84 4	64.82	105	110	113	125	130	135	135
75Kg級											
1	中嶋 純人	平成国際大学	85 4	75.52	116	121	126	145	147	150	150
2	山崎 彰	法政大学	84 4	77.84	120	124	124	152	157	157	157
3	山崎 良希	金沢学院大学	87 2	84.80	120	123	123	145	145	149	149
4	岡波 佳宜	九州国際大学	85 3	83.10	110	115	120	142	145	150	150
5	辻 伸	平成国際大学	84 4	84.82	115	115	115	150	154	154	154
6	渡邊 雄治	日本体育大学	84 4	78.50	113	118	123	143	147	147	147
7	守谷 駿	関西大学	85 3	78.02	110	115	120	145	153	153	153
8	米山 圭一	早稲田大学	87 2	82.88	110	110	114	145	145	115	115
9	仲里 順志	京都産業大学	85 3	83.32	110	115	120	140	145	145	145
85Kg級											
1	中嶋 卓也	中央大学	85 3	82.84	122	125	127	152	156	157	156
2	石原 寛朗	法政大学	84 4	77.84	120	124	124	152	157	157	157
3	山崎 良希	金沢学院大学	87 2	84.80	120	123	123	145	145	149	149
4	岡波 佳宜	九州国際大学	85 3	83.10	110	115	120	142	145	150	150
5	辻 伸	平成国際大学	84 4	84.82	115	115	115	150	154	154	154
6	渡邊 雄治	日本体育大学	84 4	78.50	113	118	123	143	147	147	147
7	守谷 駿	関西大学	85 3	78.02	110	115	120	145	153	153	153
8	米山 圭一	早稲田大学	87 2	82.88	110	110	114	145	145	115	115
9	仲里 順志	京都産業大学	85 3	83.32	110	115	120	140	145	145	145

94kg級

第18回全日本女子学生選手権大会

●平成18年5月13日 ●羽曳野コロセアム(羽曳野市)

順位	氏名	大学名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベストトータル			
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	トータル	
1	木多 淳	法政大学	85.3	91.92	125	130	135	161	185	170	135	170	1	305
2	津井 真裕	明治大学	85.4	93.94	130	135	137	165	170	171	135	165	2	300
3	高橋 一馬	九州国際大学	86.2	90.50	126	130	135	155	160	162	130	135	6	285
4	桜庭 和己	明治大学	84.4	93.34	115	120	120	160	160	160	120	120	5	280
5	石山 浩之	中央大学	86.3	93.02	112	112	112	153	156	160	112	112	4	272
6	里 直樹	九州国際大学	86.2	92.98	115	115	115	150	155	160	115	115	7	270
7	塙田 智志	中央大学	86.2	88.58	121	121	125	145	150	145	121	121	4	266
8	中島 啓介	明治大学	87.1	93.00	110	110	115	140	140	140	110	110	8	250
9	高橋 雅太	九州国際大学	85.4	87.08	130	130	130	161	185	—	161	161	3	—
小保 一輝	九州国際大学	87.1	93.76	116	116	116	150	150	150	—	—	—	—	—

順位	氏名	大学名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベストトータル			
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	トータル	
1	木多 淳	法政大学	84.4	94.56	135	140	145	175	180	190	145	190	1	335
2	BEIN OVERKAMP	関西大学	82.2	98.42	140	145	150	175	180	181	150	175	2	325
3	瀬口 和真	福岡大学	85.3	101.94	125	130	135	160	165	170	130	130	3	295
4	伊藤 勝太	大阪商業大学	84.4	103.06	130	135	135	155	160	160	130	130	4	287
5	福端 佑那	九州国際大学	86.1	102.40	124	130	130	155	163	172	128	128	8	287
6	海老澤 完	中央大学	85.3	103.62	125	125	128	158	158	161	125	125	7	287
7	瀬戸 貴史	九州国際大学	84.4	100.66	125	125	125	160	165	165	125	125	6	285
8	浦川 正也	九州国際大学	85.4	103.52	122	127	128	152	152	153	128	128	5	281
9	小林 弘幸	中央大学	87.2	103.14	120	123	123	155	159	161	120	120	8	279
10	中井 健樹	大阪商業大学	85.3	102.24	120	125	125	155	160	165	120	120	9	275
11	山内 薫	早稲田大学	87.1	100.58	110	115	120	150	150	153	115	115	11	265

+105kg級

順位	氏名	大学名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベストトータル			
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	トータル	
1	野原 鑑太	法政大学	84.4	131.95	130	135	140	180	190	193	140	140	1	333
2	寺島 啓史	日本大学	86.3	116.26	132	137	142	166	170	171	137	137	2	308
3	向江謙太郎	九州国際大学	86.3	125.45	130	133	137	163	171	176	133	133	3	304
4	小松 翔	金沢学院大学	86.2	111.54	120	125	130	160	170	170	130	130	4	300
5	宮地 宏行	九州国際大学	85.3	113.80	126	126	130	155	160	160	130	130	5	290
6	猪野 格樹	京都産業大学	85.4	126.30	115	120	123	155	160	163	123	123	6	286
7	鶴野 宅矢	九州国際大学	84.4	114.34	120	125	125	155	160	165	120	120	7	285
8	浦田 章弘	大阪商業大学	87.2	122.05	118	123	123	160	165	167	118	118	8	278
佐藤 友紀	法政大学	87.2	115.06	120	120	120	—	—	—	—	—	—	—	—

+105kg級

順位	氏名	大学名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベストトータル			
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	トータル	
1	平嶋 大輔	立命館大学	85.4	66.62	70	74	77	90	95	101	77	77	1	172
2	横堀 理	法政大学	85.4	66.62	70	74	77	90	95	101	77	77	1	172

最優秀選手 105kg級 水田 理 (法政大学)

最優秀選手 48kg級 中部 有理 (金沢学院大学)

最優秀選手 48kg級 佐藤 友紀 (法政大学)

最優秀選手 48kg級 佐藤 友紀 (法政大学)

2006年インターナショナルフレンドシップトーナメント

●平成18年5月21日[男子56kg級～女子65kg級・女子69kg級～+75kg級]

●韓国 須州

【男子】

56kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	LEE Jong-Hun	KOR	86	55.94	120	126 ×	126 ×	147	152 ×	287
2	才田 吉弘	JPN	86	55.90	98	102 ×	102 ×	120	124 ×	222

62kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	MAO Jiao	CHN	85	62.00	125	130	133	160	168 ×	298
2	TAO Jin	CHN	88	58.54	120	125 ×	125	150 ×	156 ×	281
3	SEO Ho-Chul	KOR	86	61.85	115	120 ×	120 ×	147	153 ×	262
4	黒江 達治	JPN	88	60.40	100 ×	100	105	130	135 ×	240

69kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	KIM Sung-Bae	KOR	86	68.70	130	135	137 ×	167	172 ×	307
2	XU Xiang	CHN	87	63.15	110	130 ×	130 ×	145	153 ×	263
3	三谷 洋平	JPN	87	68.35	100	105	108	130	135 ×	248

77kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	LEE Jung-Jae	KOR	81	76.65	150	155	157 ×	190	194 CR	354 CR
2	DING Chengli	CHN	87	76.85	135 ×	135	146 ×	160	170 ×	305
3	仲程 忠史	JPN	84	76.10	115	120	128 ×	150	155 ×	275

85kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	HER Jin	KOR	79	84.25	150	155	158 CR	190	195 ×	348
2	HE Shizheng	CHN	87	80.25	145	150 ×	150	170 ×	170 ×	320
3	田中 栄人	JPN	85	84.30	125	130 ×	130	165	175 ×	300

94kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	LEE Unq-Jo	KOR	80	93.70	155	160	163	195	200 ×	366
2	小笠原伸吾	JPN	84	89.30	140	145 ×	145	170	173 ×	310

105kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	HYUN Yong-Chul	KOR	79	103.75	163	168 ×	168	205	212 ×	368
2	三木 大輔	JPN	85	103.00	135 ×	135	140 ×	165 ×	170 ×	305
3	MA Chao	CHN	89	94.05	120	125	130	150	155 ×	300

+105kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	AN Yang-Kwan	KOR	82	134.35	185	190	195	220	225 ×	420
2	葛葉 勝博	JPN	85	133.30	147	152	158	175	185 ×	333

【女子】

48kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	PENG Chunni	CHN	84	47.86	80 ×	80	90	95	105 ×	185
2	大城 みさき	JPN	85	47.84	74	77	80	86	91	173

53kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	1	ス ナ ッ チ	2	3	クリーン&ジャーブ	トータル
1	PARK Eun-Jin	KOR	85	52.86	82	84	86	103	106 ×	192
2	CHOI Yu-Jung	KOR	84	52.78	80 ×	80	82	103	106 ×	186
3	角田 祥子	JPN	85	48.34	68	72	75	88	91	169

第32回世界ジュニア選手権大会

●平成18年5月28日[56Kg級]-29日[62Kg級]-30日[68Kg級]-31日[77Kg級]-6月1日[85Kg級]-2日[94Kg級]-3日[105Kg級]

●中国 杭州

77Kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	1	2	3	S	C&J	1	
1	SU Dajin	CHN	86	76.75	153	157	158	185	188	192	157	2	192	1	349				
2	CHARNIAK Mikalai	BLR	86	76.69	150	153	157	182	187	191	157	1	191	2	348				
3	YUFKIN Alexey	RUS	86	76.86	145	145	150	180	186	190	145	5	190	4	335				
4	FISAL Maimoud	EGY	86	76.52	140	142	144	186	190	190	144	6	190	3	334				
5	BARDIS Giovanni	FRA	87	76.95	146	151	151	188	191	191	146	4	176	6	322				
6	CASADO Jose	ESP	86	76.54	146	151	151	170	—	—	—	—							
7	KASTSIAN Vasili	BLR	86	76.72	140	145	145	170	x	170	175	8	175	7	315				
8	KOMAREVSKI Vladislav	BUL	86	76.76	135	135	140	168	x	170	140	9	170	9	310				
9	OCANDO Jose	VEN	86	76.90	130	130	137	180	x	186	187	x	130	15	180	5	310		
10	ALMULAD Mustafa	KSA	89	76.63	130	135	135	163	x	168	170	x	130	13	168	10	288		
11	ASHYRBAEV Zamirbek	KGZ	86	75.94	130	135	137	165	x	165	165	x	137	10	180	14	297		
12	BURCEA Tudor	ROM	87	76.68	137	142	142	155	x	160	160	x	142	7	155	15	297		
13	GRABIWODA Jaroslaw	POL	86	76.74	130	135	137	160	x	160	165	x	130	14	165	11	295		
14	RUSU Razvan	ROM	88	75.77	126	131	131	155	x	161	164	x	131	11	161	12	292		
15	KLIS Roman	POL	88	71.94	125	130	130	155	x	160	160	x	130	12	160	13	280		
16	杉 久志	JPN	86	76.97	115	115	120	150	x	155	155	x	120	15	155	16	275		
17	MARICCHIO Thomas	ITA	89	76.61	110	110	110	115	x	140	145	x	115	17	140	17	250		

85Kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	1	2	3	S	C&J	1	
1	HU Ting	CHN	87	61.57	127	130	134	153	157	161	x	134	1	157	4	291			
2	PETROSYAN Sergey	RUS	88	61.48	120	125	128	150	157	160	1	128	4	160	1	288			
3	TRIVATINO	INA	86	61.55	125	129	132	154	159	162	x	129	3	159	3	288			
4	ALSADAH Hassan	KSA	86	61.39	120	120	127	155	159	161	x	127	5	159	2	286			
5	TRASHA Gert	ALB	88	61.54	126	130	133	152	155	155	x	133	2	152	8	285			
6	ALPANOV Rustan	UZB	87	61.70	121	121	125	155	157	157	125	10	157	5	282				
7	IBRAHIM Mohamed	EGY	87	61.71	120	126	130	153	153	157	126	6	153	6	279				
8	SANDRU Ionel	ROM	86	61.80	120	124	126	145	148	153	126	7	153	7	279				
9	BEHROUZI Sajad	IRI	89	61.23	120	125	125	145	150	150	125	8	145	12	270				
10	CHEN Olga	RUS	88	61.63	125	129	129	140	145	150	125	9	145	13	270				
11	SIRGHII Oleg	MDA	87	60.19	106	110	114	146	151	155	114	151	9	265					
12	CATALAN Hugo	ARG	86	61.75	119	123	125	145	152	152	119	111	145	14	264				
13	IVANOV Svetlin	BUL	87	61.11	111	116	119	140	145	148	116	13	145	11	261				
14	LEE Chang-Ho	KOR	87	61.64	112	118	118	148	154	155	112	15	148	10	260				
15	MIRZOYAN Arayik	ARM	87	61.80	118	118	126	140	150	150	118	12	140	18	258				
16	PAN Chien-Hung	TPE	88	61.64	110	115	115	140	145	145	110	18	140	17	250				
17	ANGELOV Momchil	BUL	88	61.37	102	106	110	138	142	142	106	19	142	5	248				
18	ADAMS Aaron B.	USA	88	61.14	105	110	110	140	145	145	105	20	140	16	245				
19	中村 友生	JPN	87	61.70	108	112	112	128	133	137	112	16	133	19	245				
20	JOHNSON Phillip Jake	USA	88	61.56	106	110	114	132	137	137	110	17	132	20	242				
21	ZHONG Guoshun	CHN	87	68.85	142	145	146	166	170	175	146	1	170	3	316				
22	QERIMA Erkand	ALB	88	68.87	136	141	141	170	175	180	136	4	175	1	311				
23	RAKHTAVI Kuanysh	KAZ	87	68.16	135	132	134	167	172	175	134	5	172	2	306				
24	FLORES Ricardo	ECU	87	68.14	130	132	134	167	172	175	134	5	172	2	304				
25	LAZARIDIOS Vladiimros	GRC	87	68.77	131	136	139	163	168	168	128	9	166	5	294				
26	ROSU Alexandru	ROM	87	68.83	128	128	133	160	166	166	128	7	163	7	291				
27	RUIZ Juan	COL	86	68.59	128	132	132	155	161	163	128	7	163	7	291				
28	ELSHAMMA Abbas	EGY	86	68.70	128	130	162	165	165	165	128	8	162	8	290				
29	LUNA-Grenier Francis	CAN	87	68.87	118	122	123	155	159	162	123	13	159	10	282				
30	WU Tsung-Ling	TPE	88	68.24	120	125	128	150	155	162	128	6	150	12	278				
31	SU Fang-Pin	TPE	88	68.55	112	117	120	150	155	160	117	15	160	9	277				
32	WILSON Joel	AUS	86	68.75	122	127	131	145	150	155	127	10	150	15	277				
33	KHALMATOV Takhir	KAZ	89	68.45	115	120	123	145	157	162	115	16	157	11	272				
34	MARCO Joan	KOR	86	68.70	110	117	119	150	155	155	119	14	150	14	270				
35	KIM Tae-Hyun	ITA	87	65.64	105	110	115	135	140	145	115	16	145	16	269				
36	GREGO Emanuele	GBR	87	68.25	95	100	105	120	125	130	100	18	125	18	250				
37	STIVRINS Tony																		
38	1 MERKUSHOV Igor	RUS	87	103.54	167	171	173	201	208	208	171	2	208	1	379				
39	2 ISTOMIN Sergey	KAZ	86	96.32	167	171	175	205	200	200	171	1	200	4	371				
40	3 RUSYANOVS Roman	KAZ	89	97.32	155	155	155	162	162	162	155	18	162	2	369				
41	4 TOROKHTY Olkisay	UKR	86	103.76	157	162	162	190	190	190	163	18	163	3	369				
42	5 MOHAMED Abdellahman	EGY	89	104.20	152	156	156	180	180	180	153	18	180	5	352				
43	6 ORSAG Jiří	CZE	89	104.36	140	145	145	175	175	175	170	17	170	13	295				

+105Kg級

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーナーク			ベスト	最終得点
					1	2	3	1	2	3		
1	ALHOSSINI Saeid	IRI	88	127.04	175	180 ×	181	211	215	—	181 / 2	215 / 2
2	SHYMECHKO Ihor	UKR	86	121.24	178	182	186	205	209	213 ×	188 / 1	209 / 6
3	LIU Guohui	CHN	87	158.32	163	170	173 ×	225	233 ×	233 ×	170 / 6	225 / 395
4	PAPAGERDIS Dimitrios	GRC	86	134.88	177 ×	177	181	212 ×	212	181 / 3	212 / 4	395 / 395
5	LENZIOSEK Mateusz	POL	86	137.88	160	166	170	200	207	213	170 / 4	213 / 3
6	SOTSKOV Kostiantyn	UKR	87	146.82	165	170	172 ×	202	207	210	170 / 5	210 / 5
7	NAGY Peter	HUN	86	134.72	160 ×	160	166	195	201 ×	201	166 / 7	201 / 7
8	大田 和臣	JPN	86	135.54	150	155 ×	155	180	185	188	155 / 8	188 / 10
9	DETENAMO Itte	NRU	86	149.96	145	155 ×	160 ×	195	200 ×	200 ×	145 / 10	195 / 9
10	廣瀬 雅也	JPN	86	153.44	126	132	140	178 ×	178	185	140 / 11	185 / 11
11	GHAREHDAGHI Ali	IRI	87	115.10	140	145	148 ×	170	175 ×	175 ×	145 / 9	170 / 12
12	ARTEAGA Julio	ECU	86	121.56	152 ×	152 ×	152 ×	190	200	205 ×	152 ×	190 / 200
												—

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーナーク			ベスト	最終得点
					1	2	3	1	2	3		
1	ALHOSSINI Saeid	IRI	88	127.04	175	180 ×	181	211	215	—	181 / 2	215 / 2
2	SHYMECHKO Ihor	UKR	86	121.24	178	182	186	205	209	213 ×	188 / 1	209 / 6
3	LIU Guohui	CHN	87	158.32	163	170	173 ×	225	233 ×	233 ×	170 / 6	225 / 395
4	PAPAGERDIS Dimitrios	GRC	86	134.88	177 ×	177	181	212 ×	212	181 / 3	212 / 4	395 / 395
5	LENZIOSEK Mateusz	POL	86	137.88	160	166	170	200	207	213	170 / 4	213 / 3
6	SOTSKOV Kostiantyn	UKR	87	146.82	165	170	172 ×	202	207	210	170 / 5	210 / 5
7	NAGY Peter	HUN	86	134.72	160 ×	160	166	195	201 ×	201	166 / 7	201 / 7
8	大田 和臣	JPN	86	135.54	150	155 ×	155	180	185	188	155 / 8	188 / 10
9	DETENAMO Itte	NRU	86	149.96	145	155 ×	160 ×	195	200 ×	200 ×	145 / 10	195 / 9
10	廣瀬 雅也	JPN	86	153.44	126	132	140	178 ×	178	185	140 / 11	185 / 11
11	GHAREHDAGHI Ali	IRI	87	115.10	140	145	148 ×	170	175 ×	175 ×	145 / 9	170 / 12
12	ARTEAGA Julio	ECU	86	121.56	152 ×	152 ×	152 ×	190	200	205 ×	152 ×	190 / 200
												—

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーナーク			ベスト	最終得点
					1	2	3	1	2	3		
1	ALHOSSINI Saeid	IRI	88	127.04	175	180 ×	181	211	215	—	181 / 2	215 / 2
2	SHYMECHKO Ihor	UKR	86	121.24	178	182	186	205	209	213 ×	188 / 1	209 / 6
3	LIU Guohui	CHN	87	158.32	163	170	173 ×	225	233 ×	233 ×	170 / 6	225 / 395
4	PAPAGERDIS Dimitrios	GRC	86	134.88	177 ×	177	181	212 ×	212	181 / 3	212 / 4	395 / 395
5	LENZIOSEK Mateusz	POL	86	137.88	160	166	170	200	207	213	170 / 4	213 / 3
6	SOTSKOV Kostiantyn	UKR	87	146.82	165	170	172 ×	202	207	210	170 / 5	210 / 5
7	NAGY Peter	HUN	86	134.72	160 ×	160	166	195	201 ×	201	166 / 7	201 / 7
8	大田 和臣	JPN	86	135.54	150	155 ×	155	180	185	188	155 / 8	188 / 10
9	DETENAMO Itte	NRU	86	149.96	145	155 ×	160 ×	195	200 ×	200 ×	145 / 10	195 / 9
10	廣瀬 雅也	JPN	86	153.44	126	132	140	178 ×	178	185	140 / 11	185 / 11
11	GHAREHDAGHI Ali	IRI	87	115.10	140	145	148 ×	170	175 ×	175 ×	145 / 9	170 / 12
12	ARTEAGA Julio	ECU	86	121.56	152 ×	152 ×	152 ×	190	200	205 ×	152 ×	190 / 200
												—

第12回世界ジュニア女子選手権大会

63Kg級												69Kg級												75Kg級							
順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			スナッチ			クリーン&ジャーク			スナッチ			クリーン&ジャーク			スナッチ			クリーン&ジャーク					
					1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
1	TANG Falian	CHN	88	47.70	72	75	78	x	93	98	100	75	2	100	1	175	1	175	1	125	1	125	1	223	1	223	1	223	1	223	
2	PHUPRIJEM Thip-Amon	THA	89	47.65	70	75	78	x	92	95	99	73	3	98	2	172	1	172	1	126	x	126	x	120	2	216	2	216	2	216	
3	PAGLIARO Genny	ITA	88	47.84	75	77	80	x	92	95	95	80	1	92	4	172	1	172	1	117	x	121	x	117	4	215	4	215	4	215	
4	SAYLERT Aungsumalin	THA	90	47.59	70	x	70	x	90	92	92	70	5	92	3	162	1	162	1	115	x	115	x	117	3	212	3	212	3	212	
5	DOZOIS-PREVOST Mari	CAN	86	47.97	70	x	73	x	87	91	x	91	70	8	91	5	161	1	161	1	117	x	117	x	117	4	215	4	215	4	215
6	KASHKINA Lazat	KAZ	88	47.78	65	70	73	x	86	86	90	70	6	90	6	160	1	160	1	115	x	115	x	117	3	176	3	176	3	176	
7	KARPINSKAYA Marzena	POL	88	47.75	69	71	74	x	81	83	86	71	4	83	8	154	1	154	1	115	x	115	x	117	3	171	3	171	3	171	
8	竹下 美緒	JPN	89	47.93	67	70	70	x	83	88	88	70	7	83	9	153	1	153	1	115	x	115	x	117	3	147	3	147	3	147	
9	SUNG Eun	KOR	89	46.84	62	64	66	x	85	85	85	64	9	65	7	149	1	149	1	115	x	115	x	117	1	265	1	265	1	265	
10	PIPLARIDOU Maria	GRC	86	47.91	57	61	63	x	75	80	x	63	10	75	10	138	1	138	1	115	x	115	x	117	4	201	4	201	4	201	
11	BARRERA Ana Dilia	DOM	89	48.00	62	64	64	x	71	x	71	74	11	74	11	136	1	136	1	115	x	115	x	117	4	200	4	200	4	200	
12	BERCHI Diana	ROM	90	47.97	48	52	55	x	67	69	71	x	52	12	69	12	121	1	121	1	115	x	115	x	117	4	200	4	200	4	200
48Kg級																															
53Kg級												59Kg級												75Kg級							
1	CHALEEPHAY Suda	THA	87	52.14	85	90	92	x	110	115	x	92	2	115	1	207	1	207	1	125	x	125	x	123	1	239	1	239	1	239	
2	ZUO Mengnia	CHN	87	52.66	88	91	93	x	110	115	x	93	1	110	4	203	1	203	1	125	x	125	x	123	4	230	4	230	4	230	
3	CONTRERAS Yuderqui	DOM	86	52.81	89	92	x	94	x	110	111	x	89	3	111	2	200	1	200	1	125	x	125	x	123	4	220	4	220	4	220
4	MANEEWAN Aunnajiporn	THA	87	52.30	80	x	80	x	105	110	x	80	4	110	3	190	1	190	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192	
5	LEMO Sana	COL	86	52.76	75	78	78	x	100	108	x	78	5	100	5	178	1	178	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192	
6	NOEL Melanie	FRA	86	49.16	74	77	77	x	94	97	x	97	77	6	97	7	174	1	174	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192
7	ROWNSKA Malwina	POL	86	53.00	74	77	77	x	95	98	x	98	74	98	6	172	1	172	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192	
8	TSENG Tzu-Jung	JPN	88	52.42	70	74	76	x	90	90	x	90	72	10	90	10	162	1	162	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192
9	沼田 洋子	JP	86	52.21	69	72	75	x	87	90	x	92	72	10	90	10	162	1	162	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192
10	DAVIS Amber	USA	86	52.91	68	71	74	x	84	88	x	88	90	8	88	12	162	1	162	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192
11	HEREDIA Jackeline	COL	88	52.08	71	x	71	x	74	90	x	90	71	11	90	9	161	1	161	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192
12	YAMASAKI Erika	AUS	87	52.43	66	70	72	x	84	88	x	88	70	12	88	11	158	1	158	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192
13	SALAR Ranya	EGY	91	52.94	68	x	68	x	70	80	x	80	70	13	80	13	150	1	150	1	125	x	125	x	123	4	192	4	192	4	192
14	DE LA PUENTE Maria	ESP	89	51.68	73	x	73	x	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
58Kg級																															
1	TSARUKAEVA Svetlana	RUS	87	57.57	98	103	106	x	120	x	125	106	1	125	1	231	1	231	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
2	PEREZ Mercedes	COL	87	57.21	86	90	93	x	107	111	x	93	2	115	4	208	1	208	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
3	GU Wei	CHN	86	54.88	90	x	90	x	110	115	x	90	4	115	2	205	1	205	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
4	CHANPOOK Nattanee	THA	87	57.11	85	90	93	x	110	113	x	85	6	115	3	200	1	200	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
5	BEGAJ Romela	ALB	86	57.77	91	95	x	105	110	x	91	3	105	8	196	1	196	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231		
6	THONGSUK Surerat	THA	86	57.23	85	90	x	92	x	110	x	85	8	110	5	195	1	195	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
7	VINOGRADOVA Svetlana	KAZ	87	57.11	80	85	90	x	100	105	x	85	7	108	6	183	1	183	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
8	MUN Yura	KOR	90	57.54	83	87	91	x	105	105	x	87	5	105	7	192	1	192	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
9	HO Hsiao-Chun	TPE	87	57.87	80	82	x	105	x	105	x	80	14	105	9	185	1	185	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
10	SEGURA Kelly Janeth	COL	87	56.82	78	81	x	81	x	95	98	100	x	100	10	181	1	181	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
11	松本 寛波	JPN	86	57.64	76	80	83	x	95	98	100	x	89	13	100	11	180	1	180	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231
12	LIN Wan-Hsuan	TPE	88	57.93	82	x	82	x	95	100	x	100	10	82	10	177	1	177	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231	
13	MOSSAD Zeinab	EGY	91	57.51	70	x	70	x	74	x	88	x	88	13	88	13	158	1	158	1	125	x	125	x	123	4	231	4	231	4	231
14	BORDIGNON Giorgia	ITA	87	57.49	65	68	x	71	x	82	x	86	x	86	14	150	1	150	1	125	x	125	x	123	4						

国別得点表

第46回西日本学生選手権大会

●平成18年3月23日[56kg級～62kg級]・24日[69kg級～75kg級]

●羽曳野コロセアム(羽曳野市)

56kg級

順位	国名	48kg	53kg	58kg	63kg	69kg	75kg	75kg 合計得点
1	RUS		84 / 1	154 / 2	143 / 2	143 / 2		540 / 7
2	THA	139 / 2	148 / 2	124 / 2	52 / 1			463 / 7
3	CHN	81 / 1	75 / 1	70 / 1	67 / 1	64 / 1	66 / 1	423 / 6
4	COL	110 / 2	119 / 2	120 / 2		50 / 1	399 / 7	
5	TPE	55 / 1	90 / 2	46 / 1	76 / 1		112 / 2	385 / 7
6	JPN	54 / 1	49 / 1	43 / 1	101 / 2	57 / 1	48 / 1	352 / 7
7	KAZ	60 / 1		58 / 1		116 / 2	98 / 2	332 / 6
8	POL	59 / 1	56 / 1		92 / 2	67 / 1		279 / 5
9	BLR					92 / 2	151 / 2	245 / 4
10	EGY	39 / 1		37 / 1	113 / 2	54 / 1		243 / 5
11	KOR	53 / 1		58 / 1		63 / 1		174 / 3
12	ITA	73 / 1		34 / 1				143 / 3
13	UKR					68 / 1	62 / 1	130 / 2
14	DOM	45 / 1					116 / 2	
15	USA		48 / 1				53 / 1	101 / 2
16	GRC	48 / 1					51 / 1	99 / 2
17	CAN	60 / 1						17 / 1
18	INA							77 / 2
19	ALB							72 / 1
20	FRA							62 / 1
21	GER							59 / 1
22	ROM	42 / 1						56 / 1
23	GBR							56 / 2
24	AUS							47 / 1
25	VEN							43 / 1
合計	ESP							17 / 1
合計	26	12	14	16	14	8	11	12 / 87

62kg級

順位	氏名	大学名	年	体重	スナッチ	クリーチ&ショット	スラッシュ	ペス	ト	トータル
1	中田 美典	大阪商業大学	84	4	55.60	95	98 ×	98	—	98 / 1
2	中川 大樹	立命館大学	87	1	54.64	92	97 ×	120 ×	CR	122 CS
3	櫻木 駿也	名古屋産業大学	86	2	54.96	85	85 ×	113 ×	118 ×	118 / 2
4	田中翔太郎	福岡大学	87	1	54.82	85	88	90 ×	116 ×	116 / 3
5	星崎 達也	名古屋産業大学	87	1	55.54	92	92 ×	110 ×	115 ×	115 / 4
6	成尾 勇士	大阪商業大学	85	3	55.04	80	85	88 ×	110 ×	115 / 5
7	飼山 寛行	姫路商科大学	86	3	54.74	82	82	85	114 ×	114 / 6
8	永井 裕也	福岡大学	88	1	55.20	75	80	83 ×	95 ×	114 / 7
9	古下 智博	名古屋産業大学	87	1	54.88	65	65 ×	70	80	80 / 8
10	瀧 雅人	名城大学	87	2	53.76	65	68	77	80 ×	70 / 9
11	大野 正裕	名城大学	84	4	55.12	35	40 ×	55	60	60 / 10
12	田中 直人	京都産業大学	74	4	52.36	35	38 ×	50	52	52 / 11
13	廣野 完	京都産業大学	87	1	55.84	85	85 ×	85	—	90 / 9

69kg級

順位	氏名	大学名	年	体重	スナッチ	クリーチ&ショット	スラッシュ	ペス	ト	トータル
1	古澤 還	大阪商業大学	84	4	60.82	100	105	110 ×	130	136 ×
2	大河内裕介	立命館大学	85	3	61.84	98	103	105 ×	124	131 ×
3	江本 麟伸	大阪商業大学	88	1	59.16	90	90 ×	115 ×	120 ×	123 ×
4	菅田 拓也	九州国際大学	88	1	61.44	95	99	102 ×	118 ×	120 ×
5	鈴木宏一朗	名古屋産業大学	85	3	61.50	95	100 ×	100 ×	116 ×	118 ×
6	長野 和慈	京都産業大学	84	4	61.84	90	93	96 ×	100 ×	112 ×
7	清水 真行	関西大学	86	3	60.52	80	85	88 ×	110 ×	110 ×
8	坂田 久明	九州国際大学	85	3	61.52	80	80 ×	80	105 ×	105 ×
9	真弓 桃也	九州国際大学	95	3	61.56	77	82	88 ×	100 ×	105 ×
10	青原 淳志	名古屋産業大学	86	2	60.70	80	80	85	100 ×	105 ×
11	岡本 幸貴	福岡大学	87	1	58.82	75	80	85	95 ×	95 / 11
12	柴田 幸平	名古屋産業大学	87	1	60.30	78	83 ×	83 ×	104 ×	104 ×
13	吉村 昌太	桜山学院大学	85	3	62.00	75	80	85 ×	90 ×	90 / 12
14	萩原 貴裕	関西学院大学	84	4	61.92	65	70	72	90	90 / 13
15	加藤 達也	名城大学	85	4	60.74	60	65	70 ×	80	90 / 14
16	宮下 新平	桜山学院大学	87	1	57.32	45	45 ×	50	55	65 / 15

75kg級

順位	氏名	大学名	年	体重	スナッチ	クリーチ&ショット	スラッシュ	ペス	ト	トータル
1	三谷 洋平	金沢学院大学	87	1	68.22	107	112	116 ×	135	143 ×
2	五百萬正和	大阪商業大学	85	3	63.56	110	115	118 ×	135	142 ×
3	石川 順	関西大学	87	1	66.76	110	113 ×	113 ×	130 ×	137 ×
4	池沢 祐太	中京大学	84	4	68.24	100	105	115 ×	130 ×	135 ×
5	森本 雅人	福岡大学	85	3	68.32	100	105	110 ×	128 ×	133 ×
6	吉田 圭太	九州国際大学	85	3	68.48	102	105	106 ×	132 ×	136 ×
7	福住 順也	関西大学	86	3	67.88	105	110 ×	110 ×	130 ×	135 ×
8	三戸岡有基	九州国際大学	86	3	68.48	102	105	105 ×	117	120 ×
9	石川 順永	名古屋産業大学	88	1	68.84	95	98	100 ×	121	122 ×
10	能木 邦嗣	金沢学院大学	84	4	65.42	95	95 ×	95 ×	115	115 ×
11	松本 和哉	京都産業大学	86	2	65.02	90	95	98 ×	115 ×	115 ×
12	武司 鳥羽	福岡大学	87	1	68.76	90	95 ×	95 ×	115 ×	115 ×
13	澤田 太郎	名古屋産業大学	85	4	67.62	91	96 ×	118 ×	121	121 ×
14	加藤 雄介	金沢学院大学	88	1	67.10	90	95 ×	95 ×	115	115 ×
15	池内 賢一	金沢学院大学	87	1	67.96	85	90	95 ×	115	115 ×
16	山崎 豊大	名古屋産業大学	87	1	68.58	90	95 ×	95 ×	120 ×	120 ×
17	西村 寿登	近畿大学	87	1	68.77	70	75 ×	72 ×	85 ×	85 / 8
18	平 姫路聰	姫路聰	88	1	66.68	82	82 ×	82 ×	105 ×	105 ×
19	林 良則	関西学院大学	82	3	68.78	70	75 ×	76 ×	107 ×	107 ×
20	中野 隆	京都大学	85	3	63.84	65	70	80 ×	85 ×	85 / 9
21	木本 正人	関西大学	83	4	66.48	60	60 ×	60 ×	70 ×	85 / 10
22	木本 徳永	大阪商業大学	88	1	63.12	90	90 ×	90 ×	115	115 ×
23	李雄 信野	名塚大学	86	2	68.36	85	85 ×	85 ×	105 ×	105 ×

第6回西日本女子学生選手権大会

●平成18年6月24日 ●羽曳野コロセアム(羽曳野市)

48Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	保井麻奈子	幾山学院大学	87 1	41.30	35	37	40	x	45	47	50	50	37.1

69Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	室本 真由	金沢学院大学	86 2	68.02	65	68	x	68	x	75	79	82	65.1

77Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	室本 真由	金沢学院大学	86 2	68.02	65	68	x	68	x	75	79	82	65.1

85Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	新谷 義人	川 金沢学院大学(通)	81	72.92	138	144	x	144	180	CS	184	x	144.1

56Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	山田 政晴	群馬 厳島(株)アシックス	80	55.93	103	107	x	107	145	147	151 NR	107.2	151.1

58Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	堀川 純子	金沢学院大学	87 1	55.62	58	x	58	78	81	83	x	58.1	81.1

63Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	大杉 里子	立命館大学	87 1	62.98	64	67	x	70	77	81	85	70.1	85.1

第66回全日本選手権大会

●平成18年6月30日 [56Kg級～69Kg級]・7月1日 [77Kg級～94Kg級]

●小瀬スポーツ公園 武道館(甲府市)

48Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	保井麻奈子	幾山学院大学	87 1	41.30	35	37	x	40	x	45	47	50	37.1

58Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	堀川 純子	金沢学院大学	87 1	55.62	58	x	58	78	81	83	x	58.1	81.1

63Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	大杉 里子	立命館大学	87 1	62.98	64	67	x	70	77	81	85	70.1	85.1

69Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	室本 真由	金沢学院大学	86 2	68.02	65	68	x	68	x	75	79	82	65.1

77Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	新谷 義人	川 金沢学院大学(通)	81	72.92	138	144	x	144	180	CS	184	x	144.1

85Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	新谷 義人	川 金沢学院大学(通)	81	72.92	138	144	x	144	180	CS	184	x	144.1

56Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	山田 政晴	群馬 厳島(株)アシックス	80	55.93	103	107	x	107	145	147	151 NR	107.2	151.1

58Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	堀川 純子	金沢学院大学	87 1	55.62	58	x	58	78	81	83	x	58.1	81.1

63Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	ス ナ ツ チ	3	1	2	3	クリーン&ジャーブ	ペスト	ベスト
1	大杉 里子	立命館大学	87 1	62.98	64	67	x	70	77	81	85	70.1	85.1

第20回全日本女子選手権大会

●平成18年6月30日[48Kg級～53Kg級]・7月1日[58Kg級～63Kg級]・2日[69Kg級～+75Kg級]

●小瀬スポーツ公園 武道館(甲府市)

順位	都道府県名	生年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン＆ジャーブ	1	2	3	S	C&B	ベスト	トータル		
1 平岡 静香	岡山県	93.20	145	150	185	190	CS	194	MR	150	1	184	1	344	MR		
2 田井 理恵	本州法政大学	94	93.26	144	147	x	188	UR	194	x	195	x	144	5	188	2	
3 川畠 京子	京都府立体育大学	85	89.18	142	144	x	180	x	185	x	194	x	146	2	332	UR	
4 佐藤 彩恵	北海道教育大学	79	93.70	143	x	143	x	183	x	187	x	145	4	183	3		
5 菅井 悠樹	玉川自衛隊体育学校	81	93.50	136	140	x	143	x	180	x	187	x	140	6	180	5	
6 関本 裕二	東邦大学	82	93.52	125	130	x	133	165	170	x	172	x	133	9	170	6	
7 渡辺 優裕	明治大学	84	91.04	135	144	x	144	x	160	x	165	x	135	6	165	7	
8 滝絆 小笠原伸吾	法政大学	86	92.26	130	x	130	x	165	x	170	x	170	x	133	8	165	8
9 朝臣 真理	法政大学	84	89.70	143	x	143	x	146	x	180	x	180	x	146	3	—	—

順位	都道府県名	生年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン＆ジャーブ	1	2	3	S	C&B	ベスト	トータル		
1 稲垣 美二	東京都立農業高等学校	81	94.54	142	x	142	x	147	x	181	x	186	x	147	2	186	1
2 犀田 雄大	福岡県立九州国際大学	86	99.04	130	x	135	x	140	x	165	x	170	x	142	3	175	3
3 佐藤 佑那	東邦大学	84	94.30	130	x	135	x	138	x	160	x	172	x	135	6	175	5
4 村辺 真人	兵庫県立明治大学	84	93.66	130	x	135	x	135	x	160	x	160	x	130	7	160	6
5 西川 智也	兵庫県立甲府高等学校	69	103.66	150	x	157	x	163	x	180	x	180	x	157	1	—	—
6 丹波 聰一	兵庫県立日本大学	82	103.00	151	x	141	x	145	x	165	x	165	x	141	4	—	—
7 吉岡 実生	兵庫県立東洋高等学校	78	104.36	136	x	150	x	150	x	180	x	185	x	185	2	—	—
8 西川 智也	兵庫県立明治大学	78	104.20	150	x	150	x	150	x	180	x	185	x	185	2	—	—
9 野原 真理	兵庫県立明治大学	78	104.20	150	x	150	x	150	x	180	x	185	x	185	2	—	—
10 口山 忠之	東京都立農業高等学校	83	116.44	130	x	135	x	135	x	145	x	185	x	194	3	185	7
11 佐久間朋美	兵庫県立明治大学	77	135.15	150	x	155	x	155	x	170	x	175	x	175	10	170	10
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150	5	60	1

順位	都道府県名	生年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン＆ジャーブ	1	2	3	S	C&B	ベスト	トータル		
1 天野 満	山梨県立明見中学校(職)	81	132.10	150	x	150	x	198	x	204	x	150	4	204	1		
2 渡田 浩祐	石川県立芦屋高等学校	80	115.68	180	x	185	x	185	x	190	x	190	x	185	5		
3 田中 和臣	福井県立九州国際大学	86	137.35	155	x	160	x	160	x	185	x	185	x	185	5		
4 斎藤 伸也	日本大学	85	134.45	150	x	155	x	160	x	185	x	185	x	185	5		
5 関谷 圭介	北海道新潟西高等学校	82	126.45	140	x	145	x	145	x	180	x	180	x	185	4		
6 須藤 由成	山梨県立日本大学	84	130.05	135	x	140	x	143	x	181	x	181	x	185	6		
7 鹿瀬 将也	山梨県立日本大学	86	151.95	135	x	135	x	142	x	183	x	190	x	193	2		
8 青木 義明	木下生高等学校(教)	74	127.00	130	x	135	x	140	x	170	x	178	x	183	8		
9 野原 真理	兵庫県立法政大学	84	132.45	135	x	135	x	145	x	185	x	194	x	195	7		
10 口山 忠之	東京都立農業高等学校	83	116.44	130	x	135	x	135	x	145	x	185	x	194	3		
11 佐久間朋美	兵庫県立明治大学	77	135.15	150	x	155	x	155	x	170	x	175	x	175	10		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150	5	60	1

順位	都道府県名	生年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン＆ジャーブ	1	2	3	S	C&B	ベスト	トータル		
1 天野 满	山梨県立明見中学校(職)	81	132.10	150	x	150	x	198	x	204	x	150	4	204	1		
2 渡田 浩祐	石川県立芦屋高等学校	80	115.68	180	x	185	x	185	x	190	x	190	x	185	5		
3 斎藤 伸也	福井県立九州国際大学	86	137.35	155	x	160	x	160	x	185	x	185	x	185	5		
4 関谷 圭介	日本大学	85	134.45	150	x	155	x	160	x	185	x	185	x	185	5		
5 鹿瀬 将也	山梨県立日本大学	84	130.05	135	x	140	x	143	x	181	x	181	x	185	6		
6 青木 義明	木下生高等学校(教)	74	127.00	130	x	135	x	140	x	170	x	178	x	183	8		
7 野原 真理	兵庫県立法政大学	84	132.45	135	x	135	x	145	x	185	x	194	x	195	7		
8 口山 忠之	東京都立農業高等学校	83	116.44	130	x	135	x	135	x	145	x	185	x	194	3		
9 佐久間朋美	兵庫県立明治大学	77	135.15	150	x	155	x	155	x	170	x	175	x	175	10		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150	5	60	1

順位	都道府県名	生年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン＆ジャーブ	1	2	3	S	C&B	ベスト	トータル		
1 平岡 静香	岡山県立明見中学校(職)	83	93.20	145	150	x	150	x	198	CS	194	MR	150	1	184	1	
2 田井 理恵	本州法政大学	84	93.26	144	147	x	147	x	188	UR	194	x	144	5	188	2	
3 川畠 京子	京都府立体育大学	85	89.18	142	144	x	146	x	180	x	183	x	146	2	185	3	
4 佐藤 彩恵	埼玉県立体育大学	81	93.50	136	140	x	143	x	180	x	187	x	140	6	180	5	
5 菅井 悠樹	埼玉県立体育大学	82	93.52	125	130	x	133	165	170	x	172	x	133	9	170	6	
6 關本 裕二	兵庫県立明治大学	84	91.04	135	144	x	144	x	185	x	180	x	135	6	175	5	
7 渡辺 優裕	兵庫県立明治大学	86	92.26	130	x	130	x	165	x	170	x	170	x	165	8	165	7
8 滝絆 小笠原伸吾	山梨県立法政大学	84	89.70	143	x	143	x	146	x	180	x	180	x	146	3	170	3

順位	都道府県名	生年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン＆ジャーブ	1	2	3	S	C&B	ベスト	トータル		
1 稲垣 美二	東京都立農業高等学校	72	103.84	142	147	x	147	x	186	x	196	x	147	2	186	1	
2 犀田 雄大	福岡県立九州国際大学	86	99.04	130	135	x	135	x	175	x	180	x	175	3	175	3	
3 佐藤 佑那	京都府立明治大学	82	103.00	151	157	x	157	x	180	x	180	x	180	x	180	6	
4 村井 楓	兵庫県立明治大学	78	104.36	136	141	x	141	x	185	x	185	x	185	2	185	2	
5 佐藤 真由美	兵庫県立明治大学	78	104.20	150	x	150	x	180	x	185	x	185	x	185	2	185	2
6 佐藤 真由美	兵庫県立明治大学	78	104.20	150	x	150	x	180	x	185	x	185	x	185	2	185	2
7 佐久間朋美	兵庫県立明治大学	77	135.15	150	x	155	x	155	x	170	x	175	x	175	10	170	10
8 佐久間朋美	兵庫県立明治大学	77	135.15	150	x	155	x	155	x	170	x	175	x	175	10	170	10

順位	都道府県名
----	-------

第9回国際大学選手権大会

●平成16年6月30日(男子56kg級～62kg級・女子49kg級～56kg級)・7月1日(男子69kg級～85kg級・女子59kg級～75kg級)
2日(男子85kg級A～105kg級) ●トルコ イズミル

【男子】

56kg級

順位	氏名	国名	年齢	体重	1	スナッチャ	2	3	クリーン&ジャーナーク	スナッチャ	2	3															
1	TANASAK Phanaim	THA	85	55.32	101	105	108	x	130	135	136	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	
2	OKADA Hideomi	JPN	84	55.66	95	100	x	100	x	120	125	125	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x
3	SINDONI Giovanni	ITA	80	55.22	70	75	80	90	95	x	95	x	95	x													
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

62kg級

順位	氏名	国名	年齢	体重	1	スナッチャ	2	3	クリーン&ジャーナーク	スナッチャ	2	3	クリーン&ジャーナーク	スナッチャ	2	3	クリーン&ジャーナーク	スナッチャ	2	3	クリーン&ジャーナーク	スナッチャ	2	3		
1	ZHANG Jie	CHN	87	61.78	126	130	136	x	155	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	
2	BILGIN Erol	TUR	87	61.76	120	123	125	x	150	155	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	160	x	
3	NIMAT Kirthipet	THA	83	61.14	120	123	125	x	145	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	HUDAYBERGENOV Toklunbi	TKM	86	61.20	110	115	120	x	141	147	x	150	x	155	x	147	x	150	x	150	x	150	x	150	x	
5	PRAOMT Phercharai	THA	84	61.56	115	120	122	x	142	148	x	148	x	148	x	148	x	148	x	148	x	148	x	148	x	
6	IDORI Masakazu	JPN	85	61.48	110	115	118	x	135	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	
7	YAMAUCHI Kyle	USA	83	61.48	105	110	110	x	132	136	x	141	x	141	x	141	x	141	x	141	x	141	x	141	x	
8	JOHNSON Denick	USA	85	61.46	107	111	111	x	134	139	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	
9	KARPOUZOGLOU Panagioti	GRE	87	61.08	102	107	110	x	120	130	x	130	x	130	x	130	x	130	x	130	x	130	x	130	x	
10	EIJAN Fabian	MEX	84	61.82	90	x	90	x	90	115	x	115	x	115	x	115	x	115	x	115	x	115	x	115	x	
NIAZALIEV Rustam	KGZ	85	61.48	95	x	95	100	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x	140	x
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

69kg級

順位	氏名	国名	年齢	体重	1	スナッチャ	2	3	クリーン&ジャーナーク	スナッチャ	2	3																
1	BINAY Mete	TUR	85	67.98	140	145	150	x	160	170	x	175	x	150	x	175	x	175	x	175	x	175	x	175	x	175	x	
2	MOLDDOSOV Kutman	KGZ	84	68.00	125	127	125	x	152	156	x	162	x	125	x	156	x	156	x	156	x	156	x	156	x	156	x	
3	TOKTONALIEV Kambar	KGZ	85	68.32	125	x	125	x	125	127	x	152	x	156	x	156	x	156	x	156	x	156	x	156	x	156	x	
4	RONNAYUTH Arnoivong	THA	83	68.42	125	x	126	x	126	129	x	155	x	157	x	126	x	155	x	155	x	155	x	155	x	155	x	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
5	BROWER Henry	USA	82	68.80	120	x	120	x	124	x	152	x	158	x	120	x	178	x	120	x	178	x	120	x	178	x	120	x
6	CHIU Yi-jieh	TPE	83	67.62	115	120	120	x	150	155	x	156	x	120	x	160	x	120	x	160	x	120	x	160	x	120	x	
7	ZEDIK Jiri	SVK	85	66.66	120	125	125	x	135	140	x	145	x	125	x	140	x	125	x	140	x	125	x	140	x	125	x	
8	RISPOLI Simone	ITA	84	68.50	98	103	x	103	x	128	132	x	135	x	103	x	132	x	132	x	132	x	132	x	132	x		
9	STETSIK Ivan	UKR	86	68.20	105	110	x	110	x	125	x	125	x	129	x	105	x	129	x	105	x	129	x	105	x	129	x	
10	DOUGAN Neil	IRL	85	66.98	85	91	x	92	x	100	x	104	x	112	x	85	x	112	x	85	x	112	x	85	x	112	x	
SHINN Ryan	NED	80	68.70	75	80	x	83	x	104	x	104	x	104	x	80	x	111	x	80	x	111	x	80	x	111	x	80	x
SUYWENS Samuel	FRA	80	68.88	121	x	121	x	121	x	149	x	149	x	149	x													
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

77kg級

順位	氏名	国名	年齢	体重	1	スナッチャ	2	3	クリーン&ジャーナーク	スナッチャ	2	3																	
1	CHU Meng	CHN	81	76.66	150	159	x	180	186	x	187	x	150	x	187	x													
2	LU Changjiang	CHN	86	76.52	150	158	x	180	187	x	195	x	150	x	195	x													
3	KRAISORN Dadthuyawat	THA	81	74.38	132	138	x	141	x	170	174	x	174	x	132	x													
4	SENFert	GER	82	73.48	137	142	x	142	x	165	168	x	170	x	137	x	168	x	137	x	168	x	137	x	168	x	137	x	
5	REDJEFOM Mansur	TRM	82	76.16	137	143	x	143	x	155	166	x	166	x	137	x													
6	SWIDERSKI Adam	POL	82	76.54	130	135	x	138	x	160	163	x	160	x	137	x	163	x	137	x	163	x	137	x	163	x	137	x	
7	REED George	USA	82	76.12	122	126	x	126	x	160	165	x	166	x	126	x													
8	JAUNE Andre	FRA	85	76.12	130	x	125	x	150	x	155	x	155	x	125	x													
9	LOPEZ Francisco	ESP	79	76.24	130	x	135	x	145	x	150	x	150	x	146	x	151	x	146	x	151	x	146	x	151	x	146	x	
10	CHOMYKOV Kakagido	TKM	82	76.60	116	x	116	x	120	x	140	x	140	x	146	x	146	x	146	x	146	x	146	x	146	x	146	x	
11	PORTANOME Claudio	ITA	80	72.40	110	115	x	122	x	145	x	150	x	150	x	125	x												
12	BRIMHALL Justin L.	USA	86	74.38	117	122	x	122	x	145	x	151	x	151	x	117	x												
13	GORDETZKI Vladimir	ISR	82	1																									

国別得点表

【男子】

順位	氏名	国名	年生	体重	スナッチ			クリーン&ジャーナーク			ペスト							
					1	2	3	1	2	3	1	2	3					
1	JUNPIN Kuntateean	THA	84	52.54	87	92	x	92	107	112	115	92	1	115	1	207		
2	AREFE Wirathaworn	THA	80	50.48	80	x	80	100	103	107	80	3	107	2	187			
3	KARADEMIR Emine	TUR	85	52.50	81	x	81	95	x	95	103	x	81	2	95	3	176	
4	LIN Tsu-Ling	TPE	84	52.38	70	72	x	74	x	85	90	x	72	4	85	5	157	
5	LIN Yueh-jeng	TPE	81	52.42	67	72	x	73	x	82	85	90	x	67	5	90	4	157
6	DRAGO Sylvie	FRA	B2	52.00	60	x	60	63	75	80	83	x	63	6	80	6	143	
7	TEZCAN Damet	TUR	86	50.30	58	62	x	65	x	78	80	x	62	7	80	7	142	
8	PAPADOPULOU Agela	GRE	B7	52.80	56	59	61	75	81	x	61	81	x	75	8	73	9	136
9	ONDOS Adel	HUN	82	50.82	58	60	62	73	76	x	62	8	73	9	100	/2	100	
10	LEDOUX Ingrid	NED	81	52.16	44	47	x	47	x	54	x	54	x	44	10	54	10	98

58Kg級

順位	氏名	国名	年生	体重	スナッチ			クリーン&ジャーナーク			ペスト							
					1	2	3	1	2	3	1	2	3					
1	WANDEE Kameain	THA	87	57.54	88	92	x	95	x	119	122	x	92	2	122	1	214	
2	YIN Linia	CHN	87	57.80	88	92	x	95	107	112	118	x	95	1	112	2	207	
3	HUBBARD Amanda	USA	82	57.04	78	81	83	x	99	102	x	102	x	81	3	99	4	180
4	DAVIS Sarah E.	USA	83	56.96	70	70	74	x	74	x	85	90	x	70	4	90	5	160
5	OHMAN Marina	ISR	83	57.80	63	67	69	x	75	80	80	x	67	5	75	6	142	
	HO Hsiao-Chun	TPE	87	57.80	79	x	79	x	79	x	100	103	x	107	x	—	103	3

63Kg級

順位	氏名	国名	年生	体重	スナッチ			クリーン&ジャーナーク			ペスト								
					1	2	3	1	2	3	1	2	3						
1	SHU Jiean	CHN	82	60.20	100	103	x	105	x	125	130	x	135	x	103	2	130	1	233
2	THONGSUK Pawina	THA	79	62.68	101	x	104	x	104	126	131	x	133	x	104	1	126	2	230
3	GIRARD Christine	CAN	85	62.88	85	88	90	106	110	115	90	3	115	3	205				
4	TOKA Olilia	GRE	B1	61.90	85	89	x	89	x	102	106	110	x	85	4	110	5	195	
	SMOSARSKA Anna	POL	85	60.78	75	x	75	80	95	100	103	x	80	5	100	6	180		
5	FUJIMOTO Kyo T.	USA	84	62.54	70	75	x	77	x	90	95	x	96	x	75	7	90	7	165
6	MIHAILOVA Oksana	LAT	84	62.56	74	77	x	79	x	88	89	x	90	x	77	8	88	8	163
7	TRIOLO Ornella	ITA	82	62.40	50	56	x	65	70	73	70	x	56	8	73	9	129		
8	BAYRAMMA Namkhaido	MGL	78	61.60	88	x	88	x	111	116	x	116	x	—	111	4	—	—	—

69Kg級

順位	氏名	国名	年生	体重	スナッチ			クリーン&ジャーナーク			ペスト							
					1	2	3	1	2	3	1	2	3					
1	LI Ke Xin	CHN	83	68.18	90	95	100	120	125	130	100	1	130	1	230			
2	GAUME Teresa L.	USA	82	68.60	83	87	x	88	106	112	x	115	x	88	2	106	2	194
3	DOLOT Celina	FRA	82	68.64	76	78	79	x	94	96	98	x	78	3	96	3	174	
4	BOURELLI Erini	GRE	83	67.54	67	73	x	73	85	90	x	73	5	85	4	158		
	CIARELLI Maryn L.	USA	81	64.88	74	76	78	x	93	x	93	x	76	4	—	—	—	—

75Kg級

順位	氏名	国名	年生	体重	スナッチ			クリーン&ジャーナーク			ペスト							
					1	2	3	1	2	3	1	2	3					
1	LIU Jie	CHN	79	69.38	90	95	100	115	120	125	100	1	125	1	225			
	ANUPPA Moontar	THA	84	69.30	100	107	111	x	130	135	107	1	136	1	245			
2	ATKINSON Amanda S.	USA	82	80.78	80	82	x	83	104	107	x	80	2	104	3	184		
	CAMPALDINI Annarosa	ITA	85	101.24	80	x	80	x	100	105	108	x	—	108	2	—	—	—

順位	氏名	国名	年生	体重	スナッチ			クリーン&ジャーナーク			ペスト							
					1	2	3	1	2	3	1	2	3					
1	ANUPPA Moontar	THA	84	69.30	100	107	111	x	130	135	107	1	136	1	245			
2	ATKINSON Amanda S.	USA	82	80.78	80	82	x	83	104	107	x	80	2	104	3	184		
	CAMPALDINI Annarosa	ITA	85	101.24	80	x	80	x	100	105	108	x	—	108	2	—	—	—
1	ANUPPA Moontar	THA	84	69.30	100	107	111	x	130	135	107	1	136	1	245			
2	ATKINSON Amanda S.	USA	82	80.78	80	82	x	83	104	107	x	80	2	104	3	184		
	CAMPALDINI Annarosa	ITA	85	101.24	80	x	80	x	100	105	108	x	—	108	2	—	—	—

第8回全国高等学校女子選手権大会

●平成18年7月22日[48Kg級～58Kg級]・23日[63Kg級～75Kg級]

●明石市立産業交流センター(明石市)

48Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	1	スナッチ	1	クリーン&ジャーク	1	S	順位	トータル
						1	2	3	1	2	3		
1	寺島 菅史	日本大学	86 3	116.92	132	142	148	x	170	181	x	142	1 312
2	佐々木 榮	明治大学	86 2	112.52	125	130	x	130	156	163	x	130	2 293
3	佐藤 美人	明治大学	85 3	110.58	125	130	x	130	155	x	155	3 280	
4	越後 雄太	中央大学	87 2	118.58	110	113	115	150	158	x	158	4 265	
5	長瀬 拓哉	明治大学	87 1	128.60	110	110	x	110	130	140	x	110	5 250
6	木村 剛	中央大学	86 2	108.48	105	110	115	x	135	140	x	110	6 245
7	嶋田 洋	秋田経済法科大学	87 1	121.66	95	100	105	x	130	130	x	105	7 235
千原 光史	明治大学	87 1	111.72	95	x	95	x	120	125	x	125	8 一	

【女子】

53Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	1	スナッチ	1	クリーン&ジャーク	1	S	順位	トータル
						1	2	3	1	2	3		
1	松永麻奈代	平成国際大学	87 1	51.14	58	61	63	x	75	78	x	61	1 139
2	小川絵理香	早稲田大学	85 3	49.20	53	—	—	—	—	—	—	53	2 一
3	大山 恵理	早稲田大学	86 2	58.24	63	x	63	68	x	79	83	x	85 1 148
4	水野 万舞	清川高校	85 3	58.30	60	60	65	x	74	78	x	63	1 148
5	高橋 久実	岐阜県商業高校	90 2	46.80	43	x	43	43	x	43	x	55	2 一

58Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	1	スナッチ	1	クリーン&ジャーク	1	S	順位	トータル
						1	2	3	1	2	3		
1	松本 南波	早稲田大学	86 3	57.40	75	80	83	x	95	100	cs	102	1 180
2	山口 習子	明治大学	85 3	57.02	73	x	73	85	90	92	x	73	2 165
3	東山 友紀	早稲田大学	87 1	57.24	61	x	61	61	82	82	x	82	3 143
4	大山 恵理	早稲田大学	86 2	58.24	63	x	63	68	85	85	x	85	4 143
5	水野 万舞	清川高校	85 3	58.30	60	60	65	x	74	78	x	63	1 148
6	高橋 久実	岐阜県商業高校	90 2	46.80	43	x	43	43	x	43	x	55	2 一

63Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	1	スナッチ	1	クリーン&ジャーク	1	S	順位	トータル
						1	2	3	1	2	3		
1	大山 恵理	早稲田大学	86 2	58.24	63	x	63	68	x	79	83	x	85 1 148
2	水野 万舞	清川高校	85 3	58.30	60	60	65	x	74	78	x	63	1 148
3	高橋 久実	岐阜県商業高校	90 2	46.80	43	x	43	43	x	43	x	55	2 一

69Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	1	スナッチ	1	クリーン&ジャーク	1	S	順位	トータル
						1	2	3	1	2	3		
1	高田 美理	平成国際大学	87 1	66.84	70	73	78	x	83	87	x	91	1 169
2	中川 藤子	早稲田大学	84 4	63.22	74	78	x	94	98	x	74	2 168	
3	長谷川由佳	明治大学	87 2	66.32	65	69	71	x	80	85	x	71	3 156
4	高橋 久実	岐阜県商業高校	88 3	66.30	60	65	65	x	74	78	x	71	3 155
5	高田 美理	明治大学	87 1	66.84	70	73	78	x	83	87	x	91	1 169
6	中川 藤子	早稲田大学	84 4	63.22	74	78	x	94	98	x	74	2 168	
7	長谷川由佳	明治大学	87 2	66.32	65	69	71	x	80	85	x	71	3 156
8	高橋 久実	岐阜県商業高校	88 3	66.30	60	65	65	x	74	78	x	71	3 155
9	高橋 久実	岐阜県商業高校	88 3	66.30	60	65	65	x	74	78	x	71	3 155
10	高橋 久実	岐阜県商業高校	88 3	66.30	60	65	65	x	74	78	x	71	3 155
11	水野 佳	東邦大	88 3	51.56	47	49	51	x	60	62	x	62	1 143
12	森尾 祐里	東邦大	88 3	51.56	47	49	51	x	60	62	x	62	1 143
13	金田 彩乃	石川県商業高校	88 3	52.38	50	x	50	x	66	68	x	64	1 140
14	中田 沙樹	富山県立高岡高校	89 3	52.80	50	x	50	x	65	67	x	64	1 140
15	太田 真緒	福井県立高岡高校	89 2	50.54	49	51	x	55	x	66	x	64	1 140
16	高橋 佳	福井県立高岡高校	89 2	51.62	50	x	52	x	65	67	x	64	1 140
17	高橋 佳	福井県立高岡高校	89 2	51.62	50	x	52	x	65	67	x	64	1 140
18	高橋 佳	福井県立高岡高校	89 2	51.62	50	x	52	x	65	67	x	64	1 140
19	高橋 佳	福井県立高岡高校	89 2	51.62	50	x	52	x	65	67	x	64	1 140
20	高橋 佳	福井県立高岡高校	89 2	51.62	50	x	52	x	65	67	x	64	1 140
21	平尾 里美	三重県立高岡高校	89 2	52.20	48	x	48	x	58	60	x	60	1 140
22	今井 彩香	土岐市立高岡高校	90 1	51.78	45	47	49	x	55	57	x	59	1 140
23	増田 江理	土岐市立高岡高校	88 3	51.90	44	45	47	x	60	63	x	64	1 140
24	鈴木 沙彩	宮城県立高岡高校	88 3	52.82	41	44	46	x	55	58	x	54	1 140
25	船木 麻都香	長野県立高岡高校	89 2	49.32	40	42	44	x	50	53	x	54	1 140
26	吉田 智世	沖縄南部農林高校	89 2	48.82	40	43	45	x	50	53	x	54	1 140
27	崎山 岳	鹿児島県立商業高校	88 3	51.16	56	60	62	x	75	75	x	60	1 140

58Kg級

75Kg級

順位	都道府県名	学校名	生年	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベースト			
						1	2	3	1	2	3	S	順位	C&J	
1	浅田 沢	兵庫県立福知山市立高級	88 3	56.60	69 x	69	70	88 x	91	70	91	161	1	161	
2	薗田 美子	石川県立高崎高校	88 3	56.72	65	68 x	68	94 x	68	94 x	91	159	2	159	
3	鎌谷 繁子	京都府立高崎高校	88 3	53.16	60	62 x	64 x	75	79	82	82	144	3	144	
4	木下ちひろ	京都府立高崎高校	89 2	54.18	60	63 x	65 x	72	75	77 x	63	138	4	138	
5	新野技美果	馬鹿池高級商業高校	87 3	56.00	54	57	59	72	75	77	59	136	5	136	
6	出口志峰 勇	千葉県立国際高級商業高校	88 3	56.92	58	60	63	68	70	73 x	63	136	6	136	
7	浜崎 菜央	山梨県立高級商業高校	88 3	53.14	58	60	62 x	65	68	70	66	130	7	128	
8	作見 葉子	京都府立西山高級	88 3	56.32	54	57	59	65	69	72 x	59	128	8	118	
9	松川三川美長	埼玉県立玉栄高級	88 3	56.76	55	60 x	60	64	66	70 x	59	128	9	118	
10	北川 銀紀	埼玉県立玉栄高級	88 3	57.00	53	55	57 x	63	66 x	66	121	10	121		
11	安達宗津幸	山梨県立高級商業高校	88 3	57.50	53	56	59 x	60	63	65	16	121	11	177	
12	坂本 江末	長野県立長野西高校	89 3	56.96	51 x	51	54 x	66	66 x	69 x	13	120	12	176	
13	本城早紀子	京都府立高崎高校	89 2	57.16	50	53 x	53	61	65 x	67	120	13	143		
14	原玉 優子	滋賀県立新潟西高校	88 3	57.16	51 x	51	54 x	62	66 x	54 x	120	14	130		
15	柿沼 沙苗	埼玉県立五崎玉栄高級	90 1	57.08	50	53	55	60	63	65 x	55	120	15	120	
16	江角 千春	千葉県立高崎高校	89 3	57.24	50	52	54 x	60	62	64	14	118	16	118	
17	山崎祥美	長野県立長野西高校	88 3	56.08	52	55 x	—	64	68 x	68 x	17	116	17	116	
18	石田 尚子	京都府立須磨友が丘高校	89 3	56.50	48	51	54 x	61	63	65 x	18	114	18	114	
19	澤田 哲	京都府立西山高校	89 2	56.52	50	52 x	52 x	60	63 x	64	19	114	19	114	
20	直野 伸生	京都府立高崎高校	88 3	57.26	50	54 x	54 x	60	63 x	63	22	113	20	113	
21	尾野 麻巳	京都府立玉栄高級	89 2	57.00	42	44	46	65 x	65	66 x	24	111	21	111	
22	飯塚 沙弥	滋賀県立高崎高校	89 2	57.04	48	50	53 x	58	61	63 x	23	111	22	111	
23	山根 一美	京都府立高崎高校	88 3	56.76	48	50	52 x	59 x	59	60 x	24	110	23	110	
24	五嶋 康博	八代県立高崎高校	88 3	57.96	50	53 x	55 x	60	64 x	64 x	25	105	24	105	
25	南橋 真衣	山梨県立八幡中高級	88 3	57.34	45 x	45 x	26	93	25	93					
26	由富 由季	福岡県立中央高級	89 2	57.66	40	43 x	43 x	50 x	50 x	50 x	50 x	27	—	26	—
	岡田 美沙	兵庫県立高崎高校	89 3	54.94	54 x	54 x	28	70	27	70					

+75Kg級

順位	氏名	都道府県名	学校名	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベースト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベースト	トータル
1	井上 佐織	三重県	四日市中央工業高校	89 3	73.96	70	73	76	98	105 CR	76	1	181
2	永瀬 美由紀	京都府	加悦谷高校	88 3	73.12	60	63	70 x	77	85	91 x	63	148
3	藤岡 照	山梨県	甲斐教育商業高校	90 2	69.54	55	58	62	60	70	74	62	143
4	藤岡 佳菜	福岡県	薩摩西高校	89 2	72.82	52	54	56	60	70	75	75	131
5	川野 光	宮崎県	宮崎県立高島高校	88 3	74.10	52	54	56	70	72	74 x	56	128
6	仲村 理奈	沖縄県	豊見城高級	90 1	71.08	47	51	53	60	65	70 x	53	118

学校対抗得点表

順位	都道府県名	学校名	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベースト	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベースト	トータル	
1	比嘉真理子	沖縄県立豊見城高校	88 3	91.08	75	77	80 x	98	100	103 x	77	1	177
2	大西はるか	京都府立加悦谷高校	88 3	91.32	70	76 x	95	100	103 x	76	2	176	
3	谷上 嘉	京都府立新潟高校	88 3	81.52	63	66 x	77 x	77	81 x	66	3	143	
4	松尾 ひとみ	長崎県立西高校	88 3	88.32	59	60	63 x	68	70 x	60	4	130	
5	林 美佳	長野県立長野西高校	89 2	85.44	50	53	55	60	65	65	5	120	
6	須藤彩子	群馬県立馬祖相模工業高校	88 3	79.06	57	59 x	59	75 x	75 x	75 x	59	5	—

63Kg級

順位	都道府県名	学校名	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン	ベースト	スナッチ	クリーン	ベースト	トータル		
1	西脇 千尋	京都府立玉栄高級	89 3	62.84	64	67	72 x	82	86	90 x	67	153		
2	石井 亜澄	兵庫県立高崎高校	88 3	62.74	60	63	66 x	80	83	85 x	63	146		
3	苅谷 仁美	福井県立高崎高校	88 3	60.98	60	63	65 x	75	80 x	80	143	3	143	
4	中島 真香	山梨県立高崎高校	88 3	61.26	53	55	57 x	75	80 x	80	135	4	135	
5	今岡 真理	福井県立高崎高校	88 3	59.20	57	59	61	70	73	75 x	61	134		
6	樋原 真夏	福井県立高崎高校	89 3	60.80	52	54	56	67	70	73	58 x	73	129	
7	赤瀬 早紀	福井県立高崎高校	88 3	61.24	48	51	53	71	73	74 x	53	127		
8	白石 真理	福井県立高崎高校	88 3	60.94	50	52	54	65	70 x	70	84	8	124	
9	田中 千恵	高知県立東高校	88 3	62.02	55 x	55 x	58 x	65	68	70 x	55	123		
10	谷山裕奈	沖縄県立豊見城高校	90 1	61.60	52 x	52 x	56 x	67	70	72 x	52	122		
11	臺 紗英	兵庫県立高崎高校	89 2	58.58	50	54 x	67	70 x	72 x	67	119	11	111	
12	林 泰子	京都府立高崎高校	89 2	59.18	45	48 x	63	65	70 x	48 x	13	9	13	
13	福岡 康奈	福岡県立海洋高校	89 2	62.34	50	53 x	60	62 x	62 x	60	13	110	13	110
14	川山 昌	群馬県立高崎高校	89 2	62.53	55 x	55 x	56 x	60	66 x	66 x	14	10	106	
15	出雲麗杯	高崎高校											6 / 4	
16	前橋育英	高崎高校											5 / 1	
17	長野野西	高崎高校											5 / 3	
18	高崎育英	高崎高校											5 / 1	
19	高崎農業	高崎高校											5 / 1	
20	松戸国際	高崎高校											4 / 1	
21	群馬県立	高崎高校											3 / 2	
22	利根	高崎高校											2 / 1	
23	入来商業	高崎高校											2 / 1	
24	新居浜南	高崎高校											2 / 1	
25	愛媛	高崎高校											2 / 2	
26	糸満	高崎高校											1 / 1	

第24回全日本マスターズ選手権大会

69Kg級

男子

●平成18年7月22日[56Kg級～77Kg級]・23日[85Kg級～105Kg級]・女子全階級

●鴨池体育馆(鹿児島市)

順位	氏名	所属	県名	所屬	生年		体重	スナッチ		クリーン&ジャーク		ベスト		
					1	2		1	2	3	S	G&J	C&J	
A1 佐々木 優	滋賀県貿易WFL協会	33	68.25	57	60	cs	61	x	75	cs	77	x	60	1
A1 堀津 良	大分 日田WLC	33	65.45	35	40	45	x	40	50	x	50	40	2	
B 1 桂川 孝三	東京(株)エクセラティーベー	38	68.80	72	77	x	80	x	90	95	x	97	2	
B 2 真野 正広	島 MBクラブ	41	68.15	75	77	x	—	80	85	x	90	4		
B 2 鎌野 伸也	北海道WFL協会	37	68.30	55	60	63	x	80	85	x	90	4		
B 3 今野 駿也	本(有)NEWムラモチ	37	66.50	60	65	x	67	70	x	—	60	3		
B 4 村本 敦哉	和歌山東東整形外科	39	66.25	57	62	x	62	x	77	x	77	x		
C 1 舛木 雄二	東京相撲門WLクラブ	43	68.35	65	70	73	x	85	93	x	100	1		
C 2 竹村 信吾	兵庫(株)エクセラティーベース	45	67.70	60	63	x	63	x	80	85	x	87	2	
D 1 村上 邦夫	神奈川山九	49	68.20	77	80	x	80	92	95	x	98	x		
D 2 足立 優弥	埼玉カシュー(株)	47	68.35	65	70	x	75	90	95	x	98	2		
D 3 今野 金哉	福島自営	48	68.55	65	70	x	75	90	95	x	98	3		
D 4 久玉 義久	宮崎後阪守市役所	51	67.25	70	75	x	75	x	85	x	90	4		
D 5 田島 隆人	北海道新潟津浦温泉	49	68.60	66	66	x	66	x	81	x	87	5		
D 6 高倉 大	福島守市役所	51	68.50	40	45	x	50	x	50	x	85	6		
D 7 丹野 勇吉	宮城塙温泉	52	67.30	70	75	x	70	x	77	x	81	7		
E 1 下村 敏幸	北海道新潟津浦温泉	55	68.55	78	83	x	86	x	95	101	x	—	83	
E 2 大山 清一	群馬前橋協会	56	68.60	75	78	x	80	x	95	100	x	100	8	
E 3 畠山 正博	福島鹿児島市	55	67.30	70	75	x	77	x	85	92	x	92	9	
E 4 福盛 正美	鹿児島市	55	67.85	65	70	x	70	x	90	95	x	95	10	
F 1 吉本 昌幸	岡山県姫雲支社	61	65.75	80	85	x	90	x	95	100	x	100	1	
G 1 南 光宏	鹿児島マルエーフィヨー(株)	65	68.30	96	101	x	118	x	121	x	101	1		
G 2 斎野 格之	福島谷北高校(教)	62	68.40	80	83	x	100	x	105	x	110	x		
													188	

順位	氏名	所属	總七 東京竹林会		45	50	x	50	55	60	x	50	1
			1	2									
A1 中田 正剛	北海道(株)スポーツハウス	40	74.45	60	70	75	x	75	81	x	82	x	105
B 1 前川 正喜	北海道道場会	37	71.30	58	62	65	x	80	83	x	87	x	152
B 2 雅直 宮崎見玉ビル	41	76.25	57	60	62	x	83	88	x	87	x	83	148
B 3 芝村 好央	和歌山県WFL協会	41	72.30	50	55	x	55	x	67	x	72	x	143
B 4 木下 謙弘	大分別府WLC	40	69.70	55	55	x	55	x	65	x	65	x	122
C 1 美辺 治	大分別府WLC	46	75.70	78	86	x	86	x	90	x	93	x	120
C 2 中村 壘	三重県伊賀電機	46	76.90	70	75	x	75	x	87	x	92	x	168
C 3 田邊 知隆	京都新進会	45	73.45	60	65	x	70	x	75	x	80	x	167
C 4 竹下 彰彦	兵庫県長野原会	43	73.50	55	60	x	62	x	73	x	75	x	145
C 5 榎口 賢一	長野県WFL協会	46	71.25	60	64	x	78	x	78	x	84	x	137
C 6 矢澤 美雄	東京(株)サンアル	43	75.05	55	61	x	61	x	—	x	—	x	—
D 1 佐古 浩	宮崎水素聯合研究センター	51	60.85	70	72	x	88	x	96	x	105	x	201
D 2 池田 功	玉城玉県WFL協会	42	60.85	60	63	x	63	x	72	x	80	x	182
D 3 村崎 伸	東京ドンヒビ企画(株)	43	61.50	55	60	x	60	x	72	x	81	x	200
D 4 清瀬 正三	鹿児島(株)監護	46	60.05	58	60	x	60	x	75	x	80	x	191
D 5 白井 譲	北海道WFL協会	42	60.15	55	60	x	60	x	75	x	80	x	190
D 6 佐古 勇	沖縄県WFL協会	47	60.20	70	75	x	80	x	85	x	95	x	187
D 7 砂辺 伸	東京伊崎クラブ	49	59.85	65	71	x	85	x	94	x	105	x	195
D 8 今井 三郎	大分(株)スリーエス	51	61.25	60	65	x	85	x	80	x	88	x	190
D 9 今井 利男	神奈川(株)不二サザン	47	61.55	55	60	x	70	x	75	x	85	x	189
E 1 村井 英次	兵庫(株)エクセラティーベース	53	62.00	70	73	x	90	x	95	x	103	x	191
E 2 曽根 稔	神奈川東芝	52	60.90	63	67	x	85	x	94	x	103	x	190
F 1 大塚 真	東京(株)伊勢丹	57	61.00	70	75	x	92	x	90	x	105	x	190
F 2 河野 元彦	宮崎県日野自動車	58	60.90	70	75	x	80	x	85	x	90	x	190
H 1 杉 英司	東京早稲田大学(競)	69	61.70	80	85	x	100	x	105	x	108	x	191
H 2 佐々木 敦	大分日田WLC	69	61.60	70	75	x	90	x	95	x	105	x	190

I 69	F 1 内野 利己	大阪府大蔵旅館	58	70.80	80	85	x	90	x	100	x	110	x	195
F 2 中村 龍一	鹿児島市消防防災本部	61	76.15	60	73	x	86	x	90	x	100	x	170	
G 1 谷川 伸	森三沢米軍基地	66	76.15	50	83	x	89	x	95	x	100	x	170	
G 2 鈴木 幸	幹部訓練	62	76.20	83	80	x	91	x	103	x	108	x	170	
G 3 長瀬 善慈	大阪府大蔵旅館	64	72.60	70	75	x	80	x	95	x	105	x	180	
G 4 堀内 一広	北海道サン・アトリエ	54	74.30	67	72	x	77	x	92	x	95	x	184	
H 1 宮田 秀樹	堺玉玉城	71	74.55	95	100	x	100	x	95	x	105	x	187	
H 2 鳥島 鳥	日本放送協会	69	74.55	65	70	x	72	x	90	x	95	x	188	

第11回アジアユニア女子選手権大会

●平成18年7月22日[48kg級～63kg級]～23日[69kg級～+75kg級]

●韓国 韓山

順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン&ジャーク	1	2	3	S	ベスト	トータル	
1	TEMORDI Reza	IRN	86	105.00	160	165	168	191	200	205	x	168	1	200	1	388
2	JIANG Yunlong	CHN	88	104.75	150	160	x	183	187	190	x	150	2	190	2	340
3	APRILUWAN Bayu	INA	88	100.45	142	150	x	175	183	187	x	142	3	187	3	329
4	福嶺 佑耶	JPN	86	101.70	126	131	136	167	x	167	x	136	4	172	4	308
5	LEE Kyu-Kwang	KOR	87	104.65	130	130	x	168	176	176	x	130	5	166	5	298
6	RATHORE Usman Anjiad	PAK	87	96.30	120	125	x	150	155	160	x	125	6	155	6	280
7	RAHIMI Rahim	MAS	88	98.75	115	120	x	125	140	—	—	125	7	140	7	265

+105kg級																
1	大田 和臣	JPN	86	136.70	152	157	x	185	192	200	x	152	3	192	1	344
2	JUNG Jae-Hoon	KOR	86	115.85	155	x	155	—	180	188	x	191	1	188	2	343
3	APRYANTO Dodi	INA	88	143.90	144	153	x	157	175	186	x	153	2	186	3	359

国別得点表

順位	国名	56kg	62kg	68kg	74kg	80kg	85kg	94kg	105kg	+105kg	合計得点
1	CHN	84 / 1	79 / 1	75 / 1	84 / 1	60 / 1	157 / 2	75 / 1	75 / 1	—	614 / 8
2	KOR	74 / 1	81 / 1	68 / 1	146 / 2	70 / 1	63 / 2	78 / 1	—	—	—
3	IRI	75 / 2		136 / 2	130 / 2	67 / 1	84 / 1	—	492 / 8	—	—
4	TPE	89 / 1	86 / 2	67 / 1	57 / 1	60 / 1	—	—	339 / 6	—	—
5	INA	71 / 1	69 / 1	—	—	69 / 1	71 / 1	—	280 / 4	—	—
6	JPN			63 / 1	66 / 1	79 / 1	—	208 / 3	—	—	—
7	MAS	63 / 1	20 / 1	54 / 1	—	57 / 1	—	194 / 4	—	—	—
8	PAK	75 / 1				60 / 1	—	135 / 2	—	—	—
9	BAN	61 / 1				57 / 1	—	118 / 2	—	—	—
10	UZB	22 / 1			81 / 1	—	103 / 2	—	—	—	—
	SRI					0 / 1	—	0 / 1	—	—	—
合計	11	3	7	5	6	8	9	7	3	48	—

順位	国名	48kg	53kg	58kg	63kg	69kg	75kg	合計得点
1	KOR	67 / 1	132 / 2	73 / 1	144 / 2	84 / 1	69 / 1	440 / 6
2	TPE	84 / 1	75 / 1	25 / 1	75 / 1	—	128 / 2	427 / 7
3	CHN	84 / 1	—	—	84 / 1	—	84 / 1	411 / 5
4	THA	68 / 1	68 / 1	—	—	—	72 / 1	231 / 3
5	JPN	84 / 1	84 / 1	—	—	—	63 / 1	197 / 3
6	INA	75 / 1	—	—	—	—	—	159 / 2
7	MGL	68 / 1	—	—	—	—	—	68 / 1
合計	7	4	4	3	2	3	5	27

頭 位	都道府 県名	学校名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	トータル	
1	白草 大	阪大 阪大林業高校	90 2	66.54	103	108	110	113	133	138	138	140	108	1
2	村上 大	阪大 分科堺高校	88 3	69.00	110	110	113	135	135	138	138	140	108	1
3	小川慎太郎 大	阪大 大名農業高校	88 3	68.00	96	96	96	96	103	135	141	140	108	1
4	杉賢 浩	知恵和工業大名農業高校	88 3	66.36	100	103	103	103	120	120	123	123	108	1
5	八巻 俊	梨日高農業高校	89 3	67.28	95	95	95	98	125	125	135	135	108	1
6	塚原 俊	日高農業高校	89 3	64.18	98	100	101	101	115	115	118	118	108	1
7	山下 敦	阪大 阪大工科高専	88 3	67.36	98	101	101	101	120	123	123	123	108	1
8	官崎 光成	阪大 阪大農業高校	89 3	67.76	93	98	101	101	110	115	119	119	108	1
9	高木 堅太	阪大 阪大農業高校	88 3	68.02	93	93	93	97	115	115	120	120	108	1
10	大城 謙	阪大 阪大農業高校	88 3	68.48	95	95	95	98	100	110	110	110	108	1
11	虫明 優	阪大 阪大農業高校	89 3	68.50	90	90	90	93	100	110	113	113	108	1
12	佐々木達文 長	阪大 阪大農業高校	88 3	67.80	90	93	95	95	120	123	123	123	108	1
13	上島 晋作	阪大 阪大農業高校	89 2	66.16	96	101	101	101	110	115	115	115	108	1
14	金城 翔太	阪大 阪大農業高校	89 3	66.56	90	90	90	95	115	115	120	120	108	1
15	下茂 幹生	阪大 阪大農業高校	88 3	68.20	95	100	100	100	110	110	115	115	108	1
16	鷹野 亮也	阪大 阪大農業高校	88 3	68.22	90	93	93	93	107	112	115	115	108	1
17	佐藤 二	阪大 阪大農業高校	88 3	69.18	88	92	95	95	112	117	117	117	108	1
18	清水 俊平	阪大 阪大農業高校	89 3	66.12	80	80	85	85	105	110	115	115	108	1
19	安田 亮	阪大 阪大農業高校	88 3	67.22	90	90	—	—	110	115	120	120	108	1
20	佐藤 薫	阪大 阪大農業高校	89 2	67.54	85	90	90	90	105	110	111	111	108	1
21	島本 真一	阪大 阪大農業高校	89 2	68.54	83	87	90	90	105	110	110	110	108	1
22	田中 由	阪大 阪大農業高校	88 3	67.22	88	88	88	92	110	110	112	112	108	1
23	坂井 建太	阪大 阪大農業高校	88 3	67.28	90	93	93	93	110	115	118	118	108	1
24	佐藤 亮	阪大 阪大農業高校	89 2	66.58	87	90	92	92	105	108	108	108	108	1
25	竹下 亮	阪大 阪大農業高校	89 3	67.54	87	90	92	92	107	107	110	110	108	1
26	下村 剛史	阪大 阪大農業高校	88 3	65.68	88	91	93	93	100	104	107	107	107	1
27	下村 剛史	阪大 阪大農業高校	90 2	67.98	83	87	88	88	103	107	110	110	108	1
28	片平 泰歩	阪大 阪大農業高校	89 2	68.04	85	88	90	90	105	105	110	110	108	1
29	原田 幹一	阪大 阪大農業高校	89 2	66.08	80	85	87	87	105	105	108	108	108	1
30	中野 豊大	阪大 阪大農業高校	89 3	67.62	87	87	87	87	103	108	123	123	108	1
31	大庭 久生	阪大 阪大農業高校	90 2	67.90	80	80	85	85	100	105	105	105	108	1
32	阿部 裕也	阪大 阪大農業高校	89 2	68.54	80	85	85	85	105	110	110	110	108	1
33	山田 航平	阪大 阪大農業高校	89 2	67.30	82	82	86	89	100	103	103	103	108	1
34	茶井 幹仁	阪大 阪大農業高校	90 2	68.42	83	83	83	86	100	105	105	105	108	1
35	酒井 祥多	阪大 阪大農業高校	89 2	65.14	80	85	85	88	100	105	105	105	108	1
36	佐久間 峰	阪大 阪大農業高校	89 2	65.16	80	80	80	85	100	105	108	108	108	1
37	唐澤 亮	阪大 阪大農業高校	88 3	67.68	75	80	80	80	100	105	108	108	105	1
38	鈴木 佑大	阪大 阪大農業高校	88 3	66.96	80	84	87	87	100	103	104	104	104	1
39	長尾 翼	阪大 阪大農業高校	90 2	65.58	80	83	83	83	100	105	105	105	108	1
40	大庭 祥多	阪大 阪大農業高校	88 3	67.98	75	75	75	75	93	95	100	100	100	1
41	下原 玄	阪大 阪大農業高校	89 2	63.76	80	80	80	85	100	105	105	105	108	1
42	小出 卓昌	阪大 阪大農業高校	88 3	65.62	80	80	80	85	97	100	100	105	105	1
43	佳祐 大	阪大 阪大農業高校	88 3	67.06	75	80	83	83	95	101	101	101	101	1
44	鷲田 龍也	阪大 阪大農業高校	90 2	67.96	76	80	82	82	98	100	100	100	100	1
45	福原 万起人	阪大 阪大農業高校	89 3	62.78	82	82	86	86	95	100	100	100	100	1
46	堀越 望	阪大 阪大農業高校	89 2	64.02	75	80	83	83	95	100	100	100	100	1
47	杉山 学	阪大 阪大農業高校	88 3	67.82	75	80	80	80	100	105	118	118	118	1
48	林 弘	阪大 阪大農業高校	89 2	68.32	75	80	82	82	95	95	95	95	95	1
49	小林 亮	阪大 阪大農業高校	88 3	68.88	75	75	75	78	90	95	95	95	95	1
50	圓 竜	阪大 阪大農業高校	90 2	65.48	75	75	75	78	95	100	105	105	105	1
51	永井 竜一郎	阪大 阪大農業高校	88 3	66.48	75	80	80	80	95	100	100	100	100	1
52	鶴井 古塚	阪大 阪大農業高校	88 3	67.48	75	80	84	84	95	100	100	100	100	1
53	鶴井 将	阪大 阪大農業高校	88 3	68.46	75	80	84	84	95	100	100	100	100	1
54	鶴井 泰	阪大 阪大農業高校	88 3	66.88	85	85	85	85	100	105	105	105	105	1
55	鶴井 大	阪大 阪大農業高校	88 3	66.10	85	85	85	85	105	105	105	105	105	1
56	鶴井 大	阪大 阪大農業高校	88 3	65.54	75	75	75	75	95	95	95	95	95	1
57	鶴井 京	阪大 阪大農業高校	88 3	64.80	75	75	75	75	95	95	95	95	95	1
58	鶴井 京	阪大 阪大農業高校	88 3	66.90	75	75	75	75	95	95	95	95	95	1

順位	都道府県名	学校名	学生年齢			スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト						
			1	2	3	1	2	3	S	順位	C&J	順位	C&J	順位				
1	堂太	山形工業高校	88	3	76.02	115	x	115	140	x	145	x	115	1	255			
2	島田	宮崎県立鹿児島工業高校	89	3	76.58	110	x	115	133	x	137	x	115	3	254			
3	辻	川口市立工業高校	89	3	76.24	110	113	115	127	x	127	x	115	2	247			
4	柳根	埼玉県立川口高等学校	88	3	75.92	95	100	102	130	135	x	138	x	102	7	237		
5	秋原	京都府立伏見谷山高等学校	88	3	71.84	100	103	103	128	131	x	135	x	103	6	234		
6	關原	京都府立伏見谷山高等学校	89	2	76.00	100	103	106	128	128	x	128	x	106	4	234		
7	福田	京都府立伏見谷山高等学校	89	3	76.16	90	x	90	128	132	x	134	x	90	29	222		
8	加野	京都府立伏見谷山高等学校	89	2	76.28	95	x	95	100	120	x	125	x	95	20	221		
9	小川	京都府立伏見谷山高等学校	88	3	76.54	95	x	95	123	126	x	129	x	95	21	220		
10	宮下	京都府立伏見谷山高等学校	88	3	72.82	100	105	110	115	120	x	120	x	105	5	220		
11	水口	京都府立伏見谷山高等学校	88	3	73.18	95	100	100	120	125	x	125	x	100	9	220		
12	新垣	福岡県立清音高等学校	88	3	75.20	97	x	97	121	x	121	x	126	x	97	14	218	
13	小笠原	福岡県立筑紫高等学校	88	3	75.96	98	102	x	102	120	x	123	x	123	x	100	14	218
14	大野	大阪府立御殿場高等学校	89	3	75.70	98	101	x	101	116	x	116	x	101	8	217		
15	中鳥	大阪府立御殿場高等学校	89	3	73.72	92	96	100	105	110	x	113	x	100	10	213		
16	本田	大阪府立御殿場高等学校	88	3	69.38	91	94	97	118	x	118	x	123	x	94	22	212	
17	久保	大阪府立御殿場高等学校	89	3	72.86	97	101	x	101	115	x	120	x	97	12	212		
18	原	大阪府立御殿場高等学校	88	3	73.40	91	94	97	115	120	x	120	x	97	13	212		
19	星原	大阪府立御殿場高等学校	89	3	75.66	98	x	98	115	x	115	x	115	x	98	16	211	
20	藤岡	大阪府立御殿場高等学校	88	3	75.14	90	93	95	116	120	x	123	x	90	28	210		
21	小南	大阪府立御殿場高等学校	88	3	72.82	95	100	x	100	115	x	115	x	120	13	210		
22	中畠	大阪府立御殿場高等学校	89	3	74.02	95	100	x	100	115	x	115	x	120	12	210		
23	吉野	大阪府立御殿場高等学校	88	3	72.66	90	x	90	113	118	x	122	x	90	28	210		
24	吉野	大阪府立御殿場高等学校	89	3	76.48	90	93	x	94	113	x	115	x	90	31	208		
25	吉野	大阪府立御殿場高等学校	88	3	73.08	88	92	94	108	113	x	114	x	94	23	203		
26	松浦	大阪府立御殿場高等学校	88	3	69.34	90	x	90	110	115	x	115	x	90	25	202		
27	成島	大阪府立御殿場高等学校	88	3	73.60	85	x	85	85	90	x	115	x	85	36	200		
28	美島	大阪府立御殿場高等学校	90	2	74.56	83	88	90	90	110	x	115	x	88	32	198		
29	櫻丸	大阪府立御殿場高等学校	89	3	75.86	87	91	93	93	107	x	114	x	91	24	198		
30	宮園	大阪府立御殿場高等学校	88	3	76.22	90	95	x	97	105	x	105	x	90	30	198		
31	外崎	大阪府立御殿場高等学校	89	3	75.10	85	x	85	91	x	107	x	112	x	85	37	197	
32	西田	大阪府立御殿場高等学校	88	3	75.82	80	83	86	86	105	x	110	x	86	34	196		
33	西田	大阪府立御殿場高等学校	88	3	74.38	83	87	90	90	108	x	108	x	87	33	195		
34	阪本	大阪府立御殿場高等学校	89	2	74.40	85	90	95	95	105	x	110	x	90	27	195		
35	北澤大介	大阪府立御殿場高等学校	89	2	76.64	80	85	88	88	105	x	110	x	85	37	195		
36	米谷	東京工業高等専門学校	88	3	77.00	85	x	89	89	105	x	110	x	85	38	190		
37	篠田	東京工業高等専門学校	89	3	74.90	80	81	82	100	105	x	108	x	82	41	187		
38	曾久	東京工業高等専門学校	89	2	73.14	80	83	83	83	102	x	105	x	80	43	185		
39	曾久	東京工業高等専門学校	89	2	74.16	80	82	82	103	103	x	103	x	82	39	185		
40	氏永	東京工業高等専門学校	88	3	74.32	82	x	82	102	105	x	105	x	82	40	184		
41	瀬戸	栃木県立宇都宮高等学校	89	2	73.24	80	83	x	83	103	x	103	x	80	44	183		
42	石川	大分県立大分高等学校	88	3	69.20	80	x	80	89	100	x	103	x	80	42	180		
43	萬井	大分県立大分高等学校	89	2	75.74	80	x	85	85	100	x	105	x	80	45	180		
44	加納	光格高等学校	89	3	75.58	92	96	x	98	115	x	115	x	98	15	—		
45	仁史	宮崎県立宮崎高等学校	88	3	76.86	80	x	80	95	97	x	—	—	95	19	—		
46	井上	宮崎県立宮崎高等学校	88	3	75.14	101	x	101	101	101	x	101	x	80	46	—		

学 校 対 抗 得 点 表

位 数	都道府 県名	学校名	生 年 年 度	学 年 年 度	ス ナ ツ チ		フ リ ー ジ ャ ー フ		ベ ス バ ー		ト ー タ ル	
					1	2	3	4	5	圓 (GJ)	圓 (GJ)	
1 木城 慶介	新潟 小山高校	89 3 100.12	102	107	110	142	146	152	152	1	262	1
2 杉谷 大官	福井 城東林業高校	88 3 94.02	105	x	105	110	140	143	143	3	253	
3 松谷 傳秀	福井 新庄沃工業高校	88 3 103.90	101	x	105	141	141	145	105	8	250	2
4 舞田 鴻章	福井 鷹之介	88 3 97.60	108	x	110	138	142	142	108	4	246	5
5 前田 拓哉	福井 沖縄工業高校	89 2 98.02	105	x	108	111	131	135	108	5	246	6
6 李 在夏	北海道 初中高級学校	89 3 104.20	97	102	105	127	135	140	140	4	242	7
7 池座 優太	北海道 鳥羽工業高校	88 3 96.30	100	x	105	108	130	135	105	6	240	7
8 加藤 裕希	北海道 山形庄内総合高校	88 3 101.92	103	x	105	107	135	135	105	7	240	8
9 佐藤 健志	北海道 大分分工業高校	88 3 94.10	97	x	100	127	127	133	100	14	233	9
10 伊藤 省也	北海道 手岩谷堂農林高校	88 3 95.66	102	x	105	105	130	135	105	14	232	10
11 川末 健太	北海道 長崎農業高校	88 3 95.80	95	x	100	103	115	120	123	9	226	11
12 西岡 車載	北海道 津浦工業高校	88 3 101.42	95	x	100	100	128	131	95	21	226	12
13 大畠 昌士	北海道 石川津浦高校	90 2 98.16	100	x	102	102	125	131	100	17	225	13
14 石田 哲平	北海道 八幡中央高校	88 3 103.00	100	x	100	103	120	125	100	18	225	14
15 古林 兼	北海道 康平高等学校	88 3 96.16	97	x	102	103	122	130	100	19	224	15
16 鹿永 弘明	北海道 玉川高等学校	88 3 98.24	95	x	100	115	115	120	100	15	220	16
17 山本 由弦	北海道 石川津浦高校	88 3 96.92	100	x	103	103	120	125	100	16	220	17
18 松本 裕希	北海道 大小山南高校	89 2 102.14	97	x	102	117	121	121	102	12	219	18
19 香島 源一	北海道 礼賀聖心工業高校	89 2 100.60	96	x	100	100	116	121	121	17	217	19
20 我妻 勉	北海道 城東林業高校	88 3 103.78	92	x	100	120	125	125	97	19	217	20
21 松本 鶴太	北海道 士別東高校	89 3 95.58	92	x	95	95	112	112	92	22	204	21
22 西野 孝仁	北海道 墓界島高校	89 3 103.62	105	x	110	133	133	133	—	10	—	22
23 藤原 前二	北海道 賀瀬南農業高校	88 3 97.42	100	x	100	100	135	140	100	x	—	23
24 徐 文平	北海道 初中高級学校	90 1 99.34	92	x	92	112	115	117	115	—	117	21
吉村 裕洋	大分 大阪商業大手町高校	88 3 103.84	92	x	92	92	112	112	112	x	—	—
+105g級												
1 望月 駿一	福井 清水工業高校	88 3 141.70	105	x	110	115	150	159	161	CR	115	3
2 中村 順喜	福井 南風原高校	88 3 120.50	112	x	118	120	145	150	120	1	273	2
3 飯塚 繁亮	福井 大阪工業高校	89 3 138.15	105	x	105	110	138	138	141	4	246	3
4 中嶋 健仁	福井 柏木農業高校	88 3 141.25	100	x	105	138	141	142	105	5	246	4
5 英 一成	福井 石川津浦高校	89 2 111.76	105	x	110	115	137	137	120	2	245	5
6 中浦 幸太	福井 天草高級学校	89 2 123.10	101	x	101	104	131	131	135	6	239	6
7 鈴木 匠平	福井 佐野工業高校	90 2 110.98	97	x	101	125	130	133	101	8	234	7
8 中村 貴優	福井 宮崎高級学校	89 3 128.70	95	x	100	102	125	125	100	10	230	8
9 小堺 敬	福井 大小山南高校	89 2 108.56	95	x	95	97	115	125	97	12	222	9
10 宮口 稔平	福井 本天草高級学校	88 3 110.10	95	x	100	115	120	123	100	9	220	10
11 藤本 大士	福井 和歌山東高校	89 2 138.00	95	x	101	97	117	122	125	15	220	11
12 清水 友貴	福井 本大飯工業大学高校	88 3 116.24	95	x	103	115	123	123	103	7	216	12
13 藤本 重文	福井 本高森高校	88 3 105.72	98	x	102	118	122	123	98	11	216	13
14 遠藤 健司	福井 北海道 礼賀聖心工業高校	88 3 128.60	95	x	97	115	121	123	95	14	216	14
昭和 和法	福島 相馬農業高校	89 3 105.04	95	x	100	130	130	130	130	x	—	—
+105g級												
1 望月 駿一	福井 清水工業高校	88 3 141.70	105	x	110	115	150	159	161	CR	115	3
2 中村 順喜	福井 南風原高校	88 3 120.50	112	x	118	120	145	150	120	1	273	2
3 飯塚 繁亮	福井 大阪工業高校	89 3 138.15	105	x	105	110	138	138	141	4	246	3
4 中嶋 健仁	福井 柏木農業高校	88 3 141.25	100	x	105	138	141	142	105	5	246	4
5 英 一成	福井 石川津浦高校	89 2 111.76	105	x	110	115	137	137	120	2	245	5
6 中浦 幸太	福井 天草高級学校	89 2 123.10	101	x	101	104	131	131	135	6	239	6
7 鈴木 匠平	福井 佐野工業高校	90 2 110.98	97	x	101	125	130	133	101	8	234	7
8 中村 貴優	福井 宮崎高級学校	89 3 128.70	95	x	100	102	125	125	100	10	230	8
9 小堺 敬	福井 大小山南高校	89 2 108.56	95	x	95	97	115	125	97	12	222	9
10 宮口 稔平	福井 本天草高級学校	88 3 110.10	95	x	100	115	120	123	100	9	220	10
11 藤本 大士	福井 和歌山東高校	89 2 138.00	95	x	101	97	117	122	125	15	220	11
12 清水 友貴	福井 本大飯工業大学高校	88 3 116.24	95	x	103	115	123	123	103	7	216	12
13 藤本 重文	福井 本高森高校	88 3 105.72	98	x	102	118	122	123	98	11	216	13
14 遠藤 健司	福井 北海道 礼賀聖心工業高校	88 3 128.60	95	x	97	115	121	123	95	14	216	14
昭和 和法	福島 相馬農業高校	89 3 105.04	95	x	100	130	130	130	130	x	—	—
+105g級												
1 望月 駿一	福井 清水工業高校	88 3 141.70	105	x	110	115	150	159	161	CR	115	3
2 中村 順喜	福井 南風原高校	88 3 120.50	112	x	118	120	145	150	120	1	273	2
3 飯塚 繁亮	福井 大阪工業高校	89 3 138.15	105	x	105	110	138	138	141	4	246	3
4 中嶋 健仁	福井 柏木農業高校	88 3 141.25	100	x	105	138	141	142	105	5	246	4
5 英 一成	福井 石川津浦高校	89 2 111.76	105	x	110	115	137	137	120	2	245	5
6 中浦 幸太	福井 天草高級学校	89 2 123.10	101	x	101	104	131	131	135	6	239	6
7 鈴木 匠平	福井 佐野工業高校	90 2 110.98	97	x	101	125	130	133	101	8	234	7
8 中村 貴優	福井 宮崎高級学校	89 3 128.70	95	x	100	102	125	125	100	10	230	8
9 小堺 敬	福井 大小山南高校	89 2 108.56	95	x	95	97	115	125	97	12	222	9
10 宮口 稔平	福井 本天草高級学校	88 3 110.10	95	x	100	115	120	123	100	9	220	10
11 藤本 大士	福井 和歌山東高校	89 2 138.00	95	x	101	97	117	122	125	15	220	11
12 清水 友貴	福井 本大飯工業大学高校	88 3 116.24	95	x	103	115	123	123	103	7	216	12
13 藤本 重文	福井 本高森高校	88 3 105.72	98	x	102	118	122	123	98	11	216	13
14 遠藤 健司	福井 北海道 礼賀聖心工業高校	88 3 128.60	95	x	97	115	121	123	95	14	216	14
昭和 和法	福島 相馬農業高校	89 3 105.04	95	x	100	130	130	130	130	x	—	—
+105g級												
1 望月 駿一	福井 清水工業高校	88 3 141.70	105	x	110	115	150	159	161	CR	115	3
2 中村 順喜	福井 南風原高校	88 3 120.50	112	x	118	120	145	150	120	1	273	2
3 飯塚 繁亮	福井 大阪工業高校	89 3 138.15	105	x	105	110	138	138	141	4	246	3
4 中嶋 健仁	福井 柏木農業高校	88 3 141.25	100	x	105	138	141	142	105	5	246	4
5 英 一成	福井 石川津浦高校	89 2 111.76	105	x	110	115	137	137	120	2	245	5
6 中浦 幸太	福井 天草高級学校	89 2 123.10	101	x	101	104	131	131	135	6	239	6
7 鈴木 匠平	福井 佐野工業高校	90 2 110.98	97	x	101	125	130	133	101	8	234	7
8 中村 貴優	福井 宮崎高級学校	89 3 128.70	95	x	100	102	125	125	100	10	230	8
9 小堺 敬	福井 大小山南高校	89 2 108.56	95	x	95	97	115	125	97	12	222	9
10 宮口 稔平	福井 本天草高級学校	88 3 110.10	95	x	100	115	120	123	100	9	220	10
11 藤本 大士	福井 和歌山東高校	89 2 138.00	95	x	101	97	117	122	125	15	220	11
12 清水 友貴	福井 本大飯工業大学高校	88 3 116.24	95	x	103	115	123	123	103	7	216	12
13 藤本 重文	福井 本高森高校	88 3 105.72	98	x	102	118	122	123	98	11	216	13
14 遠藤 健司	福井 北海道 礼賀聖心工業高校	88 3 128.60	95	x	97	115	121	123	95	14	216	14
昭和 和法	福島 相馬農業高校	89 3 105.04	95	x	100	130	130	130	1			

第20回(男子)・第5回(女子)全国中学生選手権大会

●平成18年8月24日 ●栃木県立小山高等学校体育館(小山市)

【男子】

48kg級

順位	都道府県名	学校名	年齢	体重	1	2	3	スナッチ	1	2	3	クリーン&ジャーク	1	2	3	ペストル	
1	大谷 浩之	茨城 安量川中学校	94.1	41.16	41	43	45	48	50	52	60	65	67	52	2	65	1 117
2	西沢 健竜	栃木 沼田原城中学校	91.3	51.56	48	50	52	50	63	67	70	77	52	1	63	2 115	
3	大谷 兵	埼玉 藤井原中学校	93.1	47.34	34	37	39	45	48	51	53	59	39	2	48	2 87	
4	池田 雄馬	福島 朝日中学校	91.3	42.82	25	27	30	33	40	42	44	47	42	3	42	3 69	
5	生駒 佑馬	兵庫 野々池中学校	92.3	42.86	25	27	28	32	34	40	43	45	35	4	35	4 63	

53kg級

1	立川 裕貴	東京 安量川中学校	91.3	52.30	47	50	52	60	65	67	70	74	77	58	1	77	1 135
2	西沢 健竜	栃木 沼田原城中学校	91.3	51.56	48	50	52	50	63	67	70	75	52	1	63	2 115	
3	大谷 兵	埼玉 藤井原中学校	93.1	47.34	34	37	39	45	48	51	53	59	39	2	48	2 87	
4	池田 雄馬	福島 朝日中学校	91.3	42.82	25	27	30	33	40	42	44	47	42	3	42	3 69	
5	生駒 佑馬	兵庫 野々池中学校	93.1	35.64	25	26	26	33	35	35	35	35	25	5	35	4 63	

58kg級

1	横木 駿人	京都 白糸中学校	91.3	55.58	55	58	60	70	74	77	77	81	71	77	1	77	1 135
2	小栗 美和	奈良 可児中学校	91.3	55.66	50	55	55	60	65	65	70	75	55	2	70	2 125	
3	上野 真司	滋賀 安量川中学校	91.3	57.16	45	48	51	55	60	65	65	70	51	3	60	3 111	

63kg級

1	草川 彰彦	大分 阪河原城中学校	92.3	61.18	71	78	81	81	81	102	102	102	107	2	81	1 102	1 183
---	-------	------------	------	-------	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	---	----	-------	-------

69kg級

1	金城 成人	群馬 利根國副中学校	92.3	67.18	73	76	78	80	83	87	90	93	95	95	MR	78	1	95	1 173
2	吉田 雄三	栃木 都江國中学校	91.3	63.46	63	68	68	70	83	87	90	93	95	95	MR	78	2	90	2 160
3	小堀 正真	福島 大山第二中学校	92.3	63.88	56	60	63	65	65	68	70	70	70	70	3	70	3	130	
4	阿久津 傳	栃木 大山第二中学校	91.3	67.00	58	58	58	60	70	75	75	75	75	75	4	70	4	130	
5	坪井 栄樹	福島 康寧中学校	91.3	67.48	45	48	50	50	60	65	70	70	70	70	5	70	5	120	
6	杉原 博之	栃木 神奈川大隅中学校	91.3	66.98	43	48	52	52	53	53	53	53	52	52	5	53	6	105	

75kg級

1	松永 真央	鹿児島城東中学校	91.3	73.34	65	65	70	70	80	84	84	84	84	84	MR	81	1	80	1 145
---	-------	----------	------	-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	-------

+75kg級

1	早川 大輔	大分 阪河原城中学校	93.1	73	76	78	80	83	87	90	93	95	95	95	MR	78	1	95	1 165
2	立岡 良介	愛知 本山中学校	91.3	94.24	63	66	70	73	76	76	76	76	76	76	2	73	3	143	
3	中島 健	福島 大山第二中学校	92.3	83.94	63	65	68	70	75	75	75	75	75	75	3	76	2	141	
4	鈴木 勇知	福島 大山第三中学校	92.3	107.50	50	50	57	57	57	70	75	75	75	75	4	70	4	127	

【女子】

48kg級

1	早川 明子	京都 四条中学校	92.2	45.78	37	40	43	48	50	53	53	53	53	53	1	53	1	96
---	-------	----------	------	-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	---	----

53kg級

1	神谷 由紀	三重 伊賀中学校	93.2	43.64	21	23	24	27	30	33	33	33	33	33	2	30	2	53
---	-------	----------	------	-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	---	----

58kg級

1	田本 美月	栃木 吉井中学校	91.3	55.90	33	35	36	43	45	47	47	47	47	47	1	47	1	82
2	高岸 泰佳	福島 富士見中学校	92.2	53.88	25	28	30	32	35	38	38	38	38	38	2	38	2	68
3	竹林 車美	栃木 小山第三中学校	91.3	51.42	36	36	37	46	48	50	50	50	50	50	3	48	4	86
4	小林 望	栃木 小山第三中学校	91.3	50.24	30	33	35	40	45	45	45	45	45	45	4	48	3	85
5	谷口 七七	栃木 山形中学校	91.3	51.58	25	28	28	32	34	36	36	36	36	36	5	40	5	75

+75kg級

1	野原 智美	兵庫 松風中学校	91.3	81.02	55	57	58	72	75	75	77	77	77	77	1	77	1	135
---	-------	----------	------	-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	---	-----

(社) 日本ウエイトリフティング協会賛助会員の募集について

平素より、当協会の各種事業展開に格別の御高配を賜り感謝申し上げます。

つい先日の8月30日に、オリンピック日本国内立候補都市が東京都に決まりました。

2016年のオリンピック開催には、東京都の他に世界の強豪都市が名乗りを上げています。是非とも52年振りに東京都で開催されることが私たちの国民の夢であります。

さて、北京オリンピックまであと2年後とせまりました。今年と来年の両世界選手権大会での成績により、オリンピック選手枠が決まる大切な大会です。男女とも強化合宿をへてベストな布陣、体調で世界大会（ドミニカ共和国：9月30日～10月7日）に臨んでいるところです。

今後も、北京オリンピックに向けた強化と競技の普及、並びにナショナルトレーニングシステムの充実で、オリンピック大会でのメダル獲得に向けた強化の推進を図る所存であります。今後とも、皆様方の御協力をお願い申し上げます。

つきましては、選手強化に伴う財源確保のため、定款第5条・第6条・第7条による賛助会員への加入について、下記により格段の御配慮をお願い致します。

平成18年8月

社団法人 日本ウエイトリフティング協会
会長 飛田秀一

記

1 賛助会員 定款第5条2号（この法人の事業を援助する個人又は法人）

2 賛助会費 定款第7条2号（1口10,000円、1口以上）

3 入会手続 ①郵便振替払取扱票により、最寄りの郵便局で払い込みますと、自動的に入会手続きとなります。

②直接加入申し込みする場合は、下記までお願ひいたします。

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育馆内

(社) 日本ウエイトリフティング協会 TEL03-3481-2359

払込取扱票											
00		口座番号	百	十	万	千	百	十	千	百	十
金額	千	百	十	万	千	百	十	千	百	十	円
0 0 1 4 0 - 4	1	2	9	5	7	6					
料金				特種 取扱							
加入者名	日本ウエイトリフティング協会 賛助会員係										
通信欄											
ご依頼人	おところ（郵便番号 おなまえ (電話番号 - - -)										
裏面の注意事項をお読みください。(郵政省) これより下部には何も記入しないでください。											

払込金受領証											
口座番号	0 0 1 4 0 - 4	百	十	万	千	百	十	千	百	十	円
金額	1	2	9	5	7	6					
ご依頼人	日本ウエイトリフティ ング協会賛助会員係 おなまえ										
料金	(消費税込み) 受付局日附印										
特殊取扱	円										

切り取らないで郵便局にお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

記号説明

新記録

- WR : 世界新記録 (new World Record)
- J WR : ジュニア世界新記録 (Junior new World Record)
- AR : アジア新記録 (new Asian Record)
- J AR : ジュニアアジア新記録 (new Junior Asian Record)
- NR : 日本新記録 (new Japan National Record)
- J NR : ジュニア日本新記録 (Junior new Japan National Record)
- UR : 大学新記録 (new University Record)
- HR : 高校新記録 (new senior Highschool Record)
- MR : 中学新記録 (new Middle school Record)
- CR : 大会新記録 (new Competition Record)

タイ記録

- WS : 世界タイ記録 (World record Same)
- J WS : ジュニア世界タイ記録 (Junior World record Same)
- AS : アジアタイ記録 (Asian record Same)
- J AS : ジュニアアジアタイ記録 (Junior Asian record Same)
- NS : 日本タイ記録 (Japan National record Same)
- J NS : ジュニア日本タイ記録 (Junior Japan National Record Same)
- US : 大学タイ記録 (University record Same)
- HS : 高校タイ記録 (senior Highschool record Same)
- MS : 中学タイ記録 (Middle school record Same)
- CS : 大会タイ記録 (Competition record Same)

ウェイトリフティング №95

(社) 日本ウェイトリフティング協会会報

発行日 平成18年8月

発行者 (社) 日本ウェイトリフティング協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育館内

TEL 03-3481-2359

FAX 03-3481-2394

Eメール weightlifting@japan-sports.or.jp

編集責任者 専務理事 篠宮 稔 記録 笠原 達夫
編集長 松尾 謙資 副編集長 野呂記代志
関東地区 宮田 秀樹 関西地区 上田 貢 九州地区 福田登美男

WEIGHT LIFTING

会報 8月号 「リフターの声」

このページを切り取って、FAXしていただくか郵送してください。

FAX番号 日本ウェイト協会 03-3481-2394

*「ウエイトリフティング会報」に関するご意見・ご希望・取り上げてほしい話題・身近な良い話題など
どのようなご意見でもお寄せ下さい。.

*今月号で興味深かった記事をあげて下さい。

「 」「 」「 」

*取り上げてほしい人（ウエイト部内・部外は問いません）

・人名又は団体名 ・どんなテーマで取り上げてほしいか

「 」「 」「 」

*これから取り上げてほしいテーマは

「 」「 」「 」

住所・電話	〒	TEL	FAX
氏名	() 歳		
職業			

～自然が鍛える、 自然で癒す～

強アルカリ(pH9.5)で超軟水、極上の泉質

爽やかな汗をかき極上の湯につかると、筋肉疲労を和らげ、

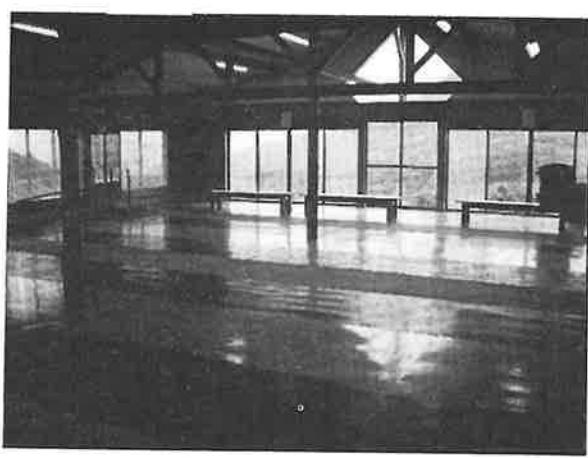
練習効果を高めます。

《体育施設》

ウェイトリフティング場は、昨年リニューアル致しました。
他にも各種スポーツ、エアロビクスなど様々な合宿にご利用頂ける充実した体育施設です。

《宿泊》

人数、メンバー構成に合わせて快適にご利用いただけるよう、個室から合宿用客室までご用意致しております。



伊豆奥下田 飲泉・自家源泉かけ流しの宿



觀音溫泉

〒413-0712 静岡県下田市横川1092-1
フリーダイヤル 0120-01-9994
TEL:0558-28-1234(代) FAX:0558-28-1235



KOSUKE KITAJIMA Swimming



SHINGO SUETSUGI Track & Field



LUKE DONALD Golf



KOSTELIC Skiing



KOJI MUROFUSHI Track & Field



HIDEKI MATSUI Baseball



KEISEI INOUYE Judo



ATSUSHI YANAGISAWA Soccer



AI FUKUHARA Table Tennis

世界のスポーツシーンを創造する、ミズノ

「より良いスポーツ品とスポーツの振興を通じて社会に貢献する」という理念のもと、グローバルに活動するミズノ。物作りでは、“SOZO STUDIO”という新たな開発コンセプトから、プレーヤーの能力を最大限に引きだす製品の数々が生み出されています。頂点を目指すトップアスリートはもちろん、スポーツを愛するすべての人々への製品提供を通して、ミズノはこれからも世界のスポーツシーンを創造し続けます。



• www.mizuno.co.jp • ☎ 0120-320-799

Major League Baseball™ trademarks and copyrights are used with permission of Major League Baseball Properties, Inc.

UESAKA OFFICIAL BARBELL.



公認



INTERNATIONAL WEIGHTLIFTING
FEDERATION

国際ウエイトリフティング連盟認定工場
日本ウエイトリフティング協会公認器具製造販売

日本アマチュアボクシング連盟

日本体操協会器械器具

日本バスケットボール協会施設

日本バドミントン協会

日本ハンドボール協会

日本陸上競技連盟検定品製作

検定工場

製造元



上坂鉄工所

本社 〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号

電話 (03) 3622-8171(代表)

販売元

(株)ウエサカ ティー・イー

代表取締役 鈴木 義夫

〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号

T E L (03) 3622-8171 F A X (03) 3622-8175

振込銀行 さくら銀行 本所(当) 57201